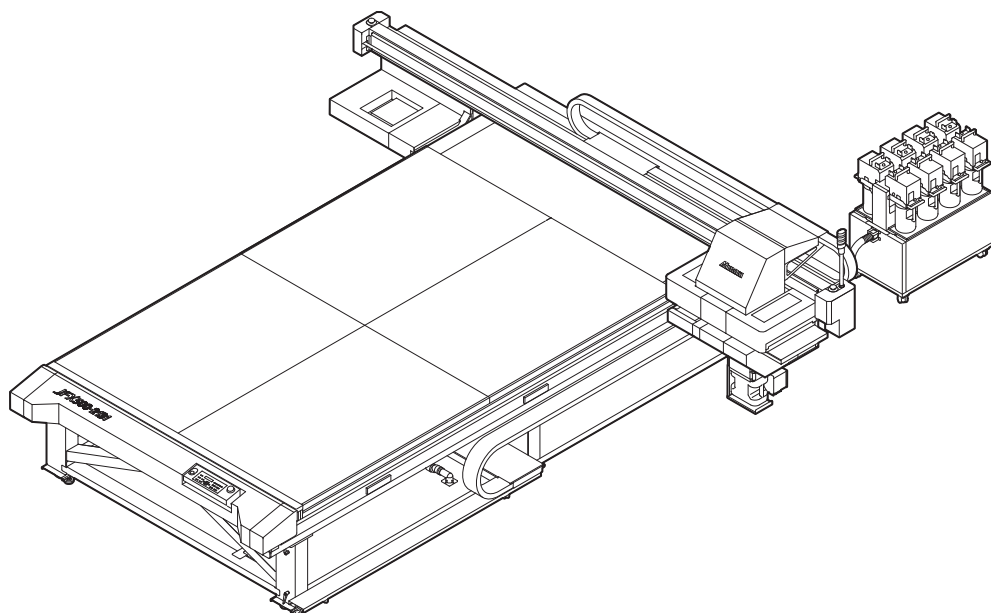


OPERATION MANUAL

UV INKJET PRINTER

JFX500-2131

取扱説明書



目次

ご注意	v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
使用上の制限について	vi
はじめに	vii
使用できるインクについて	vii
取扱説明書について	vii
安全にお使いいただくために	viii
マーク表示について	viii

第1章 ご使用の前に

本機の設置について	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-3
装置の固定について	1-3
本機の移動	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	1-4
操作パネル	1-5
キャリッジ	1-6
キャッピングステーション	1-6
非常停止スイッチ	1-6
表示灯	1-7
操作パネルケーブル	1-7
ケーブルを接続する	1-8
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-8
電源ケーブルの接続について	1-9
インクボトルをセットする	1-10
インクボトル取り扱い上のご注意	1-14
メディアについて	1-15
使用可能メディアサイズ	1-15
メディア取り扱い上の注意	1-15

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる / 切る	2-3
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-4
メディアをセットする	2-5
メディアをセットする	2-5
LED UV ランプの照射位置を確認する	2-8
テストプリントをする	2-10
テストプリントを行う	2-11

ヘッドクリーニング	2-12
ヘッドクリーニングについて	2-12
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う	2-12
データをプリントする	2-13
プリントを開始する	2-13
プリントを中断する	2-14
受信したデータを消去する (データクリア)	2-14
Yバーを移動させる	2-15

第3章 便利な使い方

原点を変更する	3-2
ジョグキーを使ってプリント原点を変更する	3-2
ファンクションメニューを使ってプリント原点を変更する	3-3
メディアの厚みを登録する	3-4
メディアの厚みを手動で登録する	3-4
メディアの厚みをキーを使って登録する	3-4
メディアの厚みを自動測定する	3-5
ヘッドギャップ値を登録する	3-6
設定機能一覧表	3-7
Yバーの送りを設定する	3-8
フィード補正の設定	3-8
双方向プリントのドット位置を調整する	3-10
ロジカルシークの設定をする	3-12
UVモードの設定をする	3-13
RIPで指定した光量を調整したい場合	3-13
本機で設定した光量でプリントしたい場合	3-14
ワークチェンジを設定をする	3-17
イオナイザーの設定をする	3-18
パス間の縞を軽減する設定をする	3-19
MAPS機能とは	3-19
MAPS1機能を設定する	3-20
MAPS2機能を設定する (4色時)	3-21
MAPS2機能を設定する (4色 + 特色インク時)	3-22
オートクリーニングの設定をする	3-24
ノズル面の清掃を設定する	3-25
インクヒーターの設定をする	3-26
その他の設定	3-27
マシン設定	3-28
オートパワーオフの設定をする	3-28
ジコクの設定をする	3-29
タンイの設定をする	3-30
キープザーの設定をする	3-31
言語の設定をする	3-32
設定した内容を初期状態に戻す	3-33
装置情報を確認する	3-34
装置の使用状況を確認する	3-34
装置のバージョン情報を確認する	3-35
本機の情報を表示する	3-36

第4章 お手入れ

日常のお手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス洗浄液について	4-2
テーブル、外装のお手入れ	4-2
LMガイドの清掃	4-3
キャッピングステーションのメンテナンス	4-4
ワイパーとキャップの清掃	4-4
インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)	4-7
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)	4-8
廃インクトレーの清掃	4-11
ヘッド周辺の清掃	4-12
ノズル詰まりが復旧しない場合	4-14
サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う	4-14
ヘッドノズルの洗浄	4-15
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする	4-17
オートメンテナンス機能	4-21
リフレッシュ間隔を設定する	4-21
クリーニング間隔を設定する	4-22
白インクの循環機能について	4-23
消耗品の交換	4-24
ワイパーを交換する	4-24
インク吸収材の交換	4-25
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-26
冷却水を補充する	4-28
冷却水を補充する	4-29
Y モーターの清掃	4-31

第5章 困ったときは

故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インクボトルに異常が発生したら	5-4
インク漏れが発生したら	5-4
サブタンク関連のエラー (エラー 618 ~ 61b) が発生したら	5-5
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら	5-6
圧力異常が発生したら	5-9
メッセージを表示するトラブル	5-11
ワーニングメッセージ	5-11
エラーメッセージ	5-14

第6章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクボトルのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5
警告ラベルについて	6-6
機能フローチャート	6-8

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせるをお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

使用上の制限について

使用上の制限

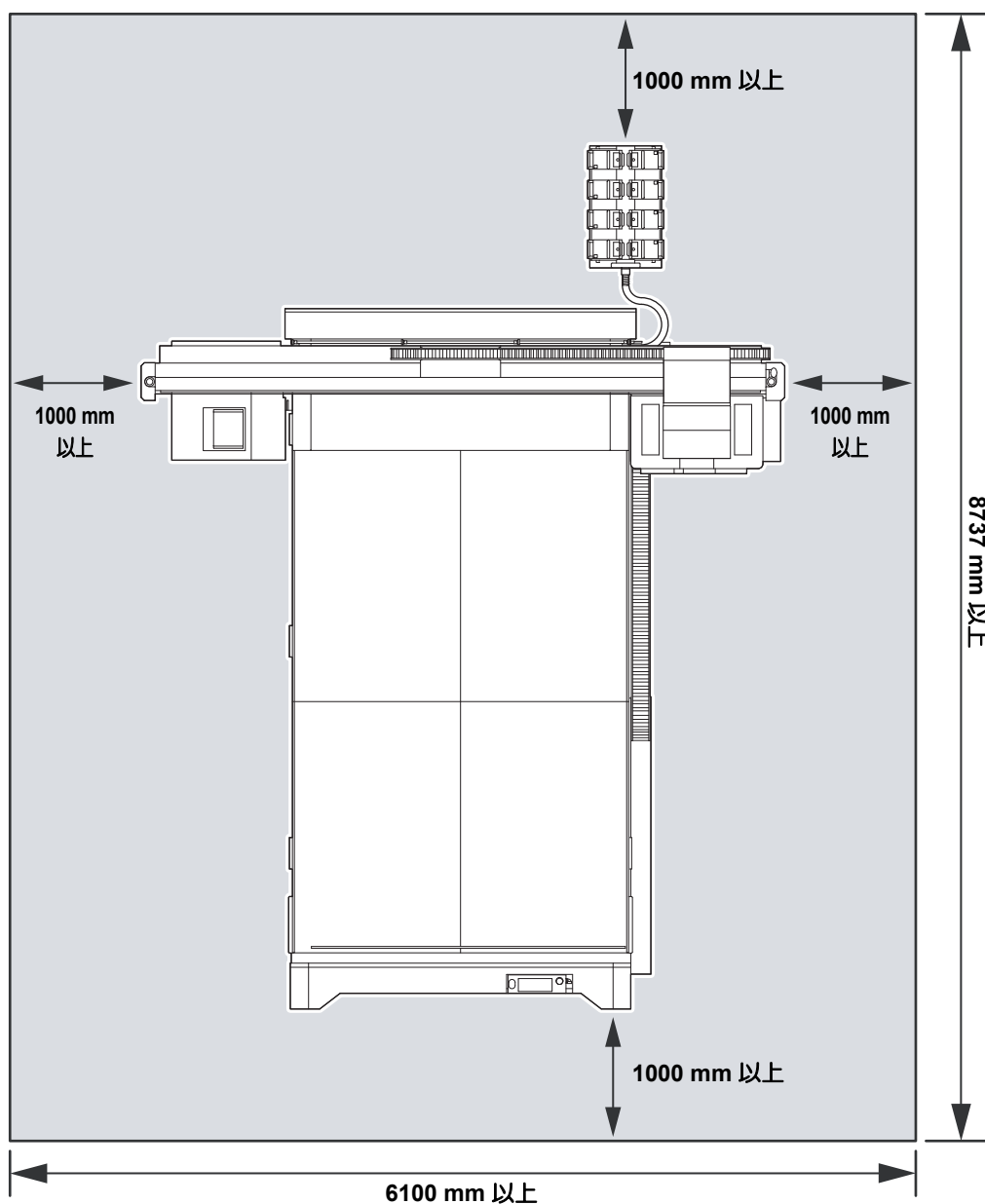
本機は高速可動部、高温部および UV 照射部を有し非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した使用者に限られます。

使用者の制限

本機の使用は適切な訓練を受ける必要があります。本機の使用は、適切な訓練を受けた使用者のみに制限してください。

エリア制限

適切な訓練を受けた使用者以外の者が装置に近づくことを禁止します。下図に示す範囲でエリア制限を設けてください。エリア制限の方法は、本機を専用の部屋に設置、あるいは柵などを設けて、危険なエリアであることを認識させる必要があります。



この度は、カラー インクジェットプリンタ JFX500 シリーズ をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「JFX500 シリーズ」は、UV インクでプリントする、高速・高画質に対応した UV インクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、UV インク (4 色) があります。

- **4 色モデル** : シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクボトルを 2 本ずつ使用
- **4 色 + 特色モデル** : シアン・マゼンタの各インクボトルを 2 本ずつ使用
イエロー・ブラックを各 1 本ずつ使用
特色 (ホワイト・プライマ・クリア) を 2 本使用

取扱説明書について

- 本書は、「UV インクジェットプリンタ JFX500 シリーズ」(以後本機と称します) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- JFX500-2131 は、IPPR813 と同一機種です。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング









All Rights Reserved. Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な指示内容がある場合は、⊘記号の中や近傍に図示しています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。具体的な指示内容がある場合は、●記号の中に図示しています。

使用上の警告

警告

<ul style="list-style-type: none"> • 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。 • 本機で使用するインクは、危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本機を使用する場所は、火気厳禁としてください。 • ヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る場合があります。 • 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。 • 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。 • 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。 • インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。 	
分解・改造はしない <ul style="list-style-type: none"> • 本機やインクボトルの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。 	インクボトルの取り扱い <ul style="list-style-type: none"> • 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。 • インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 • インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
湿気の多い場所では使用しない <ul style="list-style-type: none"> • 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 	
異常事態の発生 <ul style="list-style-type: none"> • 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。 • お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 	接地工事 <ul style="list-style-type: none"> • 本機は、感電事故防止のため接地工事が必要です。 • 接地工事は、C種接地工事（特別第3種接地工事）を行ってください。
保護具着用 <ul style="list-style-type: none"> • 吸引ノズルのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗浄液が飛び散る可能性がある場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗浄液が手に付着すると手が荒れる原因になります。 	電源ケーブルの取り扱い <ul style="list-style-type: none"> • 付属の電源ケーブルを使用してください。 • 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 警告

電源、電圧について



- 本機には、高電圧が発生している部分があります。電気工事は、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 表示された電源仕様で使用してください。本機の電源電圧は、単相 AC200 ~ 240V 20A 以下です。(100V 系では、使用できません。)



- メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサの電荷放電時間に 1 分間必要な場合があります。主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず 3 分後に作業するようにしてください。
- 接地工事は、感電事故防止のため必ず行ってください。



- 本機の主電源スイッチの投入作業も、本機の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。
- 点灯中や消灯直後は熱いので、LED UV 装置には手を触れないでください。ヤケドの原因となります。

不凍液の取り扱い



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。LED UV 冷却装置が故障する恐れがあります。
- 不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）は、直接肌に触れないようにしてください。
万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。
万一、不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。
また高温の温水タンク水（不凍液混合水）に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。
- 不凍液をご使用前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みください。
- 誤って不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 不用となった不凍液または使用済みの温水タンク水（不凍液混合水）は以下の方法で処分してください。
 - おがくず、ウェス等に吸着させて、焼却炉で焼却する
 - 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- 不凍液を取り扱う場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用してください。



LED UV 装置の取り扱い















- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。また紙や布を LED UV 装置に近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。
- 点灯中の LED UV 装置は絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず安全眼鏡を掛けてください。
- 紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。
- LED UV 装置は、定格寿命内の交換をお勧めします。

本機の廃棄処分について



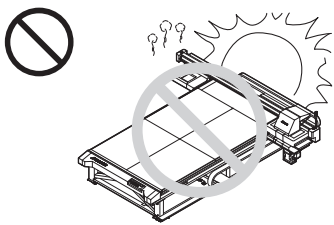
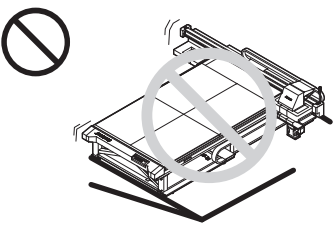

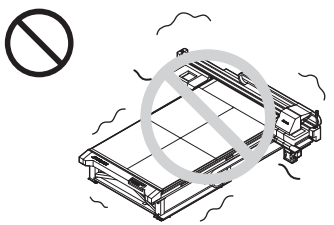
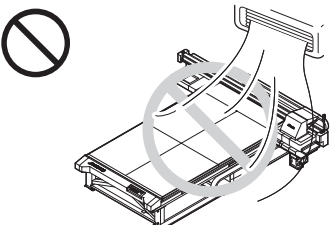
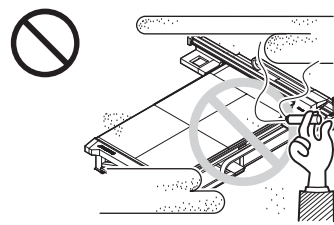
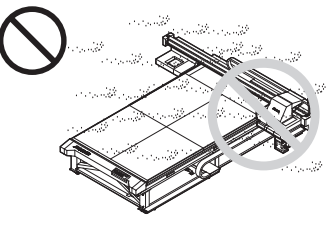
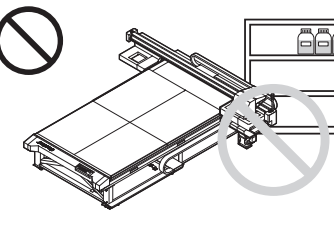
- 本機を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

使用上のご注意

 注 意	
ホコリから守る  <ul style="list-style-type: none"> できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。 夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。 メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。 ホコリが原因で、プリント中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる場合があります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。(P.2-12) 	定期交換部品があります  <ul style="list-style-type: none"> 本機には、別途に定める定期交換部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めいたします。
	装置を水平に保つ  <ul style="list-style-type: none"> 必ず、レベルフットを調整し、本機を水平に保つようにしてください。
	メンテナンス用洗浄液について  <ul style="list-style-type: none"> メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。
警告ラベルについて  <ul style="list-style-type: none"> 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。 	メンテナンス上の注意  <ul style="list-style-type: none"> 外部インク供給ユニットやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。 
不凍液について  <ul style="list-style-type: none"> 不凍液は冷暗所で保存してください。 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。 	電源供給について  <ul style="list-style-type: none"> プレーカーは常時 ON にしておいてください。 側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。
インクボトルの取り扱い  <ul style="list-style-type: none"> JFX500 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。 JFX500 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。 JFX500 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。 当社が指定しているインク以外は、ボトル内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。 インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。 インクボトルは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。 インクボトルは、冷暗所で保存してください。 インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。 インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。ボトルからインクが漏れる場合があります。 IC チップの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。 空になったインクボトル・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください 	
メディアの取り扱い  <ul style="list-style-type: none"> 推奨メディアをご使用ください。安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。 メディアの伸縮にご注意ください。包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。 カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。 	

 注意	
紫外線について <ul style="list-style-type: none">  • LED UV 装置から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。  • 紫外線の目への障害として、急性障害（異物等、とう痛および涙が流れる等）と慢性障害（白内障等）があります。本機を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。 	高温について <ul style="list-style-type: none">  • LED UV 装置は、非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、LED UV 装置消灯後十分温度が下がってから行ってください。  • 装置外装部で高温になっている部分があります。この高温部には、高温注意銘板が貼り付けてあります。高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、触ると火傷の恐れがあります。触らないでください。 • 万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。
LED UV 装置の注意 <ul style="list-style-type: none">  • LED UV 装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。（外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。）  • LED UV 装置の性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の LED UV 装置、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。 	清掃について <ul style="list-style-type: none">  • 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリが溜まり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。 • 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでは無く、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。 • 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。 • 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。 • 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。
発火、発煙について <ul style="list-style-type: none">  • LED UV 装置の高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性がります。また、LED UV 装置の下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性がります。  • 長年の使用で、安定器やその他使用部品についてゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性がります。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。 • 長年の使用で、導電部のネジ等が緩むことが原因で、発火、発煙の可能性がります。定期的な増し締めを行ってください。 • 本機は防爆タイプではありません。危険物雰囲気での使用は爆発等の危険がります。危険物雰囲気での使用を禁止します。 • 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。 	
操作パネルの取り扱い <ul style="list-style-type: none">  • 操作パネルを取り扱う際は、落下しないように注意してください。操作パネルの破損や、ケガの原因になります。 	

設置上のご注意

⚠ 注意		
直射日光が当たる場所 	水平でない場所 	温度や湿度の変化が激しい場所  <ul style="list-style-type: none"> • 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 15 ~ 30 °C (59°F ~ 86°F) 35 ~ 65 % (Rh)
振動が発生する場所 	エアコンなどの風が直接当たる場所 	火を使う場所 
埃が多い場所 	周囲に化学薬品がある場所 	

第1章 ご使用前に



この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の設置について	1-2	ケーブルを接続する	1-8
設置場所について	1-2	USB2.0 インターフェイスケーブルを	
使用環境温度について	1-3	接続する	1-8
装置の固定について	1-3	電源ケーブルの接続について	1-9
本機の移動	1-3	インクボトルをセットする	1-10
各部の名称とはたらきについて	1-4	インクボトル取り扱い上のご注意	1-14
装置前面	1-4	メディアについて	1-15
装置背面 / 側面	1-4	使用可能メディアサイズ	1-15
操作パネル	1-5	メディア取り扱い上の注意	1-15
キャリッジ	1-6		
キャッピングステーション	1-6		
非常停止スイッチ	1-6		
表示灯	1-7		
操作パネルケーブル	1-7		

本機の設置について

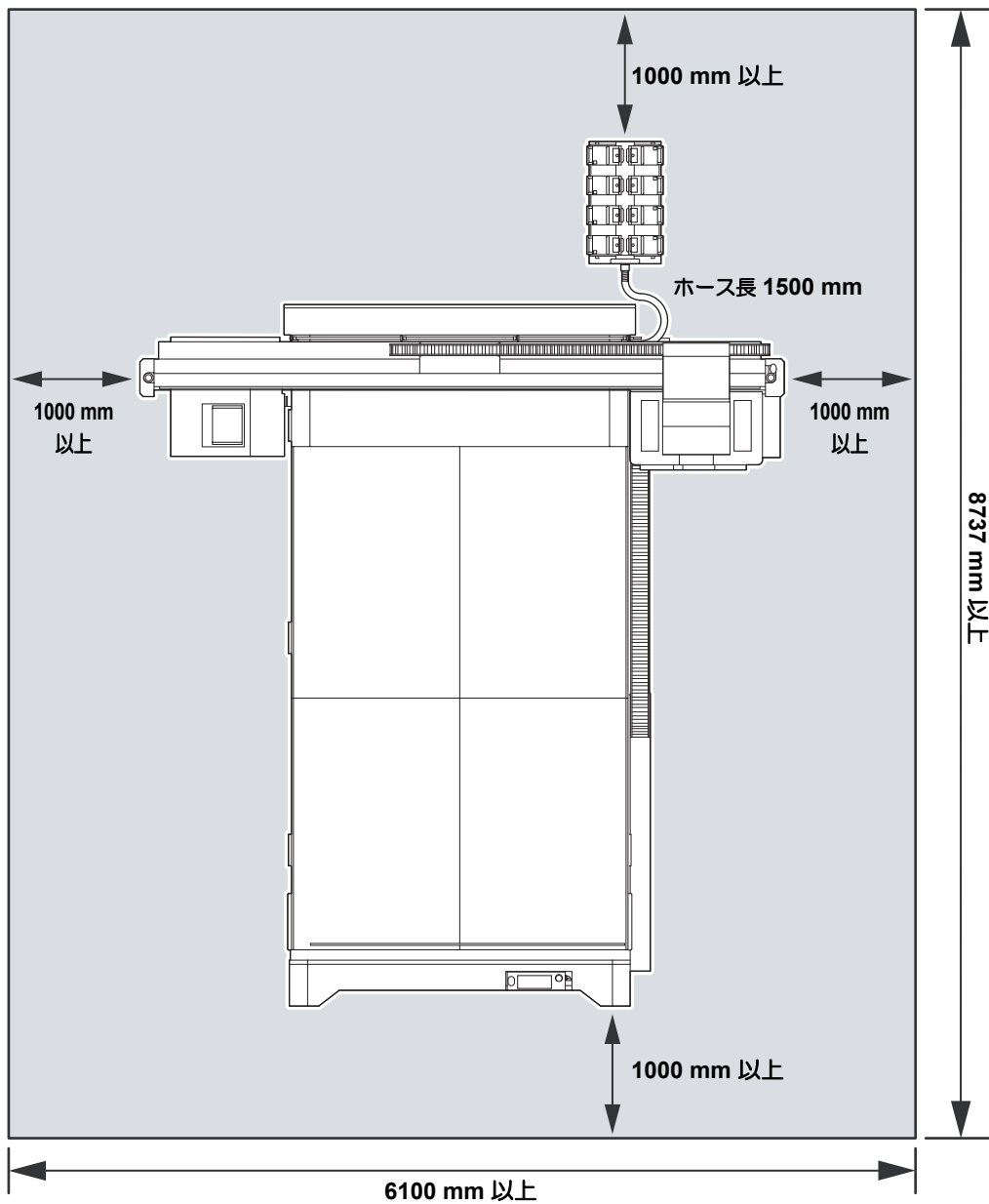
設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
JFX500-2131	4100mm	4462mm	1490mm	1353kg
外部インク供給ユニット	775mm	455mm	900mm	40kg

重要!

- 本機はサービスエンジニアにより設置作業を行います。その際、サービスエンジニアによる本機の使用や設置に関するご連絡がありますので、その内容をよくご理解いただいた上で、安全に本機を使用してください。





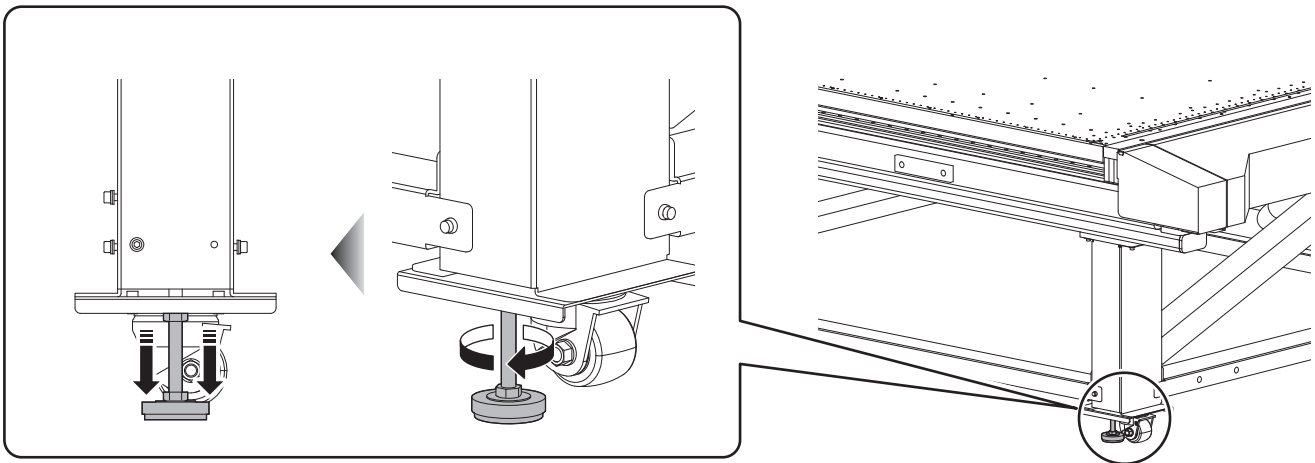
- お客様が通常、写真定着材を使用されている場合、写真定着材の蒸気が充満している部屋には本機を設置しないでください。写真定着材が充満した部屋に本機を設置すると、ヘッドに付着したインクが固まり、ヘッドクリーニングを何度も行っても改善しない画質不良や、ノズル詰まりの原因になります。
- 写真定着材の他にも、酸性蒸気（酢酸や塩酸等）の発生している環境下に本機を放置しても同様の現象が発生します。
- 金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類）を含むものが充満した環境では、マシンを使用しないでください。また、そのような環境からインク、メンテナンスキット類、マシンを隔離してください。ノズル詰まりの原因になります。

使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、15～30℃の環境でご使用ください。

装置の固定について

本機の脚には、装置を固定するためのレベルフットが付いています。
本機の電源を投入する前に、必ず、本機がレベルフットで固定されていることを確認してください。
レベルフットで固定されていない状態でプリントをすると、本機が動き出す場合があります。



- 付属の樹脂製（グレー）の床板をレベルフットと床の間に敷いてください。本機の重量を支えるために、床板の使用をお勧めします。

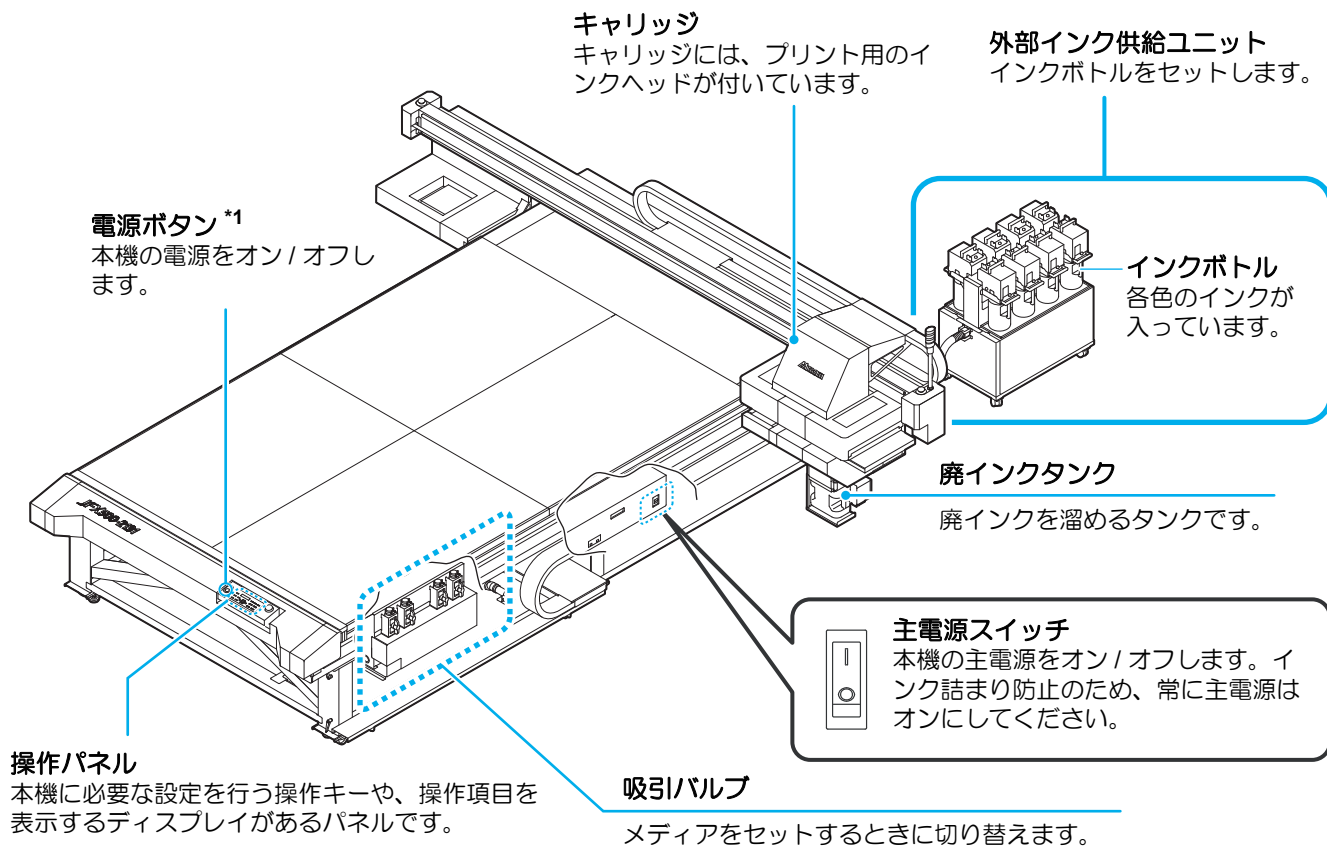
本機の移動



- 本機の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

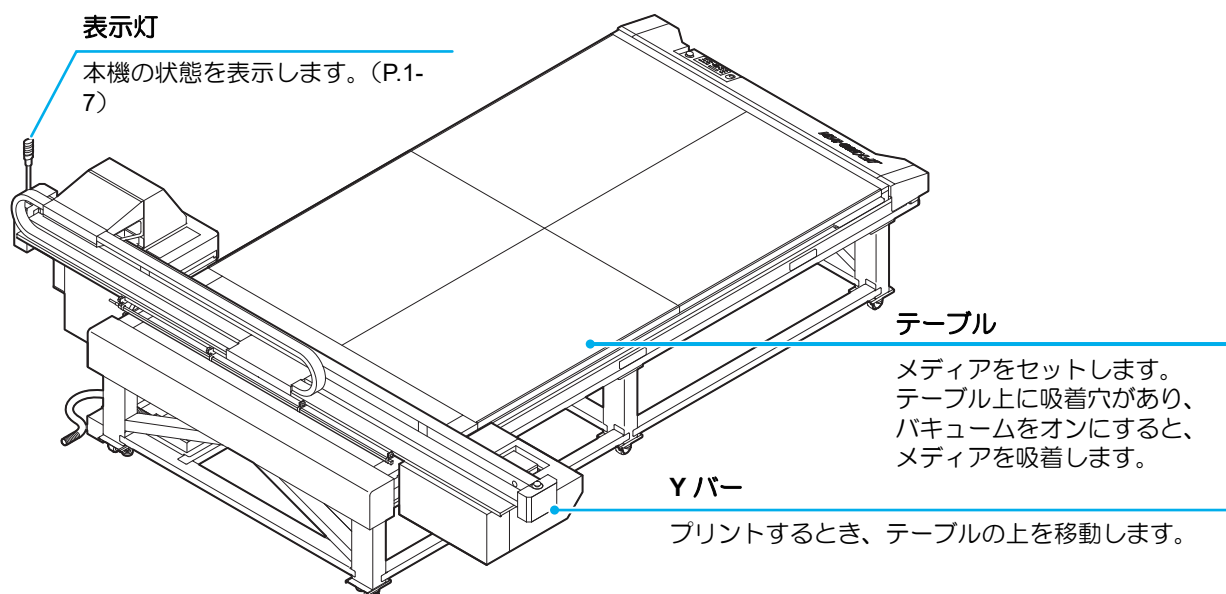
各部の名称とはたらきについて

装置前面



*1: 電源ボタンをオンにすると緑色に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチをオンにしておくと、電源ボタンをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

装置背面 / 側面



操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

VACUUM キー

メディアをテーブルに吸着させるときに押します。

UP キー

キャリッジを上げるときに押します。

DOWN キー

キャリッジを下げるときに押します。

ADJUST キー

ドットイチ補正、フィード補正などの調整機能を実行します。

MAINT. キー

ステーションメンテナンスなどのメンテナンス機能を実行します。

POWER ランプ

電源が入っているときに点灯します。

TEST キー

インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。

CLEANING キー

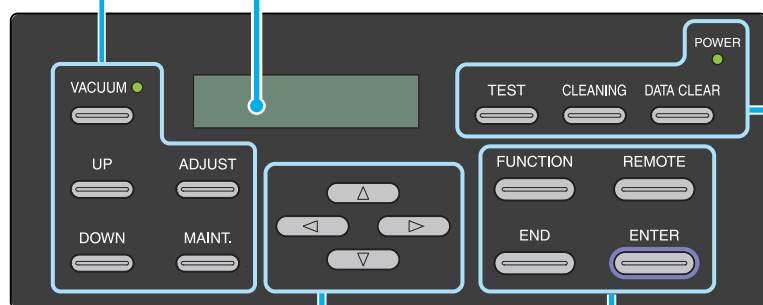
インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

DATA CLEAR キー

本機が受信したデータを消去します。

ディスプレイ

本機の状態、設定項目、エラーなどを表示します。



ジョグキー

ローカルモードでのヘッドや Y バーの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

FUNCTION キー

各種機能を使うときに押します。

REMOTE キー

リモートとローカルを切り替えます。

END キー

設定が終わるときに押します。

ENTER キー

設定を確定するときに押します。



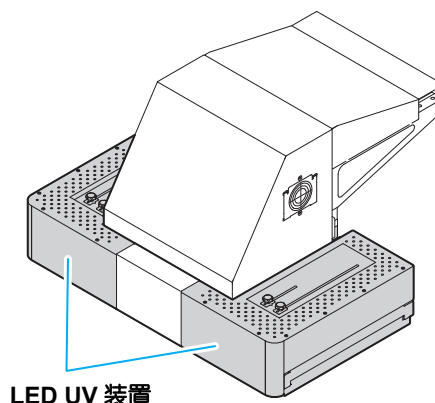
- オプションブローを本機に接続した場合は、メディアをテーブルに吸着するためのバキューム機能に加え、吸着しているメディアを取り外すためのブロー機能が使えます。ブロー機能は、**VACUUM** キーを長押しするとお使いになれます。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドと LED UV 装置が付いています。



- 点灯中の LED UV から出る光を直接肉眼で見ないでください。
- 点灯中や消灯直後は LED UV 装置に触らないでください。熱くなっているため大変危険です。

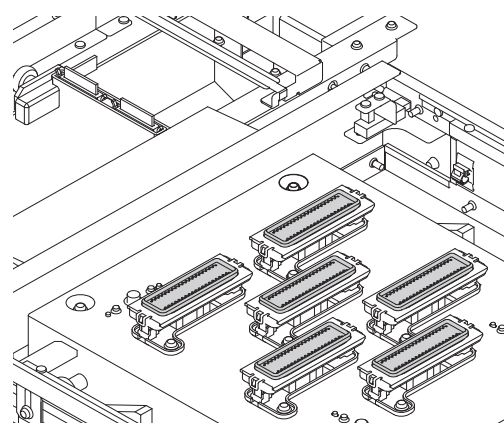


キャッピングステーション



- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属の保護メガネを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。(P.4-24)



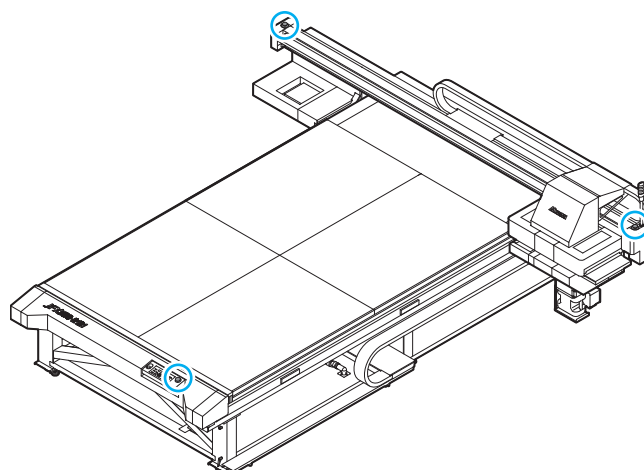
非常停止スイッチ

安全上の理由で、本機を緊急停止したいときに押します。非常停止スイッチは、装置前面に 1 箇所、Y バーに 2 箇所あります。

重要!

非常停止スイッチを押して緊急停止をした場合は、次のようにしてください。

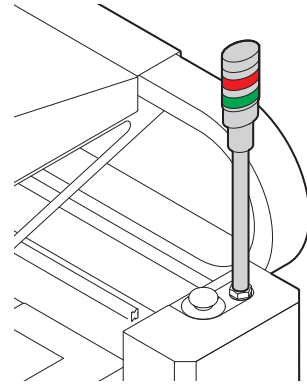
- (1) 主電源を切ってから、異常原因を取り除く
- (2) 安全確認後、非常停止スイッチを引っ張り上げて(または回転させて)解除する
- (3) 主電源を入れる



表示灯

本体右上にある表示灯の動作について説明します。
表示灯には緑と赤の2色のランプがあります。

ランプ色	ランプの状態	本機の状態
緑	点灯	リモート
	点滅	リモート(プリント中)
	消灯	ローカル
赤	点灯	エラー発生中
	消灯	正常

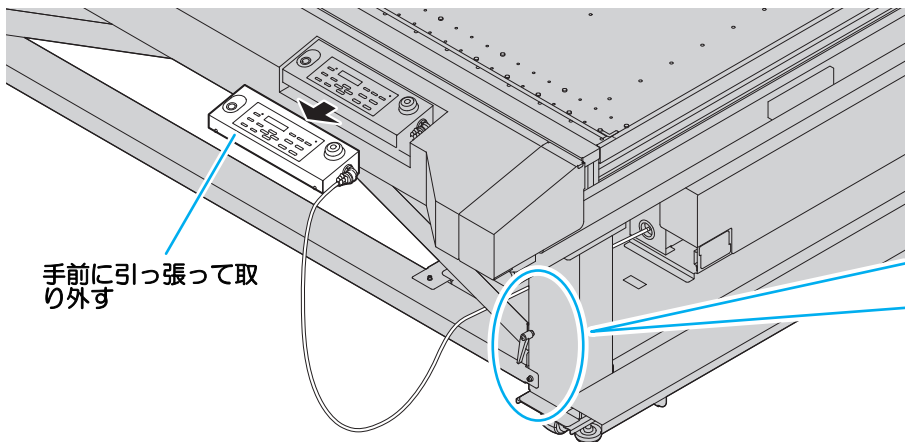


操作パネルケーブル

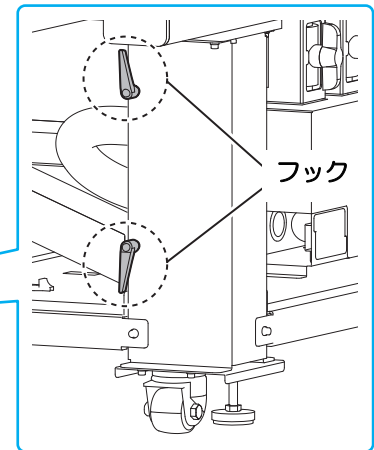
本体から操作パネルを取り外してお使いになることができます。

重要!

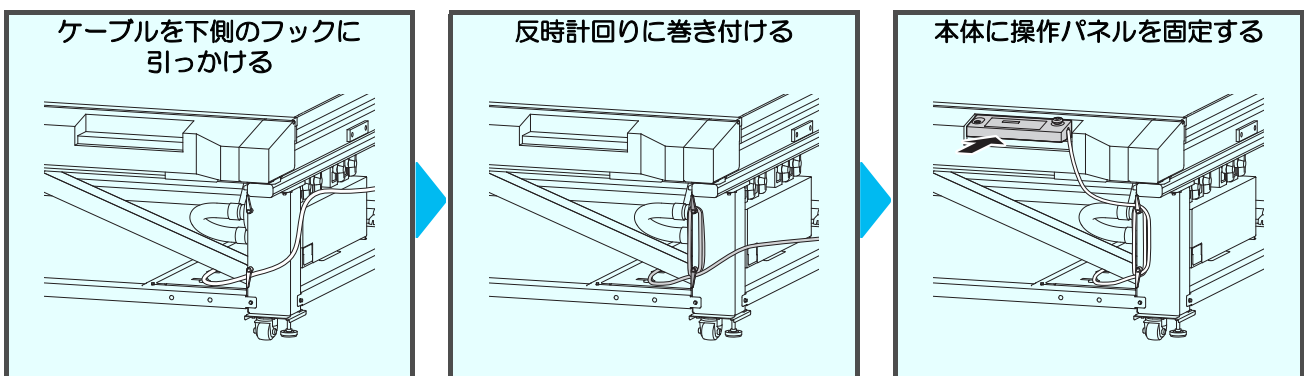
- 操作パネルは本体にマグネットで固定されています。
- 作図をする場合は、非常停止ボタンをすぐ押せるように、操作パネルを身近に置いて作業してください。
- 操作パネルを取り外してお使いになるときは、本体右側のベルトに操作パネルケーブルが巻き込まれないよう、引き回しに十分注意してください。
- 操作パネルを本体に取り付けてお使いになる場合は、本体手前右側の脚についているフックにケーブルを巻き付けてください。その際、ケーブルが本体右側のメルトに接触していないことをご確認ください。



手前に引っ張って取り外す



操作パネルケーブルの巻き付け方



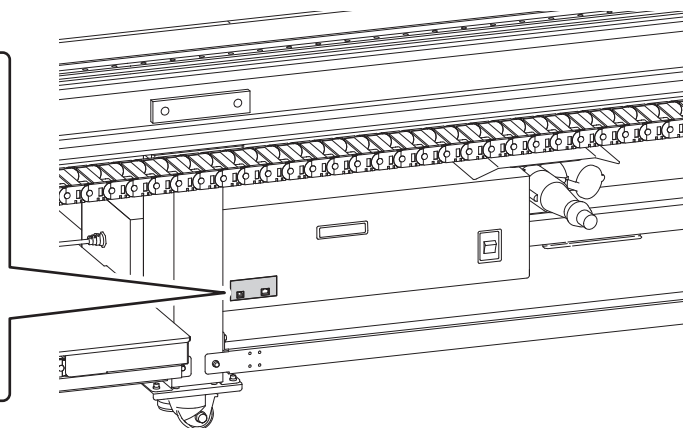
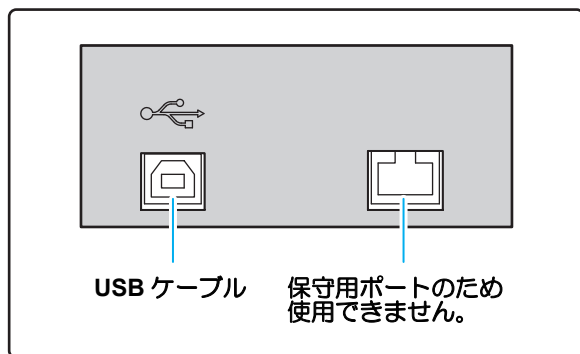
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本機を USB2.0 インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。



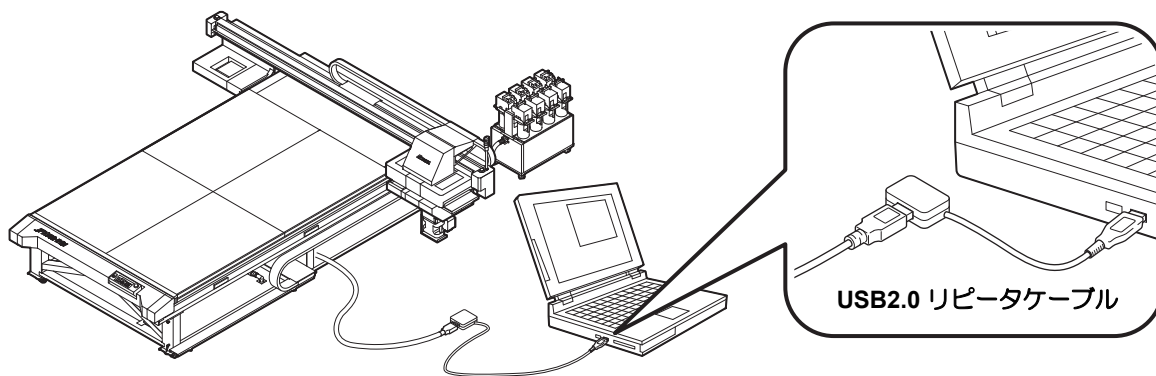
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重要!

- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の JFX500 を接続する場合

1 台のパソコンに JFX500 を複数台接続する場合、JFX500 を正常に認識できない場合があります。複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して JFX500 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても JFX500 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

JFX500 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

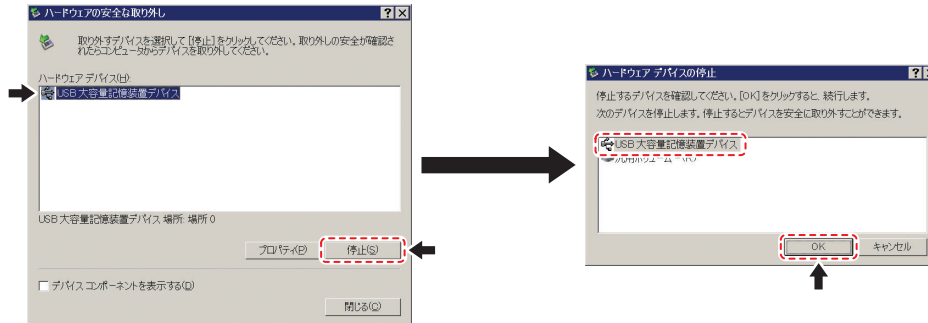
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに JFX500 を接続した場合、JFX500 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USBメモリの抜きかた

JFX500 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 201 コマンドエラー] 発生の原因になります。

スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



電源ケーブルの接続について

本機の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事業者にお任せください。



- 本機の電源仕様は、以下のようになります。
単相 AC200~240V、20A(100V 系では使用できません。)
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は、電気工事業者に依頼してください。

ブレーカへのソケット工事
C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)

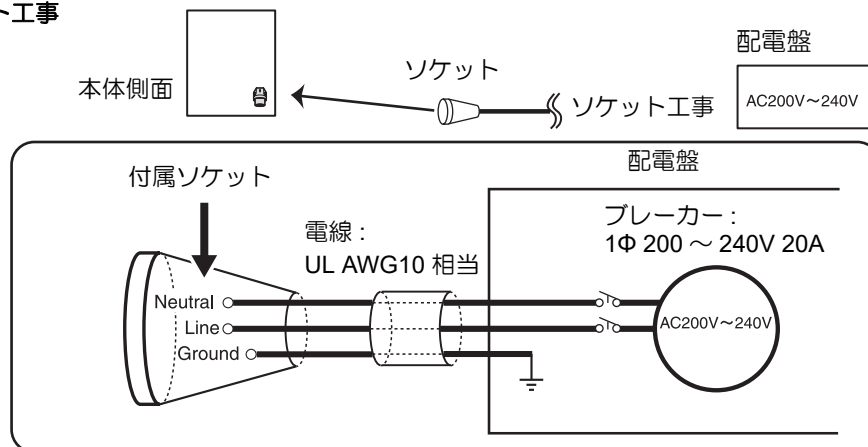
- コンセントは必ず本機の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本機の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。



- 付属の電源ケーブル以外を使用する場合は、下記の電線相当を使用し、下図のように配線してください。
VCT-5.5m m² x3 芯 (600V)
UL-AWG10x3C (600V)

本機の電源接続は、「プラグ差し込み式 タイプ B」の規定に基づき、IEC60309 規格のプラグを使用しています。本機の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤とソケットの間の工事を行ってください。

ソケット工事



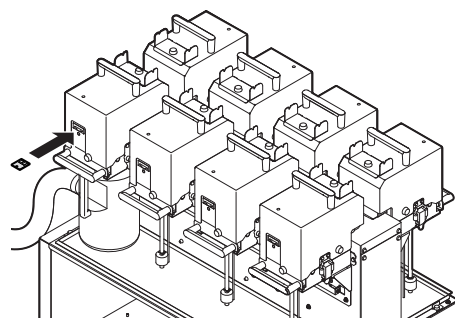
1
1 使用前の

インクボトルをセットする

外部インク供給ユニットにインクボトルをセットします。

1 IC チップを差し込む

- IC チップは金属が付いている方を上にして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障や IC チップ 破損の原因となります。
- IC チップ の金属部分には触れないでください。静電気による IC チップ 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。
- インクボトルのセット順は P.6-4「インクボトルのセット順」を参照してください。



重要!

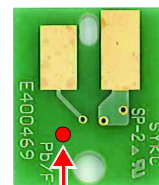
IC チップについて

- IC チップには、インクカラーやインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。インクボトルをセットするときは、インクボトルと一緒に梱包されている IC チップをインクカバーに付いている IC チップ挿入口に差し込んでください。
- インクボトルと対になっていない IC チップをセットすると、画質不良などの原因となります。
- IC チップにはカラー情報を表すマークが貼られています。

インクカラーと表示マーク

インクカラー	表示マーク
ブラック	● (黒丸がひとつ)
シアン	● (青丸がひとつ)
マゼンタ	● (赤丸がひとつ)
イエロー	● (黄丸がひとつ)
ホワイト	○ (白丸がひとつ)
クリア	○○ (白丸がふたつ)

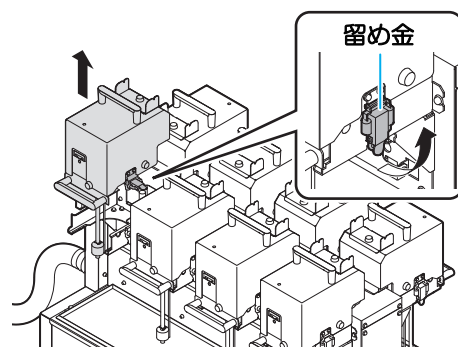
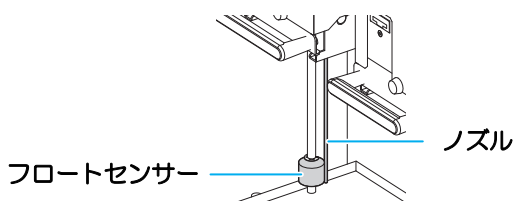
IC チップ



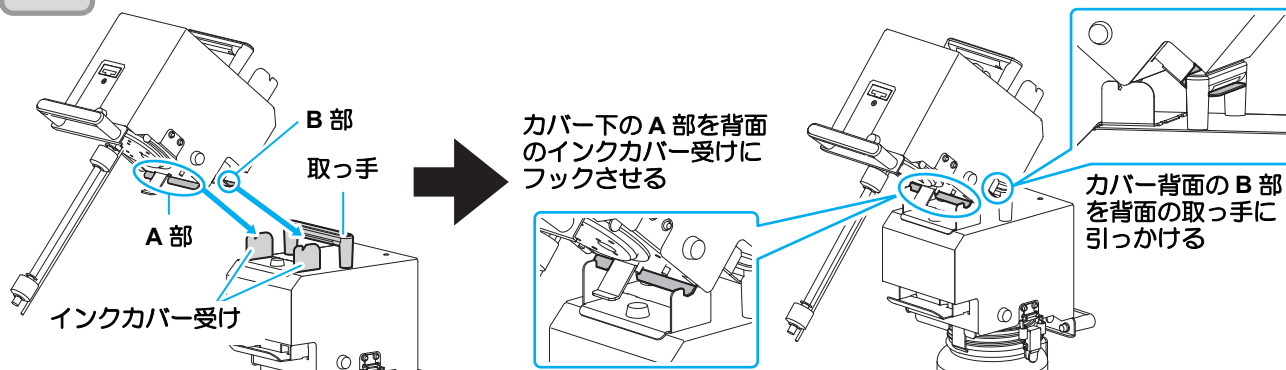
マーク表示場所

2 インクカバーを外す

- インクカバー両脇の留め金を外して、カバーを取り外します。
- インクカバーの裏側には、インク吸引用のノズル(棒状)とインク残量検出用のフロートセンサーが付いています。



3 取り外したインクカバーを背面側のインクカバーの上に乗せておく



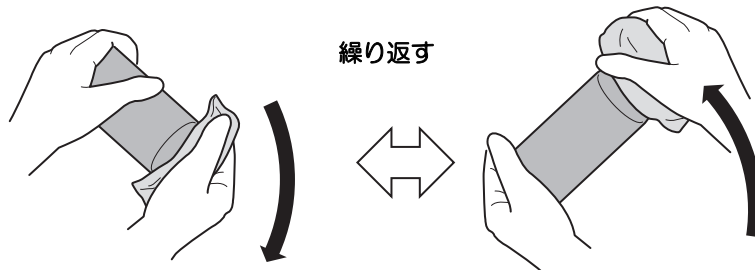
4

1 リットルインクボトルを取り出し、20 回以上ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタをしめた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。



- フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振ってください。
- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクボトルが縦になるまで傾けてください。

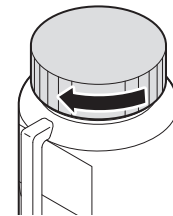


繰り返す

紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

5

外部インク供給ユニットにセットするインクボトルのフタを外す



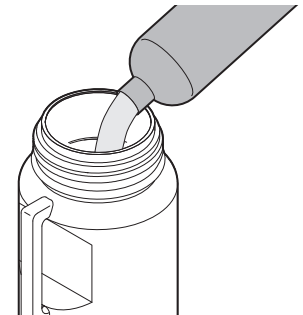
6

1 リットルインクボトルのインクを、外部供給ユニットのインクボトルに移す

- インクの種類によっては、ボトルの天面にアルミシートが貼り付いています。この場合は、カッターなどを使って取り除いてください。

重要!

- インクの補充は必ず 1 リットルずつ行ってください。1 リットルインクボトルに付属している IC チップには、インク 1 リットル分のインク情報が書き込まれているため、一度に 2 リットル分のインクを補充するとインクの管理ができなくなります。

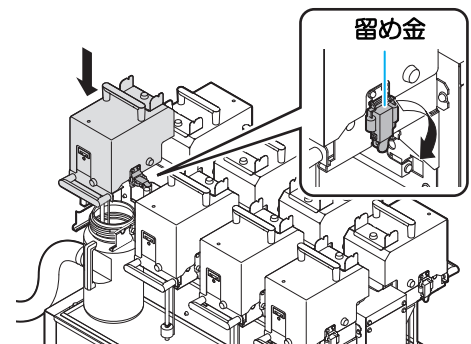


外部供給ユニットのインクボトルには、インク以外の異物 (1L インクボトルのフタ等) を絶対に入れないでください。

7

外部インク供給ユニットのインクボトルをボトルホルダーにセットし、インクカバーを取り付ける

- インクボトルの中に、インク吸引用のノズル (棒状) とインク残量検出用のフロートセンサーが入るようにしてください。
- インク受けがインク等で汚れた場合、ウェス等で拭き取ってください。



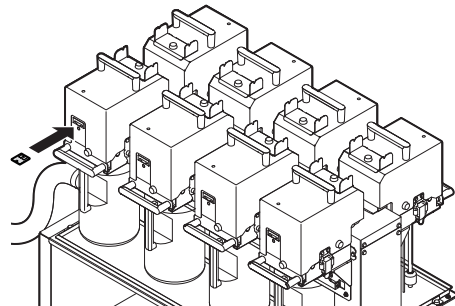
留め金

インクを補充する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。

● [インクエンド]が表示されたとき

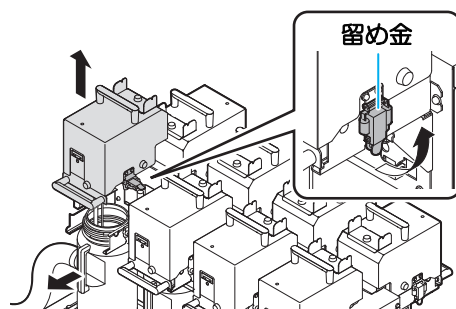
1 ICチップを差し込む



2 補充するインクボトルのインクカバーを外し、インクボトルを取り除く



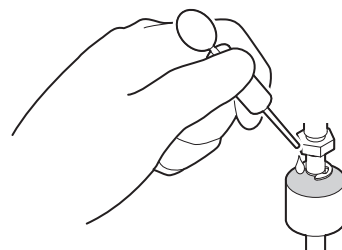
- ・インクボトル交換時に、インクが飛び散ることがあります。目に入らないようご注意ください。
- ・インクボトルを交換するときは、ウェス等で周囲を養生してから行ってください。フロート部からのインク垂れにより周囲が汚れてしまいます。



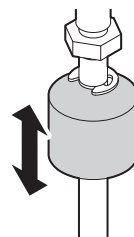
3 フロートの上下動を確認する

- ・乾燥したインクが付着するなどフロートの動きに異常がある場合は、以下のようにしてください。

(1) フロートの上部に洗浄液を数滴垂らす

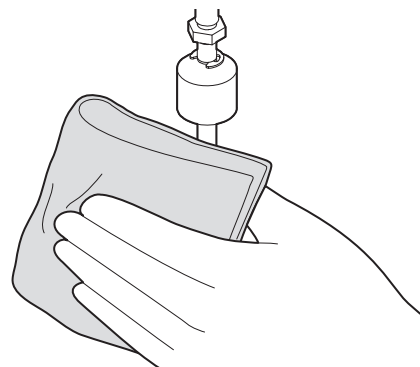


(2) フロートを上下に動かし、洗浄液をなじませる



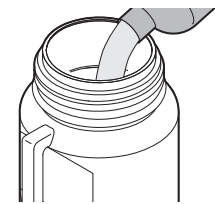
(3) フロートが正常に動くようになったら、フロートや管に付着した洗浄液をウェス等で拭き取る

- ・再度、フロートを上下させ、異常がないか確認してください。



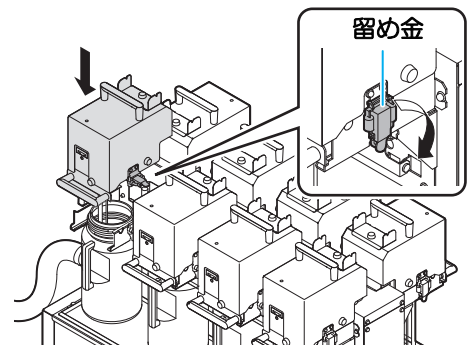
4 新しい1リットルインクボトルを用意し、外部インク供給ユニットのインクボトルにインクを補充する

重要! ・インクの補充は必ず1リットルずつ行ってください。1リットルインクボトルに付属しているICチップには、インク1リットル分のインク情報が書き込まれているため、一度に2リットル分のインクを補充するとインクの管理ができなくなります。



Caution 外部供給ユニットのインクボトルには、インク以外の異物(1Lインクボトルのフタ等)を絶対に入れないでください。

5 外部インク供給ユニットのインクボトルをボトルホルダーにセットし、インクカバーを取り付ける



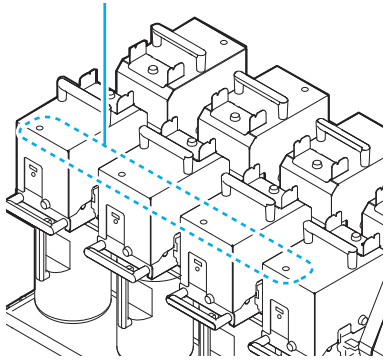
● [インクニアエンド]が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクボトルの交換をすることをお勧めします。ローカルで **ENTER** キーを押すと、交換対象ボトルをローカルガイダンスで確認できます。(P.3-36)

インクボトルランプについて

インクボトルの上にあるランプで、セット中のインクボトルの状態を確認することができます。

インクボトルランプ



インクボトルランプの状態	説明
消灯	異常なし
赤色に点滅	インクボトルの残量が少ない(ニアエンド)、またはインク期限が切れて1ヶ月たっています。まもなく使用できなくなります。
赤色に点灯	インク残量がない、または、その他のインクエラー (P.5-4) でインクボトルが使用できません。
赤色に早い点滅	インク期限が切れてから2ヶ月たっているため、インクボトルが使用できません。
緑色に点灯	インクを供給していることを示します。4色インクセットでお使いのとき、本機はインク期限の短いインクボトルからインク供給を行います。
赤色/緑色交互点滅	赤色点滅と緑色点灯の両方の状態が発生しています。

インク使用期限について

インクボトルには使用期限があります。
インクボトルに記載してある期限の翌々月までは使用可能ですが、3か月後になった時点で使用できなくなります。

使用不可になると、インクボトルランプが赤色に早く点滅してお知らせするので交換してください。

例) 消費期限の記載が 2012 年 4 月の場合

5 月：使用可能

6 月：使用可能 (インクボトルランプ赤色点滅)

7 月：使用不可 (インクボトルランプ赤色早点滅)

インクエンド、インクニアエンドについて

インクニアエンド (残量わずか) の場合、インクボトルランプが赤色に点滅してお知らせします。早めの交換をおすすめします。

インクエンド (残量なし) の場合、インクボトルランプが赤色に点灯してお知らせします。インクボトルを交換してください。

インクボトル取り扱い上のご注意



- ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・本機には専用のインクボトルをお使いください。本機は、専用のインクボトルを認識して動作します。インクボトル等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- ・インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ・インクボトルは冷暗所で保存してください。
- ・インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- ・インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。



- ・インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- ・インクボトルのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ・IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名	JFX-2131
最大幅	2100mm
最大長	3100mm
最大プリント幅	2100mm
厚さ	50mm 以下
重量 *1	325kg 以下

*1. 1m²あたり、50kg が目安です。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重要!

- **メディアの伸縮**
包装を開けて間もないシート状のメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、30分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。
- **メディアの反り**
板状メディアは、平らなもの、プリント面を上にして下に反っているもの（中央が浮いているもの）をご使用ください。上に反っているメディアは、テーブルに吸着できない場合があります。反りやすいメディアは、一回り小さめの台やパレットの上に置くなど、下反りになるように保管してください。また、吸着エリアからはみ出しているメディアについて、反りが無いようご注意ください。
- **メディアの吸着**
吸着効果を維持するために、メディアが覆えないテーブル上の吸着穴は、使用するメディアよりも薄いメディアで塞いでください。
- **その他の注意点**
 - a コート紙の表面に物を置かないでください。コート紙によっては変色する場合があります。
 - b 吸着しきれないカールしたメディアや、Yバー移動時にずれてしまうメディアは使用できません。テープ貼付などでメディアを固定してからご使用ください。
 - c ロジカルシークの設定を“OFF”にしても、反りや変形が生じるメディアは使用しないでください。
 - d 盤面は複数枚の板で構成されているため、メディアの厚みやコシによっては継ぎ目が印刷画像に反映されます。また、バキューム穴も同様に印刷画像に影響を与えることがあります。事前にテストプリントを行い、問題のないことを確認してから、印刷を行ってください。

第2章

基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2	ヘッドクリーニング	2-12
電源を入れる / 切る	2-3	ヘッドクリーニングについて	2-12
電源を入れる	2-3	テストプリントの結果に合わせて	
電源を切る	2-4	ヘッドクリーニングを行う	2-12
メディアをセットする	2-5	データをプリントする	2-13
メディアをセットする	2-5	プリントを開始する	2-13
LED UV ランプの照射位置を確認する	2-8	プリントを中断する	2-14
テストプリントをする	2-10	受信したデータを消去する	
テストプリントを行う	2-11	(データクリア)	2-14
		Yバーを移動させる	2-15

作業の流れ

1 電源を入れる / 切る

「電源を入れる / 切る」(☞ P.2-3) を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-5) を参照してください。

3 LED UV ランプの照射位置を確認する

「LED UV ランプの照射位置を確認する」(☞ P.2-8) を参照してください。

4 テストプリントをする

「テストプリントをする」(☞ P.2-10) を参照してください。

5 ヘッドクリーニング

「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-12) を参照してください。

6 データをプリントする

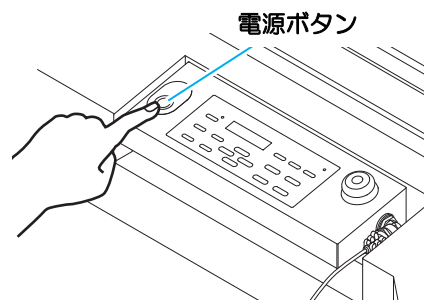
「データをプリントする」(☞ P.2-13) を参照してください。

電源を入れる

1

電源ボタンを押す

- 操作パネルの左側にある電源ボタンを押します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。
- 初期動作を実行します。

JFX500 Start-up
Ver 1.00

2

ローカルになる

<ローカル>

3

接続しているコンピュータの電源をオンにする



- 主電源スイッチは通常オンにしておいてください。主電源スイッチをオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

2

基本的な使い方

電源を切る

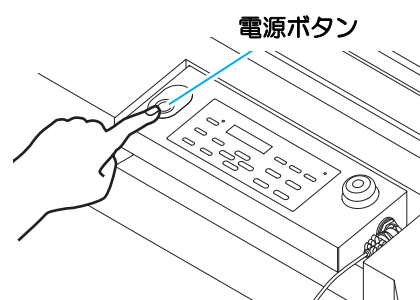
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源ボタンを押して電源をオフにします。電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。(P.5-14「エラーメッセージ」)

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源ボタンを押して、電源を切る

- 電源ボタンが消灯します。
- テーブル下にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本機をご使用になるときは、電源ボタンを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）および電源が入り圧力調整機能が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● 電源ボタンを切ってから、主電源スイッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、操作パネルにある電源ボタンを押しランプが消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

● 非常停止スイッチを押しても、電源は切れません。

非常停止スイッチは緊急停止が必要となったときに押すためのスイッチです。非常停止スイッチを押しても電源を切ることはできません。

メディアをセットする

本機では、リーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-15「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

メディアをセットする

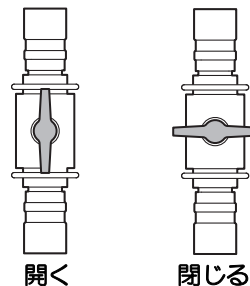
重要!

- ・吸着エリア内に、メディアで塞がれない吸着穴があるときは、紙やフィルム、テープなどの薄いシート上のものを敷いて吸着穴を塞いでください。
- ・メディア外周部は、熱により反り返ることがあります。補助的に粘着テープなどを使って固定してください。
- ・テーブルの端（上下2辺）に、付属の位置決めピンを差し込むためのガイド穴を設けています。メディアをまっすぐにセットするためのガイドとしてお使いください。（☞ P.2-7）

1

セットするメディアの大きさに合わせて、テーブル右側面の吸引バルブを切り替える

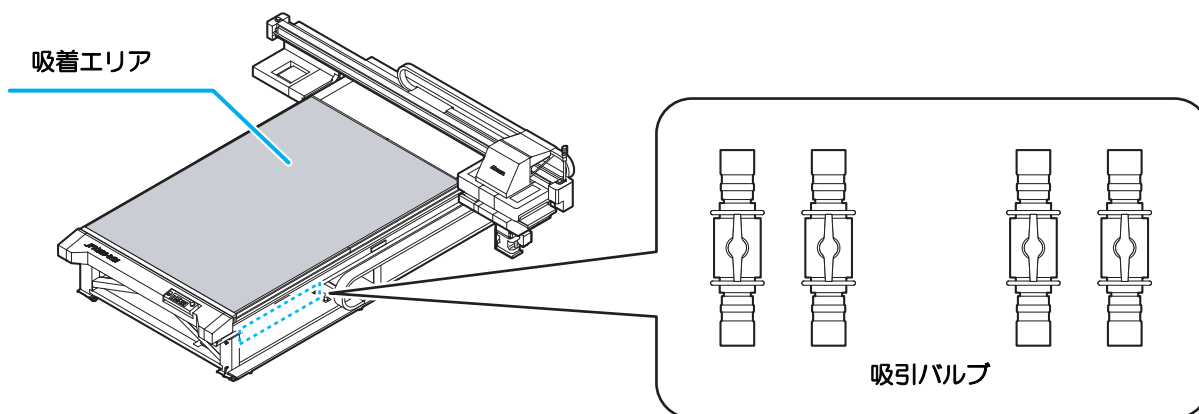
- ・バルブは、ハンドルを縦にすると開き、横にすると閉じます。



2

VACUUM キーを押して“VACUUM”ランプを点灯させ、メディアを吸着する

- ・吸着エリアについて、詳しくは P.2-6 をご参照ください。



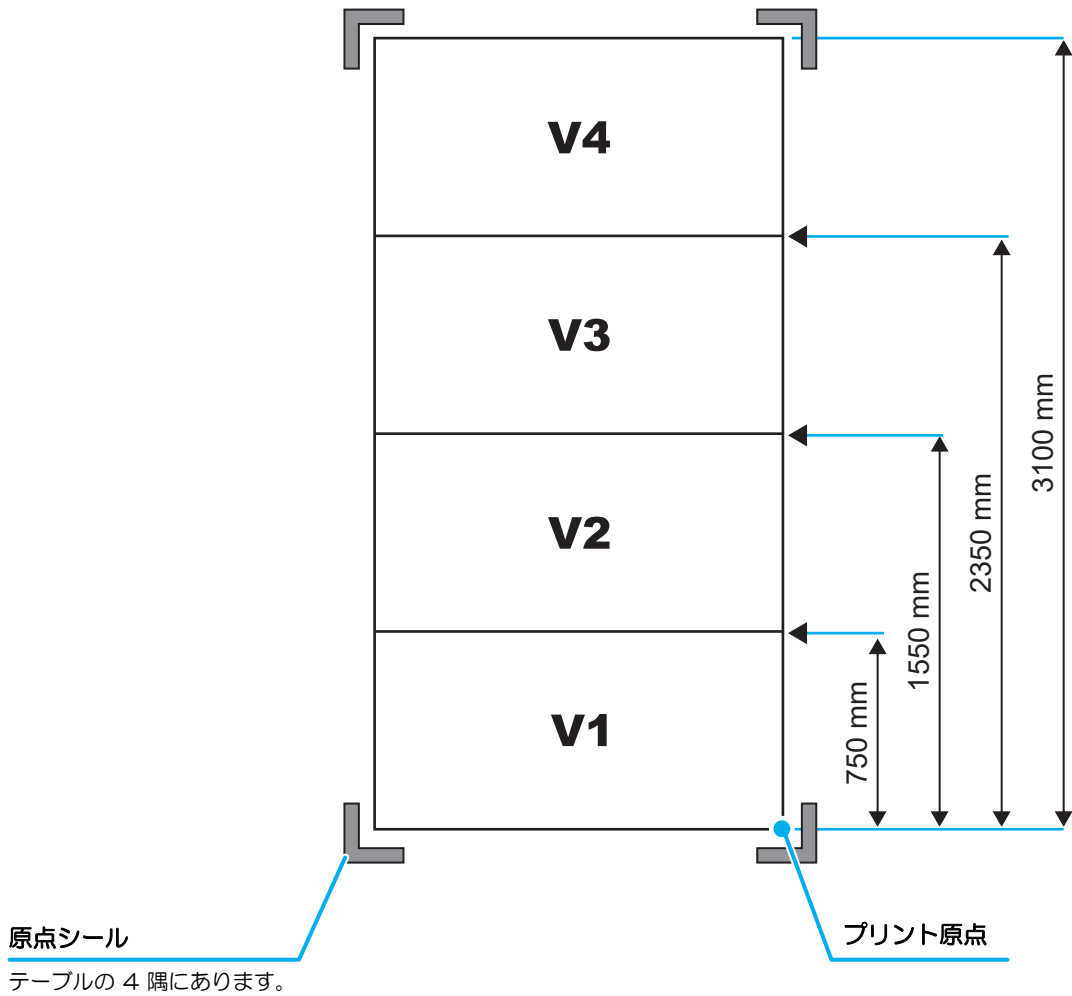
- メディアセット後は、以下の設定をしてください。
- ・セットしたメディアの厚みを登録する（☞ P.3-4）
 - ・ヘッドギャップ値を登録する（☞ P.3-6）

2

基本的な使い方

吸着エリアについて

吸着エリアは、下図のようになっています。



- 原点を変更したいときは、P.3-2 を参照してください。

メディアガイド穴について

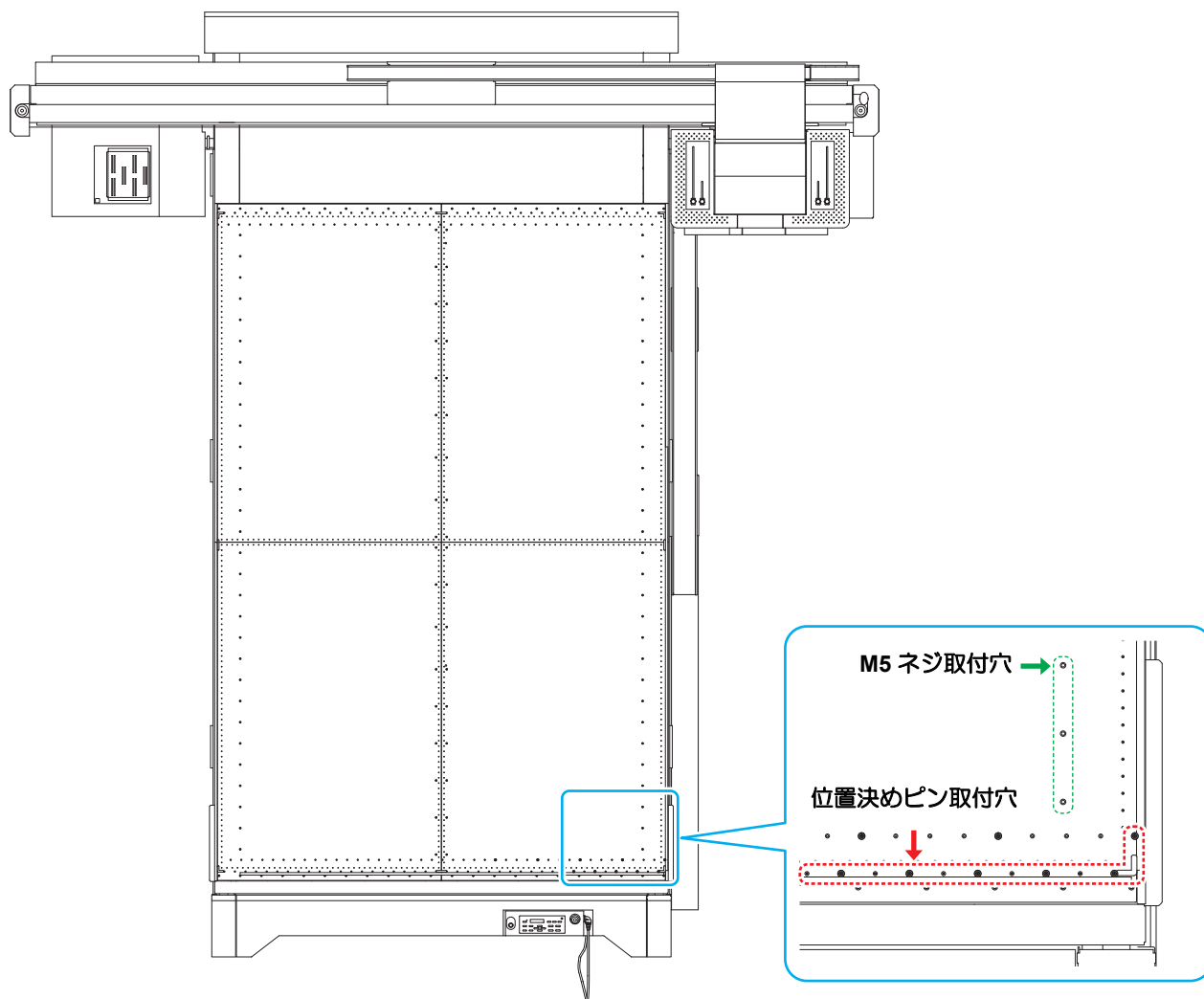
テーブルの端（上下 2 辺）に、付属の位置決めピンを差し込むためのガイド穴を設けています。メディアをまっすぐにセットするためのガイドとしてお使いください。



- 付属のネジの代わりに、市販の M5 ネジを取り付けることができます。この場合、テーブルの左右と上の 3 辺にネジを取り付けることができます。



- 付属の位置決めピンの場合、メディアの厚みが 5mm 以下は使用できません。



LED UV ランプの照射位置を確認する

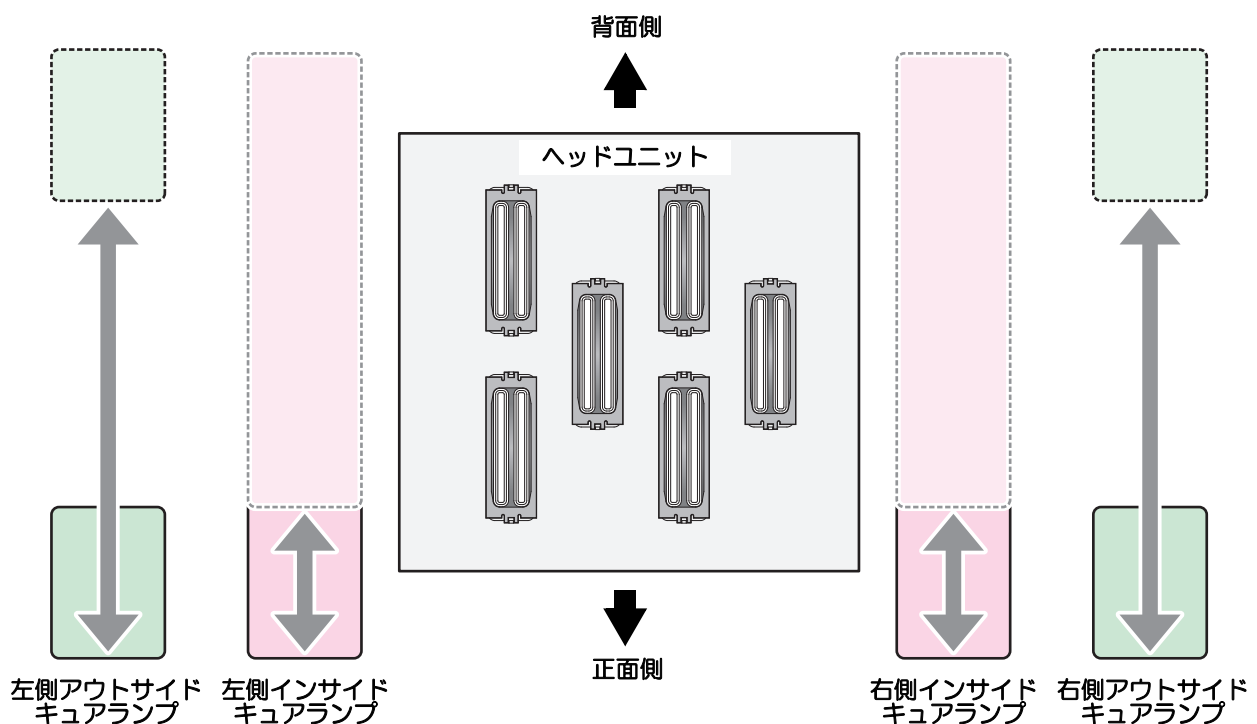
本機でプリントを行う場合、LED UV の位置を移動させて印刷することができます。

本機では、次の3種類の印刷方法を選択できます。

- メディア上にカラーインク層を印刷する単層印刷
- カラーインク層の上に白インク層を重ねた2層印刷
- 白インク層の上にカラーインク層を重ねた2層印刷

LED UV ランプの最適な位置

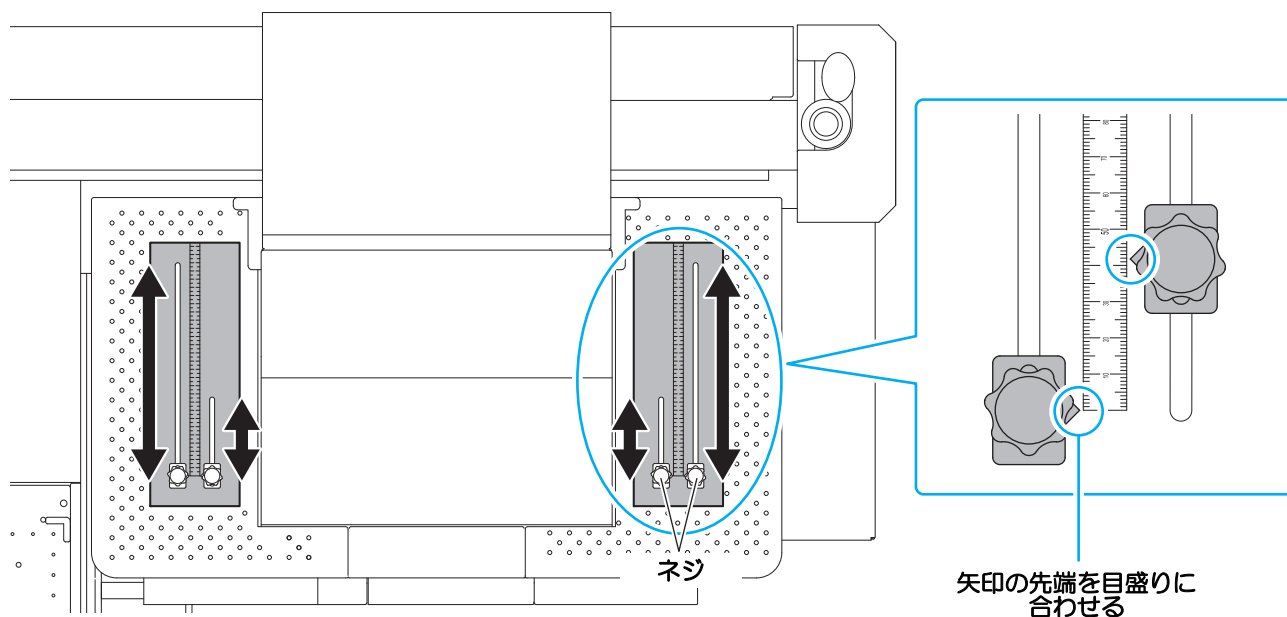
ヘッドユニット周辺には、下図のように4種類のLED UV ランプを搭載しています。LED UV ランプを移動させてください。



- 推奨する LED UV ランプの位置は次の通りです。
インサイドキュアランプ : 左右ともゲージの 30mm の位置に移動する。
アウトサイドキュアランプ : 左右ともゲージの 80mm の位置に移動する。

LED UV ランプの位置調整方法

キャリッジ左右にあるインサイドキュアランプとアウトサイドキュアランプの移動方法を説明します。移動させるランプのネジを緩め、スライドさせて移動してください。



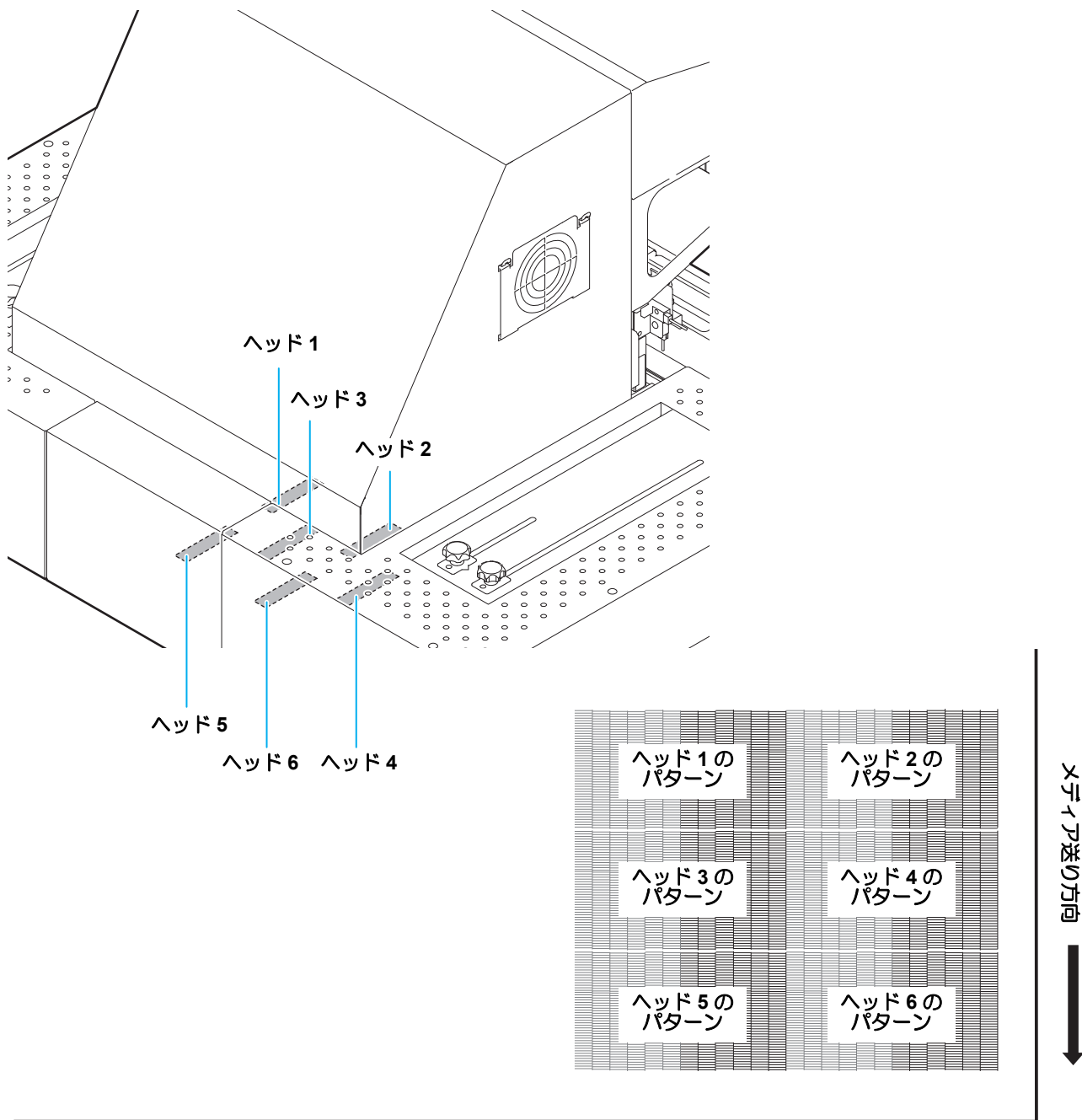
- LED UV ランプを移動させるための溝に異物が落下しないように注意してください。ネジなどの金属物が落下すると、発火の恐れがあります。

テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

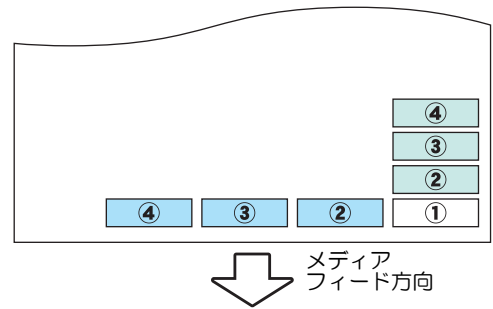
ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



■ : 設定値が“FEED ホウコウ” のとき
 ■ : 設定値が“SCAN ホウコウ” のとき

テストプリントの前に確認してください	
<ul style="list-style-type: none"> メディアをセットしているか (P.2-5) 	<ul style="list-style-type: none"> 原点位置をセットしているか
<ul style="list-style-type: none"> ヘッドギャップを調整しているか (P.3-6) 	

1 ローカルで、**TEST** キーを押す

- ▲▼ を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。

テスト サクス
 (FEED ホウコウ) [ENT]

2 **ENTER** キーを押す

3 ▲▼ キーを押して、ノズルリカバリの ON/OFF を選択する

- ON : メンテナンス機能のノズルリカバリで登録した抜け等のあるノズルを他のノズルでリカバリしたパターンをプリント
- OFF : 抜け等のあるノズルをリカバリしないでパターンをプリント

重要! この手順の操作は、メンテナンス機能のノズルリカバリを登録していない場合や、ノズルリカバリの“カクニンメニュー”を OFF にしている場合は設定できません。

テスト プリント
 ノズルリカバリ : ON

4 **ENTER** キーを押す

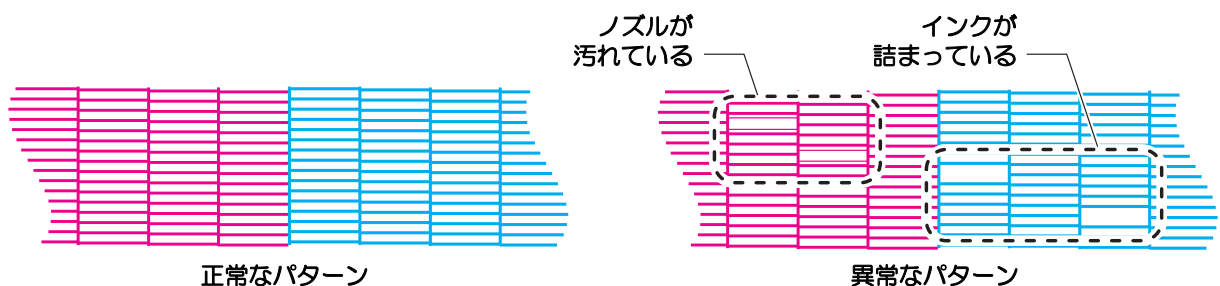
- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、手順 1 の表示に戻ります。

** プリント **
 シバラク オマチクダサイ

テスト サクス
 (FEED ホウコウ) [ENT]

5 プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.2-12)



正常なパターン

異常なパターン

ヘッドクリーニング

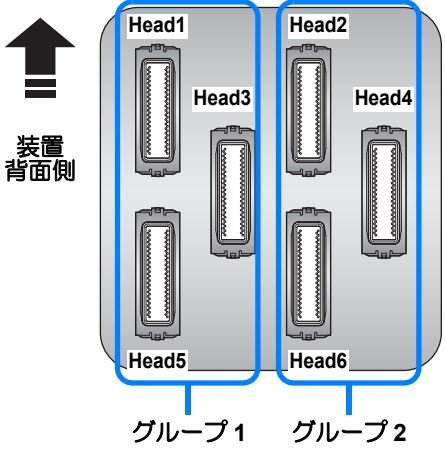
ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の3種類から選んでください。

- ソフト : 線の曲がり、抜けがある時
- ノーマル : 線の抜けがある時、混色している時
- ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

- 1** ローカルモードで、**CLEANING** キーを押す
クリーニング*
ソフト [ENT]
- 2** **▲** **▼** を押して、クリーニングタイプを選択する
クリーニング*
ノーマル [ENT]
ソフト : 線の曲がり、抜けがある時
ノーマル : 線の抜けがある時、混色している時
ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時
- 3** **ENTER** キーを押す
ヘッド* センタク
: 12
- 4** **▲** **▼** を押して、クリーニングするヘッドを選択する
ヘッド* センタク
: 1_
・設定値: 12 (全てのヘッド)
1_ (グループ1のヘッド)
2_ (グループ2のヘッド)

- 5** **ENTER** キーを押す
・ディスプレイ下段には、クリーニングの残り時間を表示します。
** クリーニング* **
00:01:10
- 6** 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する
・プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

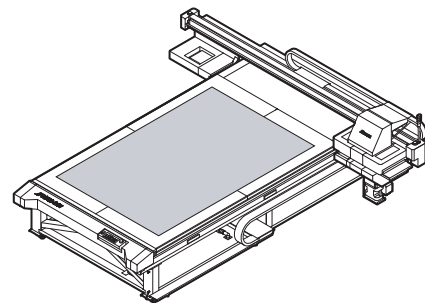
- ・ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-4)
- ・「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して、ノズルリカバリの設定をする (☞ P.4-14)

データをプリントする

プリントを開始する

1 メディアをセットする (☞ P.2-5)

- (1) メディアのサイズに合わせて、吸引バルブを開閉する
- (2) **VACUUM** キーを押して、VACUUM ランプを点灯させ、メディアを吸着させる



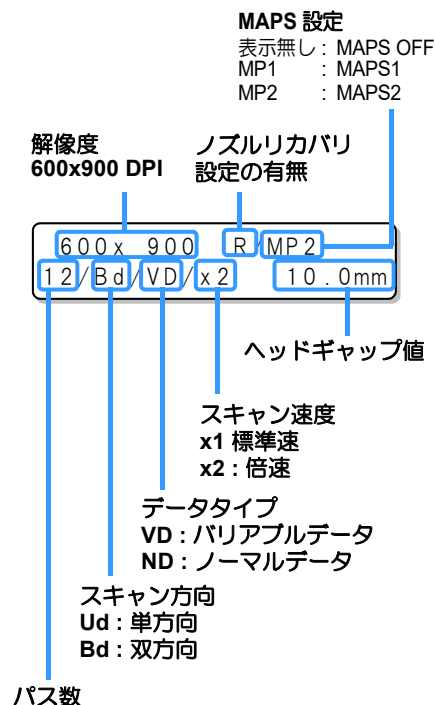
2 ローカルで、**REMOTE** キーを押す

- ・リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

3 コンピュータからプリントするデータを送信する

- ・プリント条件を表示します。
- ・データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

4 プリント開始



5 プリント終了後、メディアを取り外す

- (1) 「Yバーを移動させる」(☞ P.2-15) の操作をして、Yバーをテーブルの外に退避させる
- (2) **VACUUM** キーを押して、吸着を OFF にする
- (3) メディアを取り除く

重要!

- ・プリント中に LED UV による熱で、メディアが浮き上がり、プリントが中断される場合があります。新しいメディアをセットし直し、プリントを開始してください。

プリントを中断する

プリントを途中で止める場合、次の操作をしてください。

1

プリント中に、**REMOTE** キーを押す

<ローカル>
プリントデータ アリ

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度**REMOTE** キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1

ローカルで、**DATA CLEAR** キーを押す

データ クリア
[ENT]

2

ENTER キーを押します。

- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

** データ クリア **

Yバーを移動させる

プリント結果を確認したいときなどに、Yバーを移動させることができます。
あらかじめ、Yバーの退避位置(ビュー位置)を設定してください。

ビュー位置を設定する

1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION	
ビ`ユー	[ENT]

2 **ENTER** キーを押す

ビ`ユー	****mm
イト`ウ カイシ	[ENT]

3 **▼** を押す

ビ`ユー	****mm
ビ`ユー イチ セツテイ	[ENT]

4 **ENTER** キーを押す

ビ`ユー	
=	****mm

5 **▼** **▲** を押して、移動位置を設定する

ビ`ユー	
=	500mm

▲ を押すと : 原点を中心に、テーブルの奥側へ Yバーが移動 (1mm 単位で移動)
▼ を押すと : 原点を中心に、テーブルの前側へ Yバーが移動 (1mm 単位で移動)
◀ を押すと : 原点を中心に、テーブルの奥側へ Yバーが移動 (10mm 単位で移動)
▶ を押すと : 原点を中心に、テーブルの前側へ Yバーが移動 (10mm 単位で移動)
FUNCTION を押すと : 775mm 単位で Yバーが移動

in 1mm increment

6 **ENTER** キーを押す

- ・値が設定され、手順 2 の画面に戻ります。

Yバーをビュー位置へ移動させる

1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION	
ビ`ユー	[ENT]

2 **ENTER** キーを押す

ビ`ユー	****mm
イト`ウ カイシ	[ENT]

3 **ENTER** キーを押す

イト`ウチュウ	
シハ`ラクオマチクダ`サイ	

- ・Yバーが移動します。

第3章 便利な使い方



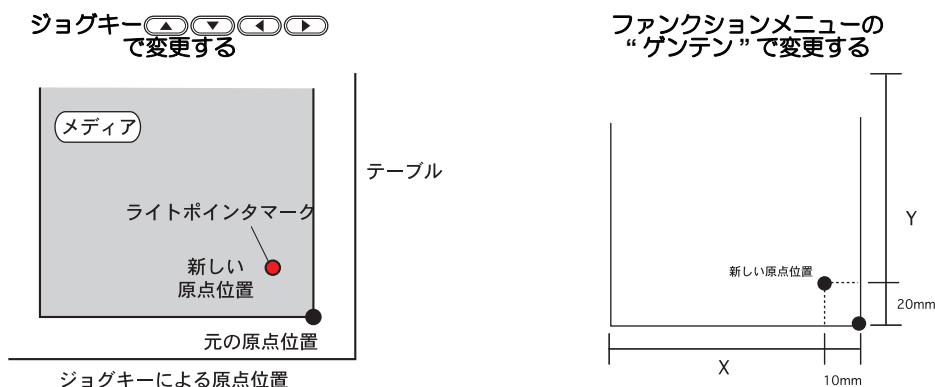
この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

原点を変更する	3-2	パス間の縞を軽減する設定をする	3-19
ジョグキーを使ってプリント原点を 変更する	3-2	MAPS 機能とは	3-19
ファンクションメニューを使ってプリント 原点を変更する	3-3	MAPS1 機能を設定する	3-20
メディアの厚みを登録する	3-4	MAPS2 機能を設定する (4 色時)	3-21
メディアの厚みを手動で登録する	3-4	MAPS2 機能を設定する (4 色 + 特色インク時)	3-22
メディアの厚みをキーを使って登録する	3-4	オートクリーニングの設定をする	3-24
メディアの厚みを自動測定する	3-5	ノズル面の清掃を設定する	3-25
ヘッドギャップ値を登録する	3-6	インクヒーターの設定をする	3-26
設定機能一覧表	3-7	その他の設定	3-27
Yバーの送りを設定する	3-8	マシン設定	3-28
フィード補正の設定	3-8	オートパワーオフの設定をする	3-28
双方向プリントのドット位置を調整する ...	3-10	ジコクの設定をする	3-29
ロジカルシークの設定をする	3-12	タンイの設定をする	3-30
UV モードの設定をする	3-13	キープザーの設定をする	3-31
RIP で指定した光量を調整したい場合	3-13	言語の設定をする	3-32
本機で設定した光量でプリントしたい 場合	3-14	設定した内容を初期状態に戻す	3-33
ワークチェンジを設定をする	3-17	装置情報を確認する	3-34
イオナイザーの設定をする	3-18	装置の使用状況を確認する	3-34
		装置のバージョン情報を確認する	3-35
		本機の情報を表示する	3-36

原点を変更する

お買い上げ時に設定されている原点の位置を変更することができます。
変更方法には次の2つがあります。



ジョグキーを使ってプリント原点を変更する

1

ローカルで、(▲▼◀▶)を押す

- 原点設定モードになります。
- テーブル、またはメディア上に赤いライトポイント「●」マークが映ります。

ゲンテン セッテイ
0.0 —

2

(▲▼◀▶)を押して、ライトポイントマークを移動させる

- 新しく原点を設定する位置に、ライトポイントマークを移動します。

ゲンテン セッテイ
500.0 600.0
原点位置 (前後) 原点位置 (左右)

3

プリント原点を決定したら、(ENTER)キーを押す

- 原点が変更されます。

** ゲンテン **

重要!

- ジョグキーで設定した原点は、電源を切ると設定値がクリアされます。

ファンクションメニューを使ってプリント原点を変更する

原点位置を正確に設定する場合、ファンクションメニューから X,Y 原点の設定をします。この設定で原点を設定した場合、設定した値が原点位置（0.0）となります。

1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
ビュー [ENT]

2 **▲▼** を押して [ゲンテン] を選び、**ENTER** キーを2回押す

ゲンテン 3000 mm
Xオフセット: 100 mm

・X軸のオフセット値設定画面になります。

3 **▲▼** を押して、数値を入れる

ゲンテン 2900 mm
Xオフセット: 200 mm

・X軸の原点位置を設定します。

4 **ENTER** キーを押す

ゲンテン 200mm
センタク : Xオフセット

5 **▲▼** を押して[Yオフセット]を選び、**ENTER** キーを押す

ゲンテン 100mm
センタク : Yオフセット

6 Y オフセット値を入れる

ゲンテン 1800 mm
Yオフセット: 300 mm

・Y軸の原点位置を設定します。

▲▼ : 1mm 単位で数値を変更できます。
◀▶ : 10mm 単位で数値を変更できます。
FUNCTION : 525mm 単位で数値を変更できます。

7 **ENTER** キーを押す

ゲンテン 300mm
センタク : Yオフセット

8 終了するとき、**END** キーを数回押す

重要! ・設定した原点は、電源を切ってもクリアされません。

メディアの厚みを登録する

セットするメディアの厚みを登録します。

登録方法には、「厚みを手動で登録する方法」、「**UP** **DOWN** キーで選択する方法」、「厚みを自動測定する方法」の3種類があります。



適正な厚みのメディアを使用してください。

- メディアの厚みが適正でないと、ヘッドギャップが広くなり、インクがミスト化して吐出不良となります。
- また、UV 冷却 FAN にてミストを吸引して部品交換の必要な不具合の発生要因となります。加えて UV 光の反射によりノズル内のインクを硬化させる原因となります。

メディアの厚みを手動で登録する

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ビュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して [ヘッドタカサ] を選ぶ	FUNCTION ヘッドタカサ [ENT]
3	ENTER キーを 2 回押す	メディア アツミ 2.5 mm
4	▲ ▼ を押してセットするメディアの厚み (0.0 ~ 50.0mm) を入力する	メディア アツミ 10.5 mm
5	ENTER キーを押す	FUNCTION ヘッドタカサ [ENT]
6	END キーを押して、終了する	

メディアの厚みを **UP** **DOWN** キーを使って登録する

1	UP または DOWN キーを押す	ケンテン セッテイ Zタカサ = 45.0
2	UP または DOWN キーを押して、調整する	ケンテン セッテイ Zタカサ = 50.0
3	ENTER キーを押す	ケンテン セッテイ ヘッドギャップ = 1.2
		↓
		ケンテン セッテイ メディアアツミ = * . * mm

メディアの厚みを自動測定する

メディアの厚みは、キャリッジ左側にあるギャップピンを使って自動測定します。

1 メディアをセットする



- 必ずプリント範囲にメディアをセットしてください。メディアをセットしないで自動測定を行うと、ヘッドが破損する場合があります。

2 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
ビ`ユー [ENT]

3 **▲** **▼** を押して [ヘッドタカサ] を選ぶ

FUNCTION
ヘッ`タカサ [ENT]

4 **ENTER** キーを押す

ヘッ`タカサ
メテ`イア アツミ [ENT]

5 **▲** **▼** を押して [アツミソクテイ] を選ぶ

ヘッ`タカサ
アツミ ソクテイ [ENT]

6 **ENTER** キーを押す

- 測定準備のため、Yバーが最上点まで上昇します。
- キャリッジがプリント範囲へ移動します。

** イト`ウ チュウ **
シハ`ラク オマチクタ`サイ



アツミ ソクテイ
ソクテイ カイシ

7 **ENTER** キーを押す

- メディアの厚みを自動的に測定します。
- 測定した厚みを表示します。
- キャリッジが退避位置へ移動し、手順5の画面に戻ります。

アツミ ソクテイ
** ソクテイ チュウ **



アツミ ソクテイ
3.0mm :ent



** イト`ウ チュウ **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

8 終了するとき、**END** キーを数回押す

重要! ・自動測定の誤差は、±0.5mm です。

ヘッドギャップ値を登録する

ヘッドギャップ(メディアからヘッドノズル面までの高さ)を設定します。
プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。
ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。
設定値:[1.2 mm~ 3.0 mm](0.1 mm単位 / 初期値:2.0 mm)

- 1 ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す
FUNCTION
ヒュー [ENT]
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して [ヘッドタカサ] を選ぶ
FUNCTION
ヘッドタカサ [ENT]
- 3 **(ENTER)** キーを押す
ヘッドタカサ
メディアアツミ [ENT]
- 4 **(▲)** **(▼)** を押して [ヘッドギャップ] を選ぶ
ヘッドタカサ
ヘッドギャップ [ENT]
- 5 **(ENTER)** キーを押す
ヘッドギャップ°
= 2.0mm
- 6 **(▲)** **(▼)** を押して、ヘッドギャップ値を設定する
•設定値:1.2~3.0mm
ヘッドギャップ°
= 2.0mm
- 7 **(ENTER)** キーを押す
セッテイ
ヘッドギャップ° [ENT]
- 8 終了するとき、**(END)** キーを数回押す



• ヘッドギャップ値に適正な値が設定されていないと、プリント中、メディアに大きなインク滴が落ちるなど、プリント品質に影響が出ることがあります。

ヘッドギャップ値を確認する

現在設定されているヘッドギャップ値を確認したいときは、次の操作をしてください。

ローカルで **(ENTER)** を押す

(ENTER) を数回押して、[ヘッドギャップ] を表示させる
• 現在設定されているヘッドギャップ値が表示されます。

設定機能一覧表

各設定機能の概要と設定値について説明します。

重要!

- 初期値「ホスト」の機能について
RIP ソフトウェアで指定した設定値によって、動作させることができます。「ホスト」以外に設定した場合、RIP ソフトウェアからの指示によらずその設定値で動作します。RIP ソフトウェアによっては指示できない機能があります。その場合、「RIP からの指示がない場合」の設定値で動作します。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称		設定値	初期値	RIP から指示がない場合 *1	概要	
フィードホセイ (P.3-8)		-255 ~ 255	0	————	Y バーの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。	
ドットイチホセイ (P.3-10)		-40.0 ~ 40.0	0.0	————	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。	
ロジカルシーク (P.3-12)		ホスト / ON/OFF	ホスト	ON	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。	
カサネヌリ (P.3-27)		ホスト / 1 ~ 9	ホスト	1	インクの重ね塗りをを行います。	
UV モード (P.3-13)	パターン	ホスト	-50%+50%	0%	パターン 2	プリント中の UV 照射パターンの指定をします。
		マニュアル	パターン 1 ~ パターン 7, プリントナシ			
	セイギョ	フル			————	UV ランプの点灯制御の方法を設定します。
		インサツ	インサイド イチ / 0 ~ 80 mm	30mm	————	
		アウトサイド イチ / 0 ~ 245 mm	80mm	————		
リフレッシュ (P.3-27)		ホスト / Lv.0 (リフレッシュ間隔長い) ~ 3 (間隔短い)	ホスト	Lv.3	プリント中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。	
ワークチェンジ (P.3-17)		ON/OFF		————	プリント終了時の動作を設定します。	
イオナイザー (P.3-18)		ON/OFF		————	オプションのイオナイザーを設定します。	
キュウチャク (P.3-27)		ヒョウジュン / ヨワイ / ツヨイ	ヒョウジュン	————	メディアの吸着する力を設定します。	
MAPS (P.3-19)	MAPS 1	プリントソクド			パス間の縞を軽減する設定をします。	
		チョウセイ	-50 ~ +50%	0%		
	MAPS 2	AUTO				————
	MANUAL	パターン (1 ~ 5) / スムージング レベル (AUTO / 5 ~ 100%)		————		
オートクリーニング (P.3-24)	OFF, ページ			OFF	プリント前に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。	
	ページ	カンカク	1 ~ 1000 ページ	1 ページ		
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ソフト		————
テキワイピング (P.3-25)	OFF, ページ, ジカン			OFF	プリント前 (ページ設定時) またはプリント中 (ジカン設定時) に行う、ワイピング動作を設定します。	
	ページ	カンカク	1 ~ 100 ページ	1 ページ		
		ジカン	カンカク	3 ~ 50min		3min
インクヒーター	スタンバイイコウ	ナシ / 0 ~ 60min	2min	————	ヘッドヒーター、インクヒーターの、スタンバイ状態までの移行時間を設定します。	

*1. 本機のタイプ登録で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

Yバーの送りを設定する

Yバーの送り量を補正してください。

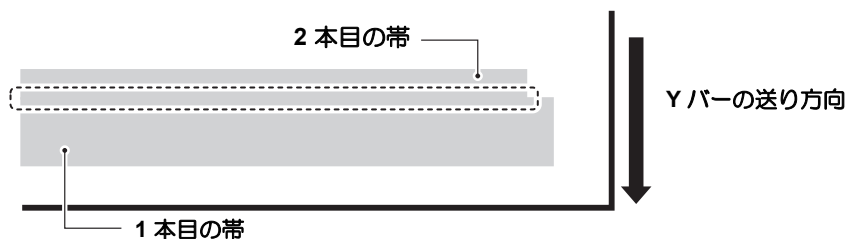
Yバーの送り量が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1

メディアをセットする (👉 P.2-5)

2

ローカルで、**ADJUST** キーを押す

フィード` ホセイ [ENT]

3

ENTER キーを押す

フィード` ホセイ
フ°プリント カイシ [ENT]

4

ENTER キーを押して、補正パターンをプリントする

** フ°プリント **
シハ°ラク オマチクタ°サイ

5

補正パターンを確認し、補正值を入力する

- "+"に入力すると: 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- "-"に入力すると: 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

フィード` ホセイ
= 0



- 補正值を“20”変更すると帯が約 0.01mm 移動します。この補正量を参考にして補正值を決定してください。

6

ENTER キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 5 の操作をして補正してください。

フィード	ホセイ	
プリント	カシ	[ENT]

7

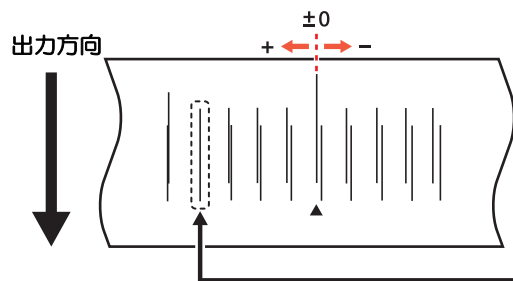
終了するとき、**END** キーを数回押す**ADJUST** を使わないでフィード補正をするには**ADJUST** キーを押さなくても、ローカルから**FUNCTION**キーを使ってフィード補正を選ぶことができます。ローカルで**FUNCTION**
を押す▲ ▼ を押して
[セッテイ]を選ぶ**ENTER** を 2 回押す

- 手順 3 の画面が表示されます。手順 4 からの操作をしてください。

双方向プリントのドット位置を調整する

プリント時の条件（メディアの厚み／ヘッドの高さなど）を変えたときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

ドット位置補正パターンプリント例



プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1 メディアをセットし、プリント原点を設定する (☞ P.2-5)

2 ローカルで、**ADJUST** キーを 2 回押す

ドット イチ ホセイ
[ENT]

3 **ENTER** キーを押す

ドット イチ ホセイ
: Y300dpi

4 **▲** **▼** を押して、解像度を選択する
・設定値：Y300dpi / Y600dpi / Y900dpi / Y1200dpi
・すべての解像度において補正を行ってください。

ドット イチ ホセイ
: Y600dpi

5 **ENTER** キーを押す

ドット イチ ホセイ
プリント カイシ [ENT]

6 **ENTER** キーを押して、パターンプリントを開始する
・テストパターンをプリントします。
(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

** プリント **
シハラク オマチクタサイ

7 **▲** **▼** を押して、パターン 1 ~ のドット位置を補正する

パターン1
= 0.0

- ・補正値：-40.0 ~ 40.0
- ・テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- ・補正値が -40.0 ~ 40.0 の間がない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

8

ENTER キーを押す

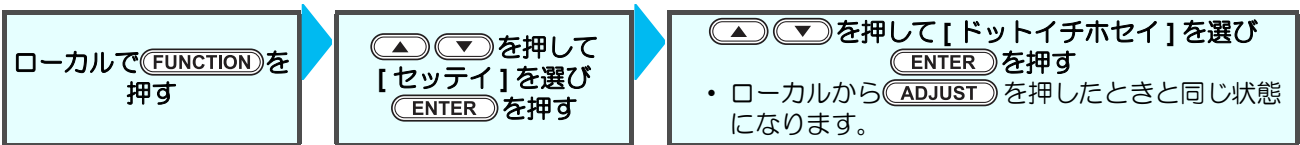
- 次のパターンの入力を表示します。
- 手順 7 を繰り返し行います。

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

ADJUST を使わないでドット位置補正をするには

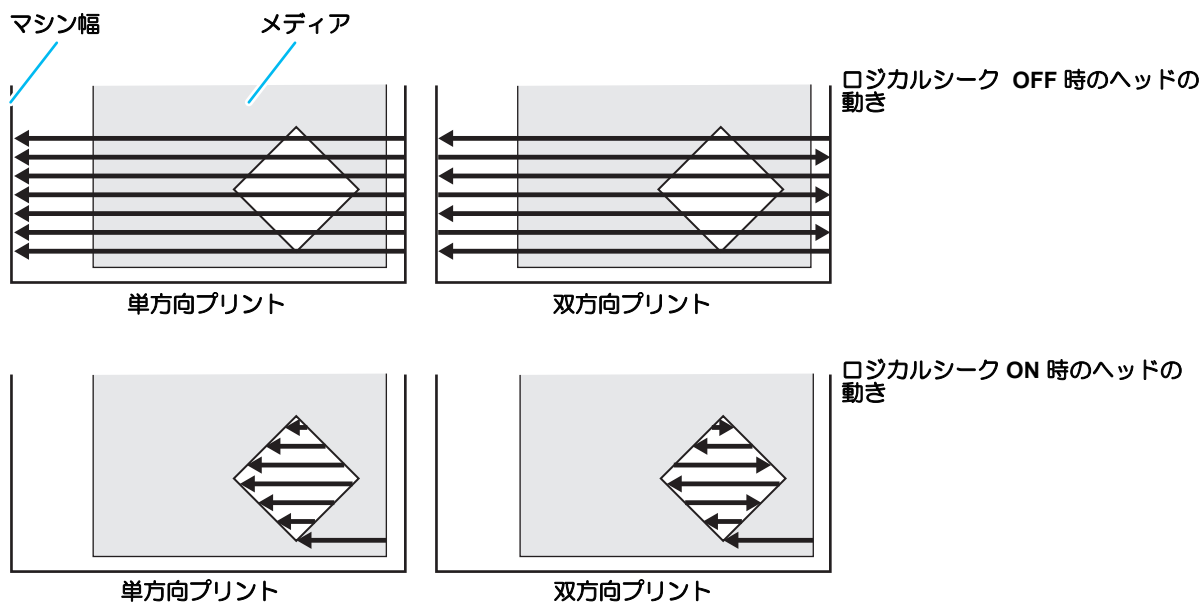
ADJUST キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってドット位置補正を選ぶことができます。



ロジカルシークの設定をする

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

- 重要!** ・ロジカルシークの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“ロジカルシーク=ON”の状態ですべてのプリントが実行されます。



- 1** ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す

FUNCTION
ヒュー [ENT]
- 2** **(▲)** **(▼)** を押して、**[セッテイ]** を選ぶ

FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 3** **(ENTER)** キーを押す

セッテイ
フィード` ホセイ [ENT]
- 4** **(▲)** **(▼)** を押して、**[ロジカルシーク]** を選ぶ

セッテイ
ロジ`カルシーク [ENT]
- 5** **(ENTER)** キーを押す

ロジ`カルシーク
:ホスト
- 6** **(▲)** **(▼)** を押して、設定値を選ぶ

ロジ`カルシーク
:ON

・設定値：ホスト/ON/OFF
- 7** **(ENTER)** キーを押す

セッテイ
ロジ`カルシーク [ENT]
- 8** 終了するとき、**(END)** キーを数回押す

UV モードの設定をする

LED UV 装置の UV ランプの光量を設定します。

RIP で指定した光量を調整したい場合

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	ENTER キーを押す	セッテイ フィード ホセイ [ENT]
3	▲ ▼ を押して、[UV モード] を選ぶ	セッテイ UVモード [ENT]
4	ENTER キーを押す	UVモード :ハターン
5	▲ ▼ を押して、[パターン] を選ぶ	UVモード :ハターン
6	ENTER キーを押す	UVモード :ホスト
7	▲ ▼ を押して、[ホスト] を選ぶ ・本機で設定した光量でプリントしたい場合は、[マニュアル] を選んでください。	UVモード :ホスト
8	ENTER キーを押す	UVモード コウリョウ チョウセイ : 0%
9	▲ ▼ を押して、LED UV 装置から照射される光量の調整値を設定する 設定値 : -50%~ +50% ・0%に設定すると、RIP での指定値のまま照射します。 ・マイナスに設定すると光量が少なくなり、プラスに設定すると光量が増えます。	UVモード :コウリョウ チョウセイ : 10%
10	ENTER キーを押す	セッテイ UVモード [ENT]
11	終了するとき、 END キーを数回押す	

本機で設定した光量でプリントしたい場合

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 2 **ENTER** キーを押す

セッテイ
フィート* ホセイ [ENT]
- 3 **▲▼** を押して、**[UVモード]** を選ぶ

セッテイ
UVモード* [ENT]
- 4 **ENTER** キーを押す

UVモード*
:ハ°ターン
- 5 **▲▼** を押して、**[パターン]** を選ぶ

UVモード*
:ハ°ターン
- 6 **ENTER** キーを押す

UVモード*
:ホスト
- 7 **▲▼** を押して、**[マニュアル]** を選ぶ
 - 本機で設定した光量でプリントしたい場合は、**[マニュアル]** を選んでください。

UVモード*
:マニュアル
- 8 **ENTER** キーを押す

UVモード*
:ハ°ターン1
- 9 **▲▼** を押して、**LED UV の照射パターンを設定する**
 - 設定値：パターン1～7、インサツナシ
 - 照射パターンに対する推奨の印刷モードは次の通りです。

UVモード*
:ハ°ターン4

インクセット	4色	4色+白
パターン1	300x450HQ	300x450HQ(カラーのみ印刷)
パターン2	通常使用しない	通常使用しない(インクを吐出直後の照射を弱くします。)
パターン3	インクの割れが発生する場合	インクの割れが発生する場合
パターン4	600x600	600x600(カラーのみ印刷)
パターン5	600x900、1200x1200	600x900、1200x1200(カラーのみ印刷)
パターン6	メディアとの密着性が悪い場合	メディアとの密着性が悪い場合
パターン7	通常使用しない	300x450HQ、600x600、600x900、1200x1200(カラー白重ね印刷、白印刷)
インサツナシ	照射のみを行う	照射のみを行う

10 **ENTER** キーを押す

UVモード
レベル : 10

11 **▲** **▼** を押して、LED UV装置から照射される光量のレベルを設定する

UVモード
レベル : 5

- 設定値 : 1 ~ 10 (初期値 =5)
- ・初期設定値 10 で光量は最大になります。
 - ・レベルを下げると光量は少なくなります。

12 **ENTER** キーを押す

セッテイ
UVモード [ENT]

13 終了するとき、**END** キーを数回押す

- 重要!** ・レベル設定値によっては、オーバーヒートなどの UV 関係のエラーが発生する場合があります。エラー発生が合った場合は、レベル設定値を小さな値へ変更してお使いください。

本機で設定した UV ランプの点灯制御でプリントしたい場合

1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2 **ENTER** キーを押す

セッテイ
フィード ホセイ [ENT]

3 **▲** **▼** を押して、[UV モード] を選ぶ

セッテイ
UVモード [ENT]

4 **ENTER** キーを押す

UVモード
: ハターン

5 **▲** **▼** を押して、[セイギョ] を選ぶ

UVモード
: セイギョ

6 **ENTER** キーを押す

UVモード
UV テントウ エリア: フル

7

▲▼ を押して、制御方法を選ぶ

“フル” を選択した場合 : プリント開始 / 終了時、プリント範囲外のLEDは点灯した状態でプリントします。

“インサツ” を選択した場合 : プリント開始 / 終了時、プリント範囲外のLEDは消灯した状態でプリントします。

8

ENTER キーを押す

・手順7で“フル”を選択した場合は、手順16へ進みます。

UVモード`
UV1 インサイド`イチ: 0mm

9

▲▼ を押して、左側インサイドキュアランプのスケールでの位置を入力する

設定値: 0 ~ 80mm (LED UV ランプの通常位置は“30mm”です。)

UVモード`
UV1 インサイド`イチ: 0mm

10

ENTER キーを押す

UVモード`
UV1 アウトサイド`イチ : 0mm

11

▲▼ を押して、左側アウトサイドキュアランプのスケールでの位置を入力する

設定値: 0 ~ 245mm (LED UV ランプの通常位置は“80mm”です。)

UVモード`
UV1 アウトサイド`イチ : 0mm

12

ENTER キーを押す

UVモード`
UV2 インサイド`イチ: 0mm

13

▲▼ を押して、左側インサイドキュアランプのスケールでの位置を入力する

設定値: 0 ~ 80mm (LED UV ランプの通常位置は“30mm”です。)

UVモード`
UV2 インサイド`イチ: 0mm

14

ENTER キーを押す

UVモード`
UV2 アウトサイド`イチ : 0mm

15

▲▼ を押して、左側アウトサイドキュアランプのスケールでの位置を入力する

設定値: 0 ~ 245mm (LED UV ランプの通常位置は“80mm”です。)

UVモード`
UV2 アウトサイド`イチ : 0mm

16

ENTER キーを押す

セッテイ
UVモード` [ENT]

17

終了するとき、END キーを数回押す

ワークチェンジを設定をする

オンライン作図を終了したとき、ローカルに戻るかリモートのままとするかを設定します。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ビ`ュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[セッテイ] を選ぶ	FUNCTION セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	セッテイ フイト` ホセイ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[ワークチェンジ] を選ぶ	セッテイ ワーク チェンジ` [ENT]
5	ENTER キーを押す	ワーク チェンジ` :OFF
6	▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ OFF : オンライン作図後、リモート状態を保持(次の作図データを 受信している場合は、重ね書きされます。) ON : オンライン作図後、Yバーがビューで設定された位置へ移動 し、ローカルに戻ります。	ワーク チェンジ` :ON
7	ENTER キーを押す	ワーク チェンジ` キュウチャク:OFF
8	▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ OFF : ローカルに戻った後、吸着は ON のままになります。 ON : ローカルに戻った後、吸着を OFF にします。 ・手順6で“OFF”を選んだ場合は、手順10に進みます。	ワーク チェンジ` キュウチャク:ON
9	ENTER キーを押す	ワーク チェンジ` キュウチャク:OFF
10	終了するとき、 END キーを数回押す	

イオナイザーの設定をする

オプションのイオナイザー装着したときの動作を設定します。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ビュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、 [セッテイ] を選ぶ	FUNCTION セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	セッテイ フィード ホセイ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、 [イオナイザー] を選ぶ	セッテイ イオナイザー [ENT]
5	ENTER キーを押す	イオナイザー : ON
6	▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ ON : 通常印刷時、印刷開始前および印刷動作中にイオナイザーの電源を入れ除電動作を行います。リバーズ印刷時は、印刷開始前に除電動作を行います。[ビュー]移動中にイオナイザーの電源を入れます。 OFF : 除電動作を行いません。	イオナイザー : OFF
7	ENTER キーを押す	セッテイ イオナイザー [ENT]
8	終了するとき、 END キーを数回押す	

パス間の縞を軽減する設定をする

MAPS 機能とは

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、メディア補正をしても送り縞が解消できない場合に、MAPS 機能を使いパスの境界を分散させることにより、送り縞が目立ちにくくさせる機能です。JFX500 では、MAPS1 機能および MAPS2 機能をお使いになることができます。



- MAPS1 ではプリントする速度を調整することができますが、プリントする画像によっては濃度ムラが出る場合があります。また、MAPS2 では送り縞と濃度ムラの両方を軽減する効果がありますが、速度調整ができなくなります。プリントする画像に合わせて、機能を選んでください。
- MAPS1 機能の効果は、プリント速度の設定値で変化します。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリント速度を上げた場合、プリント時間は短くなりますが、MAPS1 の効果は弱くなります。
- プリント速度を下げた場合、プリント時間は長くなりますが、MAPS1 の効果が上がり送り縞が目立ちにくくなります。
- MAPS 機能を有効にすると、無効にしているときと比べ色味の変化がみられる場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリントする画像によっては MAPS 機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。

● MAPS1 機能が有効になる条件

- 以下の条件でプリントを行う場合、プリント速度を 0% 以上に設定すると MAPS1 が無効になり、また 0% の速度でプリントを行います。MAPS1 を使用したい場合、プリント速度を“マイナス (-)”に設定してください。
- プリントする画像によっては MAPS1 の効果が得られない場合があります。

4 色時

解像度	パス	スキャン速度	解像度	パス	スキャン速度
300 x 450 HQ	3 pass	標準速	600 x 900	3 pass	標準速
				6 pass	高速
600 x 600	2 pass	標準速	600 x 900HQ	6 pass	標準速
	4 pass	高速		12 pass	高速

4 色 + 特色インク時

解像度	パス	スキャン速度
600 x 450	3 pass	標準速
	6 pass	高速
600 x 600	4 pass	標準速
	8 pass	高速
600 x 900	6 pass	標準速
	12 pass	高速

● MAPS2 機能が有効になる条件

- MAPS2 が有効になる解像度とパス数は以下の通りです。
- 下記以外の条件では、MAPS-OFF と同じ方式でプリントをおこないます。
- プリントする画像によっては MAPS2 の効果が得られない場合があります。

解像度	4 色		4 色 + 特色インク時 (カラー作図)		4 色 + 特色インク時 (白重ね作図)	
	パス	スキャン速度	パス	スキャン速度	パス	スキャン速度
300 x 450 HQ VD	6 pass	標準速	6 pass	標準速	—	—
600 x 600 VD	8 pass	高速	8 pass	高速	8 pass	高速
					16 pass	
600 x 900 VD	12 pass	高速	12 pass	高速	12 pass	高速
					24 pass	
1200 x 1200 ND	16 pass	標準速	16 pass	標準速	16 pass	標準速
	32 pass		32 pass		32 pass	

MAPS1 機能を設定する

- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
ヒュー [ENT]
- 2** **▲** **▼** を押して、**[セッテイ]** を選ぶ

FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 3** **ENTER** キーを押す

セッテイ
フイート` ホセイ [ENT]
- 4** **▲** **▼** を押して、**[MAPS]** を選ぶ

セッテイ
MAPS [ENT]
- 5** **ENTER** キーを押す

MAPS
: OFF
- 6** **▲** **▼** を押して、**MAPS1** を選ぶ
・設定値 : MAPS1、MAPS2、OFF

MAPS
: MAPS 1
- 7** **ENTER** キーを押す
・手順 5 で MAPS2 または OFF を選択した場合、手順 8 へ進みます。

フ°リント ソクト` チョウセイ
= 0%
- 8** **▲** **▼** を押して、**プリント速度を変更する**
・設定値 : -50 ~ +50%

重要! ・速度を変更した場合、ノズルリカバリの効果が出ない場合があります。あらかじめ確認を行った上で、使用してください。

フ°リント ソクト` チョウセイ
= 10%
- 9** **ENTER** キーを押す

セッテイ
MAPS [ENT]
- 10** 終了するとき、**END** キーを数回押す

MAPS2 機能を設定する (4 色時)

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ビ ュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[セッテイ] を選ぶ	FUNCTION セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	セッテイ フ ィー ト ホセ イ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[MAPS] を選ぶ	セッテイ MAPS [ENT]
5	ENTER キーを押す	MAPS : OFF
6	▲ ▼ を押して、MAPS2 を選ぶ ・設定値 : MAPS1、MAPS2、OFF	MAPS : MAPS 2
7	ENTER キーを押す ・手順 5 で OFF を選択した場合、手順 12 へ進みます。	MAPS2 : AUTO
8	▲ ▼ を押して、“AUTO” または ”MANUAL” を選ぶ ・ AUTO : プリントモードに合わせて自動的に設定を行います。 ・ MANUAL : 設定値を調整することができます。 重要! ・ AUTO 設定で送り縞、濃度ムラが改善されなかった場合、MANUAL 設定で調整してください。	MAPS2 : AUTO
9	ENTER キーを押す ・手順 7 で AUTO を選択した場合、手順 12 へ進みます。 ・手順 7 で MANUAL を選択した場合、手順 9 へ進みます。	MAPS2 ハ ° タ ー ン : 1
10	▲ ▼ を押して、プリントするパターンを選ぶ ・設定値 : パターン 1 ~ パターン 5 重要! ・ プリントする画像によって、MAPS2 の効果は異なります。プリントパターンを変更し、あらかじめ効果の確認を行った上で MAPS2 機能を使用してください。	MAPS2 ハ ° タ ー ン : 2
11	ENTER キーを押す	MAPS2 ス ム ー ジ ン グ レ ヴ ェ ル : AUTO

12

▲▼ を押して、スムージングレベルを変更する

MAPS2

スムージングレベル : 100%

・設定値 : AUTO、5 ~ 100%(5%単位で設定)

AUTO : プリントモードに合わせて、自動的にスムージングレベルを設定します。

5 ~ 100% : 設定値を上げると、MAPS2 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS2 の効果が弱くなります。

13

ENTER キーを押す

セットイ

MAPS

[ENT]

14

終了するとき、END キーを数回押す

MAPS2 機能を設定する (4色 + 特色インク時)

1

ローカルで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION

ビュー

[ENT]

2

▲▼ を押して、[セットイ] を選ぶ

FUNCTION

セットイ

[ENT]

3

ENTER キーを押す

セットイ

フイート”ホセイ

[ENT]

4

▲▼ を押して、[MAPS] を選ぶ

セットイ

MAPS

[ENT]

5

ENTER キーを押す

MAPS

: OFF

6

▲▼ を押して、MAPS2 を選び、ENTER キーを押す

MAPS2

: AUTO

・設定値 : MAPS1、MAPS2、OFF

・OFF を選択した場合、手順 11 へ進みます。

7

▲▼ を押して、“AUTO” または “MANUAL” を選ぶ

MAPS2

: AUTO

AUTO : プリントモードに合わせて自動的に設定を行います。

MANUAL : 設定値を調整することができます。

重要! ・ AUTO 設定で送り縞、濃度ムラが改善されなかった場合、MANUAL 設定で調整してください。

8

ENTER キーを押す

- 手順 6 で AUTO を選択した場合、手順 11 へ進みます。
- 手順 6 で MANUAL を選択した場合、手順 8 へ進みます。

COLOR
ハターン: 1

9

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、プリントするパターンと色を選ぶ

- **▲ ▼** : パターン 1 ~ パターン 5 を選択
- **◀ ▶** : 色 (COLOR または SPOT (特色)) を選択

- 重要!** • プリントする画像によって、MAPS2 の効果は異なります。プリントパターンを変更し、あらかじめ効果の確認を行った上で MAPS2 機能を使用してください。

< SPOT
ハターン: 2

10

ENTER キーを押す

< SPOT
スムージングレベル : AUTO

11

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、スムージングレベルと色を変更する

- 設定値 : AUTO、5 ~ 100% (5% 単位で設定)
- **AUTO** : プリントモードに合わせて、自動的にスムージングレベルを設定します。
- **5 ~ 100%** : 設定値を上げると、MAPS2 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS2 の効果が弱くなります。
- **▲ ▼** : スムージングレベルを選択
- **◀ ▶** : 色 (COLOR または SPOT (特色)) を選択

< SPOT
スムージングレベル : 100%

12

ENTER キーを押す

セッテイ
MAPS [ENT]

13

終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

オートクリーニングの設定をする

プリント終了後に今までプリントしたファイル数をカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。
ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ヒュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、 [セッテイ] を選ぶ	FUNCTION セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	セッテイ フィート [*] ホセイ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、 [オートクリーニング] を選ぶ	セッテイ オート クリーニング [*] [ENT]
5	ENTER キーを押す	オート クリーニング [*] : OFF
6	▲ ▼ を押して、オートクリーニングの種類を選ぶ ・オートクリーニング [*] ページ [*] を選択すると、設定した回数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行います。 ・オートクリーニングの設定をしない場合は、“OFF” を選んでから手順 11 へ進んでください。	オート クリーニング [*] : ページ [*]
7	ENTER キーを押す	
8	▲ ▼ を押して、クリーニング間隔を設定する ・設定値：1 ~ 1000 ページ	カンカク = 1 page
9	ENTER キーを押す	タイプ [*] : ソフト
10	▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを設定する 設定値：ノーマル/ソフト/ハード	タイプ [*] : ノーマル
11	ENTER キーを押す	
12	終了するとき、 END キーを数回押す	

重要!

・ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

ノズル面の清掃を設定する

プリント開始前またはプリント中に、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ヒュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[セッテイ] を選ぶ	FUNCTION セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	セッテイ フィート [°] ホセイ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[テキィ ワイピング] を選ぶ	セッテイ テキィ ワイピング [°] [ENT]
5	ENTER キーを押す	セッテイ テキィ ワイピング [°] [ENT]
6	▲ ▼ を押して、定期ワイピングの種類を選ぶ <ul style="list-style-type: none">定期ワイピング "ページ" を選択すると、設定した回数のプリントが終了したら、次のプリント開始前に自動的にヘッドノズルの清掃を行います。定期ワイピング "ジカン" を選択すると、プリント時間が設定した時間を越えたら、自動的にヘッドノズルの清掃を行います。定期ワイピングの設定をしない場合は、"OFF" を選んでから手順 9 へ進んでください。	テキィ ワイピング [°] : ページ
7	ENTER キーを押す	
8	▲ ▼ を押して、ワイピング間隔を設定する 設定値 (ページ) : 1 ~ 100 ページ 設定値 (ジカン) : 3 ~ 50 分	カンカク = 1 page
9	ENTER キーを押す	

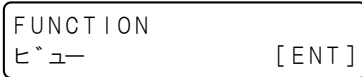


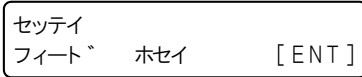


インクヒーターの設定をする

プリント終了後にヘッドヒーターとインクヒーターをスタンバイ状態へ移行するまでの時間を設定します。
(スタンバイ状態とは、ヒーターの温度を下げて待機するモードです。)

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ヒュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[セッテイ]を選ぶ	FUNCTION セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	セッテイ フイート* ホセイ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[インクヒーター]を選ぶ	セッテイ インクヒーター [ENT]
5	ENTER キーを押す	スタンバイ イコウ シ`カン = 10min
6	▲ ▼ を押して、設定時間を選ぶ ・設定値：ナシ、0～60 秒 ・“ナシ”に設定すると、スタンバイ状態へ移行しません。	スタンバイ イコウ シ`カン = 30min
7	ENTER キーを押す	プ`リント ソクト` チョウセイ = 0%
8	終了するとき、 END キーを数回押す	

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
 FUNCTION
ヒュー [ENT]
- 2  を押して、**[セッテイ]** を選ぶ
 FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す
 セッテイ
フィート* ホセイ [ENT]
- 4  を押して設定する項目を選ぶ
・P.3-7「設定機能一覧表」を参照して選んでください。
- 5 **ENTER** キーを押す
- 6  を押して設定値を選ぶ
・P.3-7「設定機能一覧表」を参照して選んでください。
- 7 **ENTER** キーを押す
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

重要! ・設定した値は、電源を“OFF”にしても保持しています。

マシン設定

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項目	設定値	初期値	内容	
オートパワーオフ (P.3-28)	ナシ /10 ~ 600min	30min	設定した時間、操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。	
ジコクセッテイ (P.3-29)	+4h ~ -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。	
タンイ (P.3-30)	温度	°C (摂氏) /°F (華氏)	°C	温度の表示単位を設定します。
	長さ	mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キープザー (P.3-31)	ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。	
LANGUAGE (P.3-32)	English ニホンゴ Deutsch Français Español Italiano Português	English	表示言語を変更します。	
リセット (P.3-33)	————	————	すべての設定項目を初期値に戻します。	

オートパワーオフの設定をする

設定した時間、操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
ヒュー [ENT]

2

を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3

ENTER キーを 2 回押す

オート ハ°ワーオフ
= 30min

4

を押して、電源をオフにする時間を設定する
・設定値：ナシ, 10 ~ 600 min

オート ハ°ワーオフ
= 60min

5

ENTER キーを押す

マシン セッテイ
オート ハ°ワーオフ [ENT]

6

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

・オートパワーオフした状態でパソコンからデータを受信すると電源オンしますが、自動でプリントを開始しません。

ジコクの設定をする

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
ヒュー [ENT]
- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]
- 4** **▲** **▼** を押して、[ジコクセッテイ] を選ぶ

マシン セッテイ
ジコクセッテイ [ENT]
- 5** **ENTER** キーを押す

ジコクセッテイ
2012.10.05 21:30:00
- 6** **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、時刻を入力する

年月日時分の選択 : **◀** **▶** で選ぶ
年月日時分の入力 : **▲** **▼** で入力
- 7** **ENTER** キーを押す

・入力した時刻が表示されます。

ジコクセッテイ
2012.10.05 15:30:00
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す



- ・ -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。

タニイの設定をする

本機で使用する単位を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
ヒュー [ENT]
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]
- 4 **▲** **▼** を押して、[タニイ] を選ぶ
マシン セッテイ
タニイ [ENT]
- 5 **ENTER** キーを押す
オート
: °C
- 6 **▲** **▼** を押して、温度の単位を選ぶ
・設定値 : °C/°F
- 7 **ENTER** キーを押す
ナカ`サ
: mm
- 8 **▲** **▼** を押して、長さの単位を選ぶ
・設定値 : mm/inch
- 9 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
タニイ [ENT]
- 10 終了するとき、**END** キーを数回押す

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

- | | | |
|----------|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
ビュウ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[キーブザー] を選ぶ | マシン セッテイ
キー ブザー [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | キー ブザー
:ON |
| 6 | ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ | キー ブザー
:OFF |
| 7 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
キー ブザー [ENT] |
| 8 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |



- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

言語の設定をする

表示言語を変更します。

- | | | |
|---|--|-----------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
ビュウ [ENT] |
| 2 | ▲▼を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲▼を押して、[LANGUAGE] を選ぶ | マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | LANGUAGE
: English |
| 6 | ▲▼を押して、言語を選ぶ
・設定値：ニホンゴ / English / Deutsch / Français / Español /
Italiano / Português | LANGUAGE
: ニホンゴ` |
| 7 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT] |
| 8 | 終了するとき、END キーを数回押す | |

設定した内容を初期状態に戻す

「セッテイ」「メンテナンス」「マシンセッテイ」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
ビュウ [ENT]
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]
- 4 **▲** **▼** を押して、[リセット] を選ぶ
マシン セッテイ
リセット [ENT]
- 5 **ENTER** キーを押す
セッテイチ スベ`テリセツサレマス
ヨロシイデ`スカ? [ENT]
- 6 **ENTER** キーを押す
リセット
シ`ッコウ [ENT]
・設定を初期化します。
- 7 終了するとき、**END** キーを数回押す

装置情報を確認する

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項目	内容
エラー履歴*1	現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 (▲)(▼)を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
シヨウ ジョウキョウ	ワイピング プリント チョウ プリント メンセキ シヨウ シカン UV ランプ
バージョン	装置のファームウェアバージョンを確認します。

*1. ファームウェア Ver.2.30 以降に対応

装置の使用状況を確認する

ワイピング情報や本機でプリントした長さなど、装置の情報を確認できます。

- ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
ヒュー [ENT]
- (▲)(▼)を押して、[シヨウホウ]を選ぶ

FUNCTION
シヨウホウ [ENT]
- (ENTER) キーを押す

シヨウホウ
シヨウ ショウキョウ [ENT]
- (ENTER) キーを押す
 - ワイピング情報を表示します。
 - (ENTER) キーを押すごとに、次の装置情報が順次が表示されます。

<p>ワイピング</p> <p>ワイピング情報 を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ワイピング = 0</div>	<p>プリント長</p> <p>これまでにプリン トした長さを表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">プリント チョウ = 0m</div>
<p>プリント面積</p> <p>これまでにプリン トした面積を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">プリント メンセキ = 0m²</div>	<p>使用時間</p> <p>装置の使用時間 情報を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">シヨウ シカン = 0h</div>

UV ランプ

UV ランプの使用時
間を、LED 単位で
表示

UV ランプ¹ : LED *
= 0h

* : A ~ H



- ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合
ワイピング表示中に(MAINT.)キーを押します。
(ENTER)キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。

ワイピング
クリア シマスガ? [ENT]

- UV ランプの使用時間をリセットしたい場合
UV ランプ表示中に(MAINT.)キーを押します。
(ENTER)キーを押すと、UV ランプの使用時間をリセットします。

UV ランプ¹ : LED *
クリア シマスガ? [ENT]

装置のバージョン情報を確認する

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION ヒュー [ENT]
2	▲ ▼ を押して、 [シヨウホウ] を選ぶ	FUNCTION シヨウホウ [ENT]
3	ENTER キーを押す	シヨウホウ シヨウ シヨウキョウ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、 [バージョン] を選ぶ	シヨウホウ ハージョン [ENT]
5	ENTER キーを押す ・装置のバージョン情報を表示します。	JFX500-2131 V1.00 MRL-III V1.90

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

<p>エラー履歴 *1</p> <p>発生年月日を 表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">[00000] 2014/09/26 22:13:00</div> <p style="text-align: center;">◀ ▶</p> <p>エラー内容を 表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ERROR 12a ***** HDC SPEED</div>	<p>バージョン</p> <p>F/W などの バージョン 情報を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">JFX500-2131 V2.30 MRL-III V2.20</div>
---	--

*1. ファームウェア Ver.2.30 以降に対応

本機の情報を表示する

1

ローカルで、**ENTER** キーを押す

LUS-150	MMBBYYKK
サンリョウ	99999999

2

ENTER キーを押すごとに、順次情報が表示される

• 以下のような情報が表示されます。

インク残量	エラー表示 (インクエラー発生時)	ワーニング表示 (ワーニング発生時)
LUS-150 サンリョウ MMCCYYKK 99999999	インク IC ナン MMCCYYKK	ワーニング* ワイパー コウカン [MNT]
シリアル番号	バージョン	メイン基板情報
シリアル No. :*****	JFX500 V1.00 MRL-111 V1.90	MAIN PCB EPL*
		*: EPL または EPL2
ノズルリカバリ	ヘッドギャップ	メディア厚さ
ノズル リカバリ カクニン [MNT]	ヘッドギャップ° = 1.2mm	メディア アツサ = 10.2mm

MAINT. キーを押して詳細を確認

3

ENTER キーを押して、ローカルに戻る

第4章 お手入れ



この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ	4-2	オートメンテナンス機能	4-21
お手入れ上のご注意	4-2	リフレッシュ間隔を設定する	4-21
メンテナンス洗浄液について	4-2	クリーニング間隔を設定する	4-22
テーブル、外装のお手入れ	4-2	白インクの循環機能について	4-23
LMガイドの清掃	4-3	消耗品の交換	4-24
キャッピングステーションのメンテナンス	4-4	ワイパーを交換する	4-24
ワイパーとキャップの清掃	4-4	インク吸収材の交換	4-25
インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)	4-7	廃インクタンク確認メッセージが 表示されたら	4-26
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)	4-8	冷却水を補充する	4-28
廃インクトレーの清掃	4-11	冷却水を補充する	4-29
ヘッド周辺の清掃	4-12	Yモーターの清掃	4-31
ノズル詰まりが復旧しない場合	4-14		
サブタンクからヘッドまでのインク充填を 行う	4-14		
ヘッドノズルの洗浄	4-15		
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルで プリントする	4-17		

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。



- ・メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。



- ・本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源ボタン・主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。



- ・本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。



- ・本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用(出力)されないときには、定期的に微量のインクを吐出(フラッシング)させる必要があります。
- ・長期間使用しない場合は、必ず装置左側面にある主電源スイッチを切り、セットしてあるメディアを取り除いてください。
- ・お手入れはLED UV装置の温度が完全に下がってから行ってください。火傷をする危険性があります。



- ・ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- ・本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- ・メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

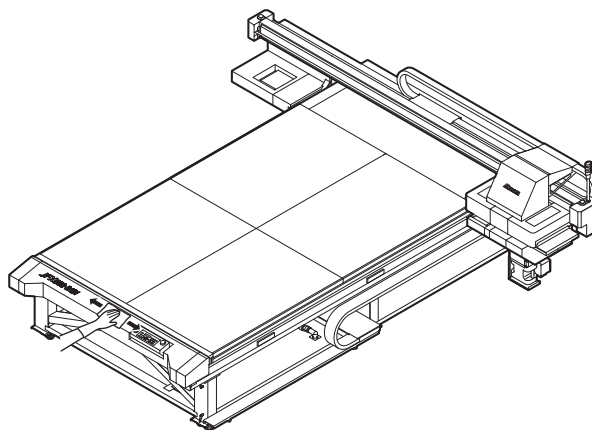
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
UV インク	メンテナンス用洗浄液 (SPC-0568)

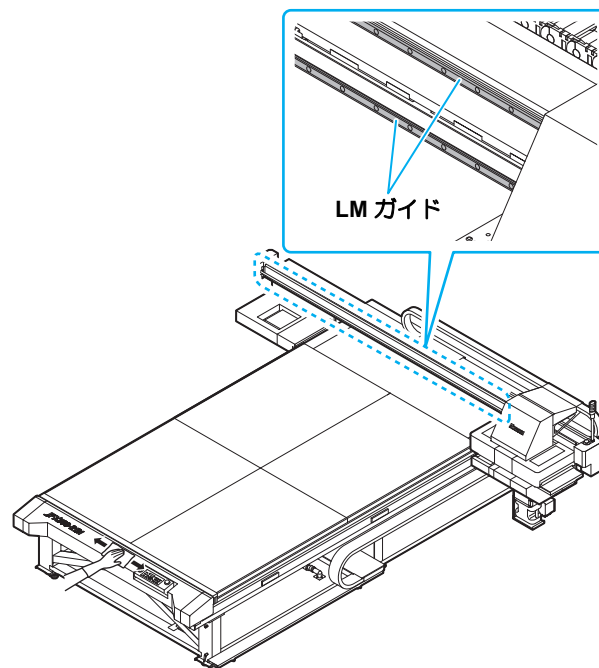
テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。



LM ガイドの清掃

LM ガイドが汚れたときは、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (P.2-12) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス用洗浄液とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	・メンテナンス用洗浄液 (SPC-0568)	・保護メガネ
	・クリーンスティック (品番: SPC-0527)	・手袋



- ・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、**MAINT.** キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(P.4-4 手順 1~2)
- ・キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。

ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重要!

- ・週に2回程度 (プリンタの使用頻度により異なります)、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ・ワイパーの汚れ、曲がりが多い場合は、新しいワイパーと交換してください。(P.4-24)
- ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

ENTER キーを押す

イトウ イチ

: ステーション メンテナンス

3

▲ **▼** を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

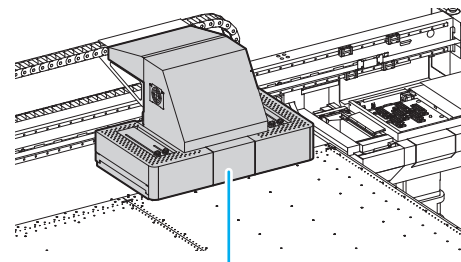
イトウ イチ

: ステーション メンテナンス

4

ENTER キーを押す

- ・キャリッジがテーブル上に移動します。

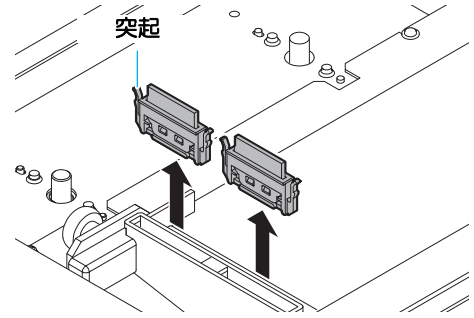


キャリッジ

5

ワイパーを取り出す

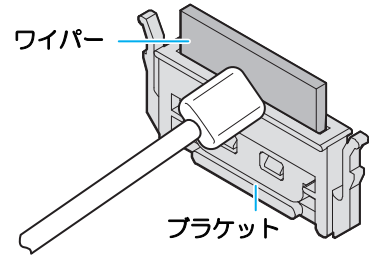
- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



6

ワイパーとブラケットを清掃する

- ・ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要!

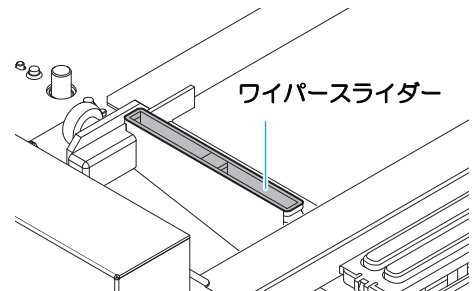
- ・右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- ・清掃後はブラケットとワイパーが水平になっていることを確認してください。



7

ワイパー-sliderを清掃する

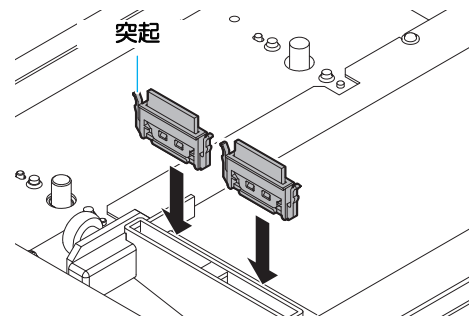
- ・ワイパー-sliderに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



8

ワイパーを元の位置に戻す

- ・ワイパーの両端を持って差し込みます。



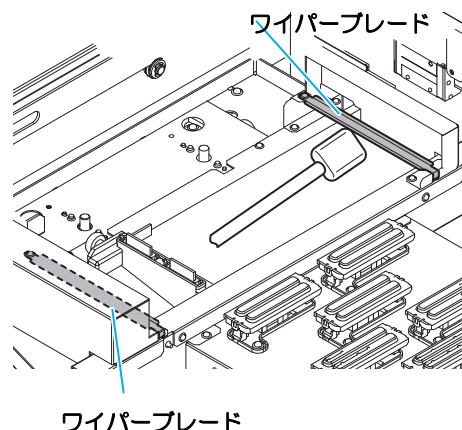
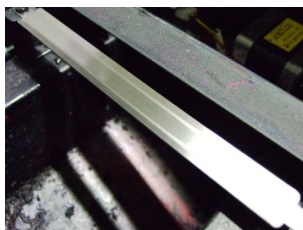
9

ワイパーブレードを清掃する

• クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーブレードに付着したインクを拭き取ります。

重要!

- ワイパーブレードのエッジ部分に注意し、ワイパーが接触する側（裏側）を念入りに清掃してください。
- 下の写真のような状態になるまで、清掃してください。



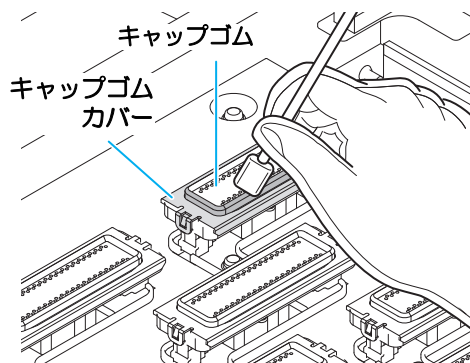
10

キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

• キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

重要!

- 右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- 清掃後は、キャップゴムやキャップ内メッシュが外れていないことを確認してください。



11

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

• 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

MAINT. を使わないでステーションメンテナンスをするには

MAINT. キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで **FUNCTION** を押す

▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選ぶ

ENTER を 2 回押す

- ローカルから **MAINT.** を押したときと同じ状態になります。

インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト [ENT]

2 **▲** **▼** を押して、[ハイロセンジョウ] を選ぶ

ハイロ センジョウ [ENT]

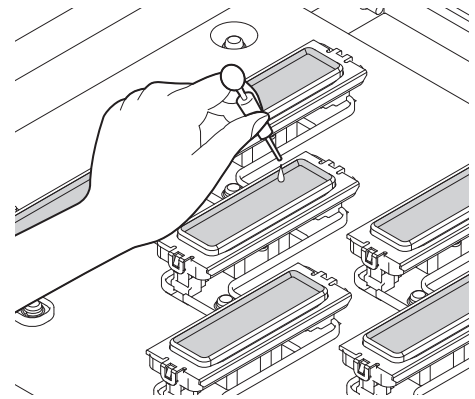
3 **ENTER** キーを押す

・キャリッジがテーブル上に移動します。

ハイロ センジョウ
シュウリョウ [ENT]

4 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

・キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



5 **ENTER** キーを押す

・30 秒間空吸引を実行した後、手順 2 の表示に戻ります。

ハイロ センジョウ
シバラク オマチクタサイ

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排出路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

事前に確認
してください

[インクエンド]は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。
このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・インクエンドを、未検出のインクボトルに交換してください。



- ・次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-26 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンク カクニン [MNT]

1

ローカルで、**(MAINT.)** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

(▲) **(▼)** を押して、**[ホカンセンジョウ]** を選ぶ

ホカン センジョウ

[ENT]

3

(ENTER) キーを押す

- ・キャリッジがテーブル上に移動します。

ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツギへ)

[ENT]

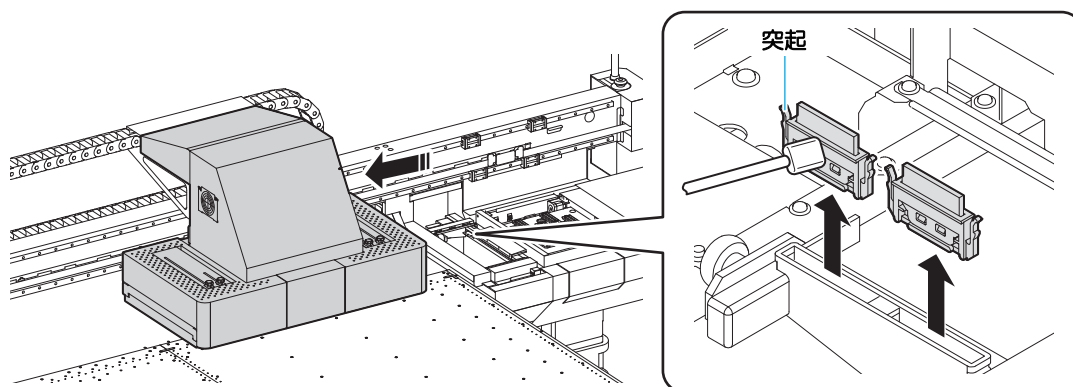
(重要!)

- ・ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには **[シュウリョウ(ツギへ) :ENT]** が表示されます。手順 4 の作業が完了してから **(ENTER)** キーを押してください。クリーニングが終了する前に **(ENTER)** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0568)
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5

ENTER キーを押す

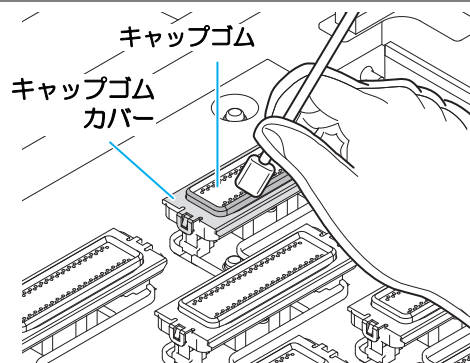
キャップ° クリーニング°
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ENT]が表示されます。手順6の作業が完了してから**ENTER**キーを押してください。クリーニングが終了する前に**ENTER**キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6

キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- ・ キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- ・ このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



7

ENTER キーを押す

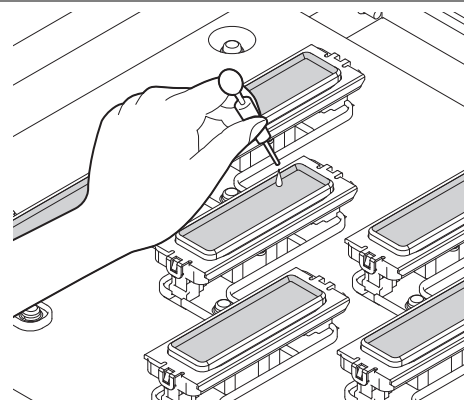
センシ° ヨウエキ ラ ミタス
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ENT]が表示されます。手順8の作業が完了しフロントカバーを閉じてから**ENTER**キーを押してください。洗浄液を満たす前に**ENTER**キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- ・ キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9

ENTER キーを押す

ホカン センシ° ヨウ
ホウチ シ° カン : 1 min

10

▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- ・ 設定値 : 1 ~ 15 分 (1 分単位)

ホカン センシ° ヨウ
ホウチ シ° カン : 2 min

4

お
手
入
れ

11

ENTER キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、キャリッジがテーブル上に移動します。

シバラク オマチクタサイ
00:00

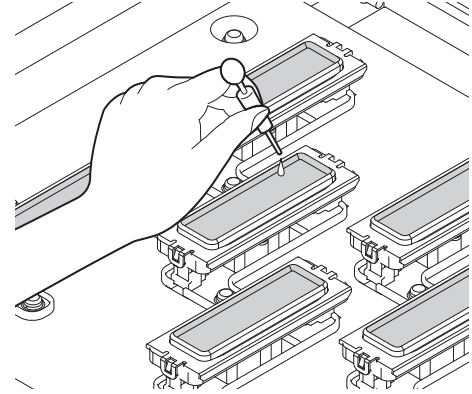


** クリーニング **
シバラク オマチクタサイ

12

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



13

ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

ハイロ センシヨウ
シバラク オマチクタサイ

廃インクトレイの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重要!

- 週に2回程度(プリンタの使用頻度により異なります)、廃インクトレイ周辺の清掃をしてください。
- 廃インクトレイに残っているインクがUV光により硬化すると、フラッシング時に吐出したインクが廃インクボトルに移動できなくなります。廃インクトレイはこまめに清掃されることをお勧めします。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト
[ENT]

2

ENTER キーを押す

イトゥ イチ
: ステーション メンテナンス

3

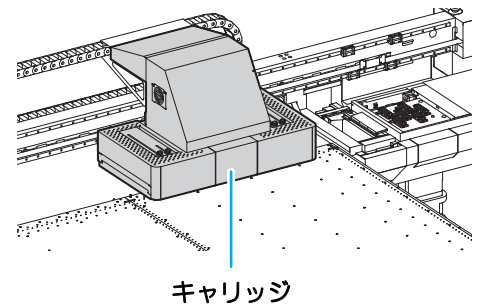
▲ **▼** を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

イトゥ イチ
: ステーション メンテナンス

4

ENTER キーを押す

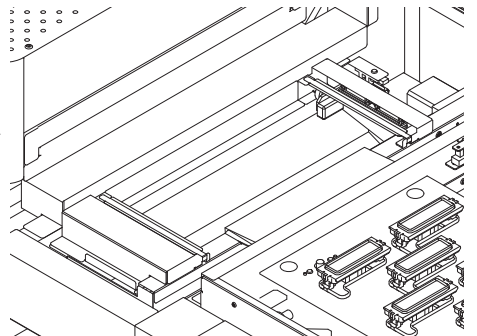
- キャリッジがテーブル上に移動します。



5

ウェス等を使って、廃インクトレイ周辺に付着したインクを拭き取る

- インクが固着して拭き取れない場合は、へらなどを使ってこそぎ落としてください。



6

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、手順1の表示に戻ります。

4

お
手
入
れ

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	・ クリーンスティック (SPC-0527)	・ 手袋	・ 保護メガネ
----------	------------------------	------	---------

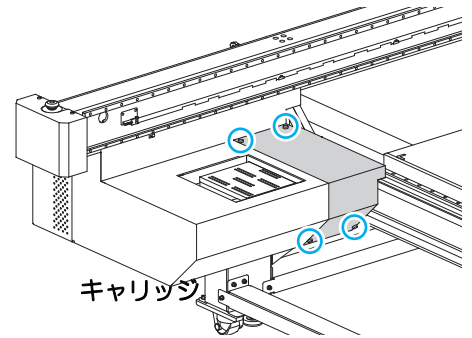


- ・ 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・ インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。
- ・ キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- ・ キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

1

フラッシング右横のカバーを外す

- ・ ネジ (4 箇所) を外して、カバーを取り外します。



2

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト
[ENT]

3

ENTER キーを押す

イトウ イチ
: ステーション メンテナンス

4

▲ ▼ を押して、**[ヘッド メンテナンス]** を選ぶ

イトウ イチ
: ヘッド メンテナンス

5

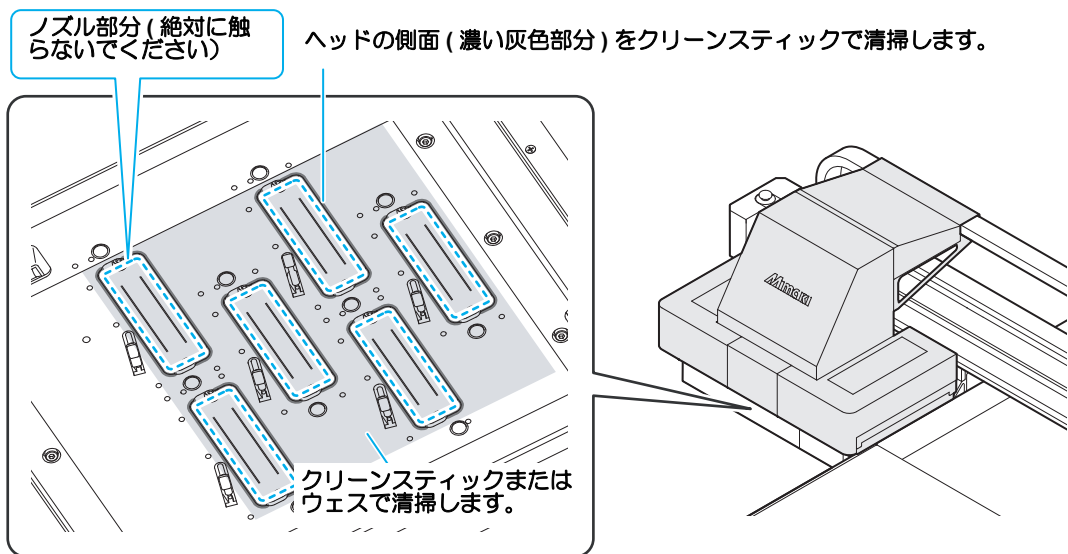
ENTER キーを押す

- ・ キャリッジが、本機の左端まで移動します。

6

ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ・ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



- 重要!**
- ・右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
 - ・ノズル面にキャップゴムの形が付いている場合、ノズル面も清掃してください。
 - ・メンテナンス途中で席を離れる場合、**ENTER** キーを押して清掃を終了してください。そのまま放置すると、外光の影響でインクが硬化し、ノズル詰まり等の弊害を及ぼす恐れがあります。



7

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

ヘッドメンテナンス
シュウリョウ [ENT]

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-12) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の3機能を実行してください。

ヘッドジュウテン	• ヘッドにインクを充填します。(☞ P.4-14)
ノズルセンジョウ	• ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.4-15)
ノズルリカバリ	• ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントします。(☞ P.4-17)

サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う

1

メンテナンスメニューの[ヘッドジュウテン]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ヘッドジュウテン] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** **◀** **▶** を押して、充填するヘッドを選ぶ
Press **▲** **▼** **◀** **▶** to select filling head.

ヘッドの選択 : **◀** **▶** で選ぶ
充填する / しないの選択 : **▲** **▼** で選ぶ

ヘッド`ジュウテン
12_ _ _ _ _

3

ENTER キーを押す

- ヘッドにインクを充填する動作を開始します。
- 充填が完了すると、右の画面を表示します。

** シュウテン **
シハ`ラク オマチクダ`サイ

ヘッド`ジュウテン
シュウリョウ< >リトライ

4

◀ を押して、“シュウリョウ”を選ぶ

- 再度充填を行う場合は、**▶** を押して、手順2からの操作をしてください。

5

終了するとき、**END** キーを数回押す

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認
してください

【インクエンド】は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・外部インク供給ユニットのインクボトルにインクを補充してください。



- ・作業時はキャッピングステーションに直射日光が当たらないように注意してください。UV インクは紫外線により硬化します。窓のカーテンを閉めるなどの遮光をしてから作業してください。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

▲ ▼ を押して、**[ノズルセンジョウ]** を選ぶ

ノズル センジョウ

[ENT]

3

ENTER キーを押す

- ・キャリッジがテーブル上に移動します。

ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツギへ)

[ENT]

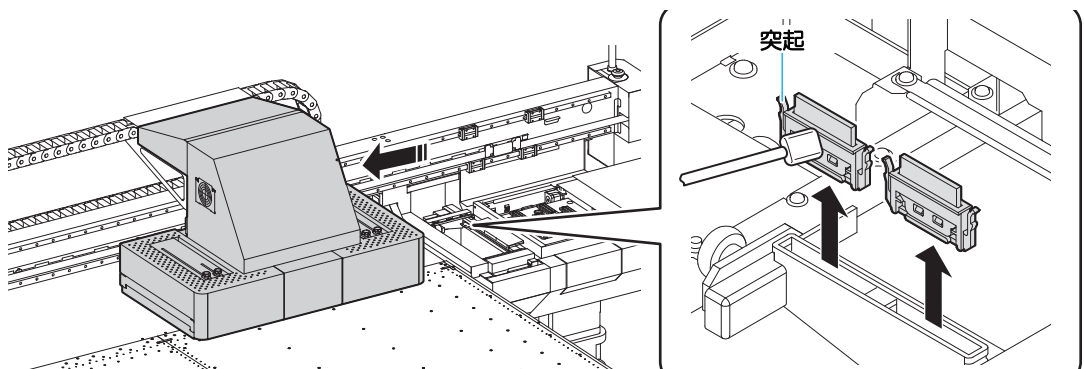
重要!

- ・ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには**[シュウリョウ(ツギへ):ENT]**が表示されます。手順4の作業が完了してから**ENTER**キーを押してください。クリーニングが終了する前に**ENTER**キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0568)
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5

ENTER キーを押す

キャップ クリーニング
シュウリョウ(ツギへ)

[ENT]

重要!

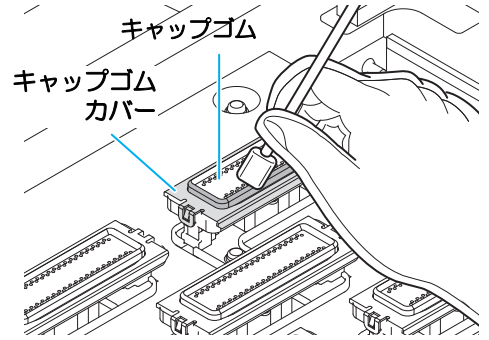
- ・キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには**[シュウリョウ(ツギへ):ENT]**が表示されます。手順6の作業が完了してから**ENTER**キーを押してください。クリーニングが終了する前に**ENTER**キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

お
手
入
れ

6**キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する**

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。

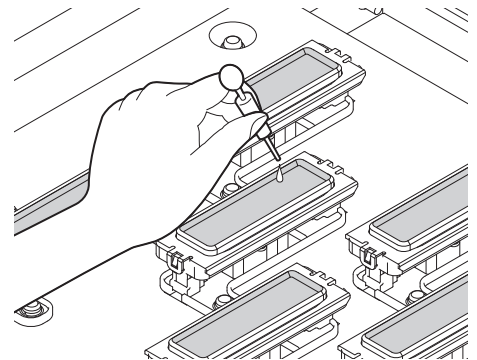
**7****ENTER キーを押す**

センジョウエキヲミタス
シュウリョウ(ツギヘ) [ENT]

- 重要!** • 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ(ツギヘ) :ENT] が表示されます。手順 8 の作業が完了してから **ENTER** キーを押してください。洗浄液を満たす前に **ENTER** キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8**スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす**

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。

**9****ENTER キーを押す**

ホウチ シ`カン
= 1min

10**▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する**

設定値:1 ~ 15 分 (1 分単位)

ホウチ シ`カン
= 2min

11**ENTER キーを押す**

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順 10 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、手順 2 の表示に戻ります。

シハ`ラク オマチクタ`サイ
00:00



** クリーニング **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

- 重要!** • この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする

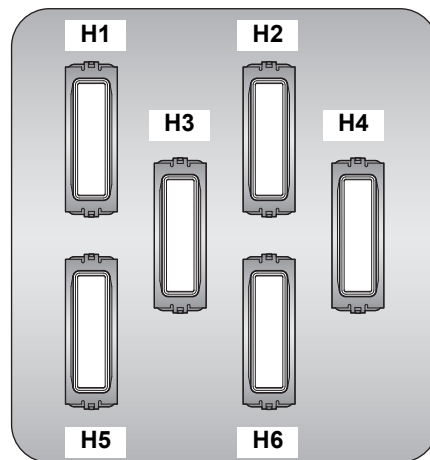
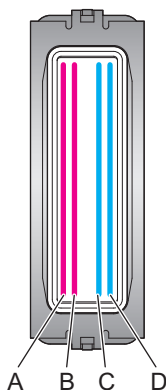
特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用 (ノズルリカバリ) してプリントすることができます。

本機のヘッドは右のように構成されています。
ノズルリカバリ機能では、H1-2(ヘッド 1-2)、H3-4(ヘッド 3-4)、H5-6(ヘッド 5-6) それぞれのノズル列を指定して、リカバリの設定をすることができます。



ノズル列について

- 本機は、1つのヘッドに対して4つのノズル列 (A列・B列・C列・D列) で構成されています。



1 メンテナンスメニューの [ノズルリカバリ] を選ぶ

- ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- ▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲** **▼** を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
- ENTER** キーを押す

2 **▲** **▼** を押して [プリント] を選び、**ENTER** キーを押す

ノズルリカバリ
: フォント



ヘッド センタク
: H1-2

3 **▲** **▼** を押してノズルリカバリをするヘッド (H1-2/H3-4/H5-6) を選ぶ

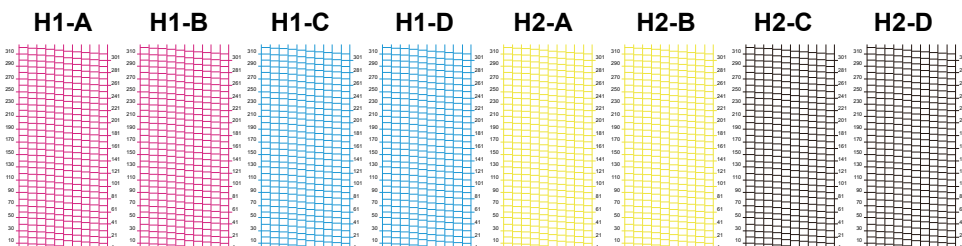
ヘッド センタク
: H3-4

4 **ENTER** キーを 2 回押す

- 選んだユニットのノズルパターンがプリントされます。
- 手順 2 で [トウロク] を選択したときは、ノズルパターンのプリントをしないでノズル列選択手順 (手順 5) に移ります。

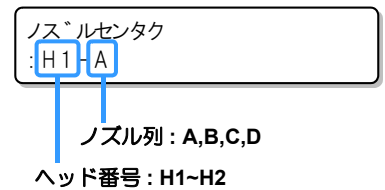
** フォント **
シハラク オマチクタサイ

H1-2 を選択した場合の
ノズルパターン



5

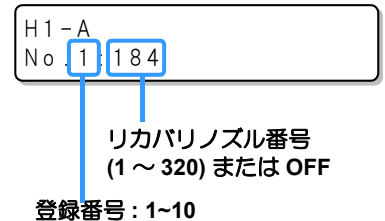
▲▼を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、ENTERキーを押す



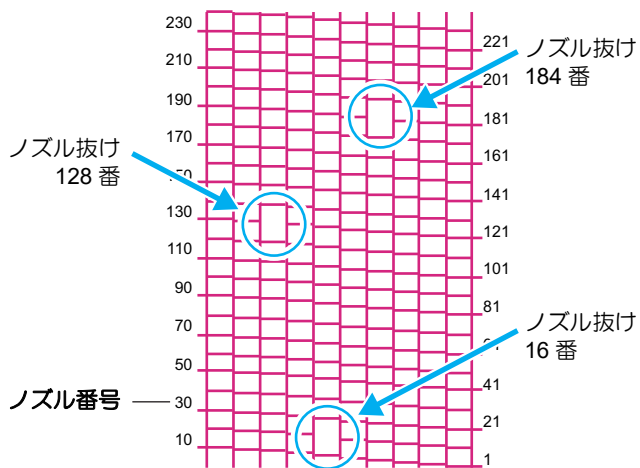
6

リカバリが必要なノズル番号を登録し、ENTERキーを押す

- (1) ▲▼を押して登録番号(1~10)を選択し、ENTERキーを押す
- (2) ▲▼を押してリカバリするノズル番号を登録し、ENTERキーを押す



リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

7

終了するとき、ENDキーを数回押す

重要!

- 1ノズル列あたり10個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- プリントモードの最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効です。
- ノズルリカバリを登録しても、テストプリントなどのパターンはリカバリされません。
- リモートモードのプリントでは、ノズル番号1,2,319,320は使用していません。ノズル抜けが直らないときにこれらの番号を登録しても、ノズル抜けの改善はしませんので、登録しないでください。
- 白インクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。



登録したノズルがリカバリされているか確認する

登録したノズルが正常にリカバリされているかを確認することができます。
次の設定を“ON”にしておけば、テストプリント (P.2-10) をするとき、リカバリしたノズルを使用してテストパターンをプリントします。

1

メンテナンスメニューの【ノズル リカバリ】を選ぶ

- (1) ローカルで、**(FUNCTION)**キーを押す
- (2) **(▲)** **(▼)**を押して【メンテナンス】を選び、**(ENTER)**キーを押す
- (3) **(▲)** **(▼)**を押して【ノズル リカバリ】を選ぶ
- (4) **(ENTER)**キーを押す

2

(▲) **(▼)**を押して【カクニメニュー】を選び、
(ENTER)キーを押す

ノズルリカバリ
: カクニメニュー

3

(▲) **(▼)**を押して、“ON”を選び、**(ENTER)**キーを押す

カクニメニュー
: ON

4

終了するとき、**(END)**キーを数回押す



- ・ノズルリカバリを登録したノズルをリカバリしてテストプリントしたい場合は、P.2-10「テストプリントをする」の手順3で“ON”を選んでください。

設定値をクリアする

1

メンテナンスメニューの[ノズルリカバリ]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して [クリア] を選び、**ENTER** キーを押すノズルリカバリ
: クリアヘッド センタク
: H1-2

3

▲ **▼** を押してノズルリカバリの設定をクリアする
ヘッド (H1-2/H3-4/H5-6) を選ぶヘッド センタク
: H3-4

4

ENTER キーを押すクリアノズル センタク
: H1-A

5

▲ **▼** を押して、設定値をクリアするノズル列を選
び、**ENTER** キーを押すクリアノズル センタク
: H1-AH1-A クリア?
シ ッコウ [ENT]

6

ENTER キーを押す

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
(オートメンテナンス機能)
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!** ・ 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

- 重要!** ・ 右のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-26 の操作をしてください。
・ 装置前面の電源ボタンをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

<ローカル>
ハイ インクタンク フル

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オート メンテナンス] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オート メンテナンス] を選ぶ

2 **ENTER** キーを押す

オート メンテナンス
リフレッシュ [ENT]

3 **ENTER** キーを押す

リフレッシュ
: Lv. 1

4 **▲** **▼** を押して、リフレッシュ間隔を設定する

- ・ 設定値 : OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3
- ・ レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

リフレッシュ
: Lv. 1

5 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス
リフレッシュ [ENT]

6 終了するとき、**END** キーを数回押す

クリーニング間隔を設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1

メンテナンスメニューの[オート メンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オート メンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して、[クリーニング] を選ぶ

オート メンテナンス
クリーニング [ENT]

3

ENTER キーを押す

クリーニング
: レベル1

4

▲ **▼** を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

クリーニング
: Lv. 1

- 設定値：OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3
- レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

5

ENTER キーを押す

- 手順4で“OFF”以外に設定したとき、クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

タイプ
: ノーマル

6

▲ **▼** を押して、クリーニングタイプを選ぶ

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード

タイプ
: ソフト

7

ENTER キーを押す

オート メンテナンス
クリーニング [ENT]

8

終了するとき、**END** キーを数回押す

白インクの循環機能について

本機は、白インクの顔料が沈降することを防止するため、自動的にインクの循環を行います。

● 白循環動作中のディスプレイ表示

シ`ユンカン チュウ
シハ`ラク オマチクタ`サイ

重要!

- 白インクの循環機能は、4色 + 白のインクセットをご使用の場合のみ自動的に行います。
- 白循環を行っても、インクの消費はありません。
- 本機がプリントなどの動作を行っていないとき、1時間に1回の間隔で白循環を行います。
- 白循環を途中で止めたいときは、**END** キーを押してください。
- 白循環の動作が終了すると、ディスプレイは白循環を開始する前の状態に戻ります。
- 白循環中に印刷データを受信すると、白循環を中断し、ディスプレイは白循環を開始する前の状態に戻ります。
- 本機の電源が OFF になっていても、自動的に起動し白循環を行います。(ディスプレイには“シ`ユンカン チュウ”と循環作業の残り時間が表示されます。
白循環を途中で止めたいときは、END キーを押してください。
白循環を停止するか確認画面が表示されます。中止を選択すると、白循環を停止し、電源 ON の状態になります。

シ`ユンカン チュウ
ケイソ`ク < > チュウシ

消耗品の交換

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。
また、スライダ下面に付着したインクの清掃をしてください。

<ローカル>
ワイパー コウカン [MNT]

重要! ・クリーニングワイパー (SPA-0193) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 メッセージが表示されたら、**MAINT.** キーを押す

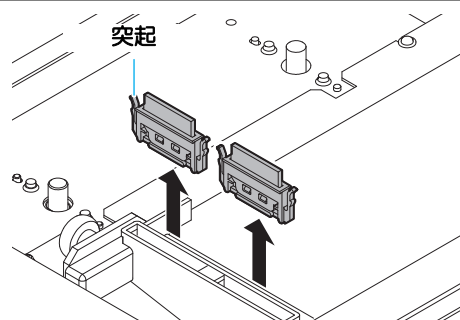
ワイパー コウカン
シッコウ [ENT]

2 **ENTER** キーを押す
・キャリッジがテーブル上に移動します。

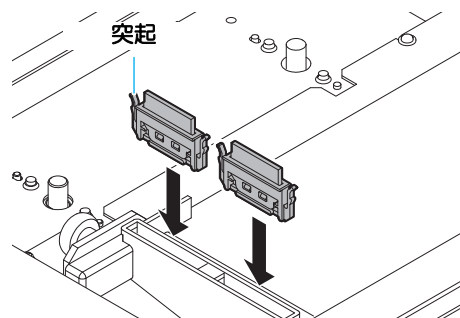
ワイパー コウカン
シュウリョウ [ENT]

重要! ・交換作業が終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ :ENT] が表示されます。
手順3までの作業が完了してから **ENTER** キーを押してください。

3 ワイパーを取り出す
・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4 新しいワイパーを差し込む
・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



5 **ENTER** キーを押す
・初期動作後、ローカルに戻ります。

* ショキカ チュウ *
シバラク オマチクダサイ

インク吸収材の交換

キャップ部のインク吸収材が汚れ、インクを吸収しきれない状態になる前に交換してください。

重要!

・インク吸収材 (SAP-0215/SAP-0216/SAP-0217) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。



・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。

・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、**MAINT.** キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト
[ENT]

2

ENTER キーを押す

イトウ イチ
: ステーション メンテナンス

3

▲ ▼ を押して、[ヘッド メンテナンス] を選ぶ

イトウ イチ
: ヘッド メンテナンス

4

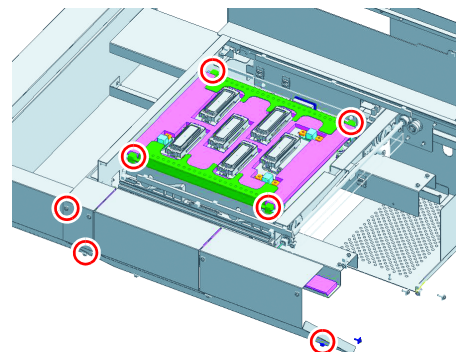
ENTER キーを押す

・キャリッジが、本機の左端まで移動します。

5

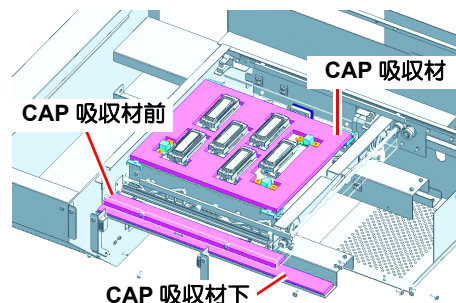
カバーを開け、インク吸収材押さえを取り外す

・ネジ (8箇所) を取り除き、カバーおよびインク吸収材押さえを取り外します。



6

インク吸収材を交換する



7

インク吸収材押さえとカバーを元の位置に戻し、**ENTER** キーを押す

4

お
手
入
れ

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量をセンサーで監視し、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)

ローカルでの確認メッセージ

1 右のメッセージが表示される

<ローカル>
ハイインクタンク フル マチ`カ

または

<ローカル>
ハイインクタンク フル

または

<ローカル>
ハイインクタンク ナシ

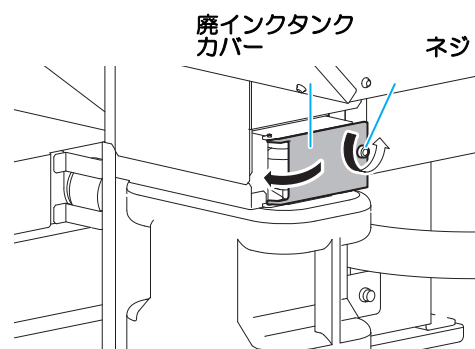
2 廃インクタンクを確認する

廃インクタンクを交換する

- 重要!**
- ・ 廃インクタンクを交換するときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
 - ・ 本機の動作中(プリント中またはクリーニング中)は、廃インクタンクの交換はしないでください。
 - ・ 作業中に廃インクがこぼれた場合は、ウェス等で拭き取ってください。

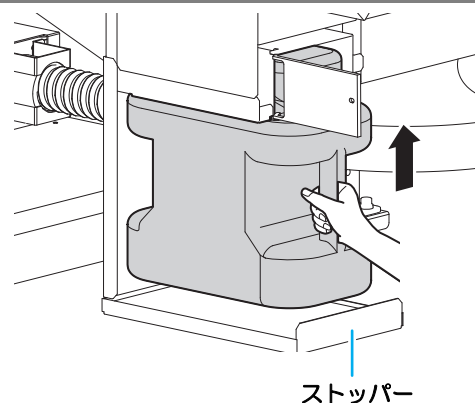
1 廃インクタンクカバーを開く

- ・ 廃インクタンクカバーについているネジを取り外し、カバーを手前に開けます。



2 廃インクタンクを少し持ち上げる

- ・ ストッパーに当たらない程度まで、廃インクタンクを持ち上げてください。

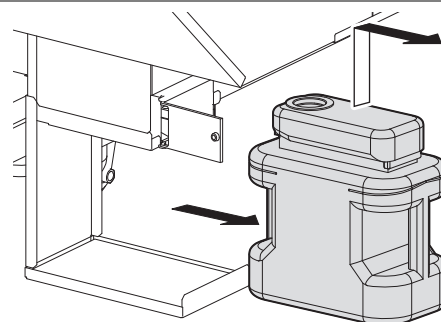
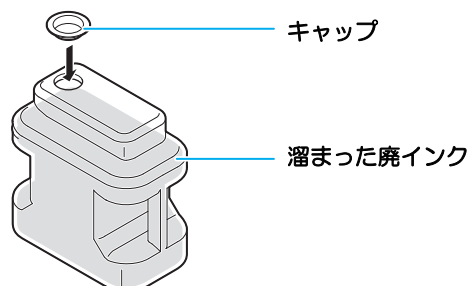


3

使用済みの廃インクタンクを取り出す

- (1) 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引き出す
- (2) 廃インクタンクを持ち上げて、取り出す

• 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



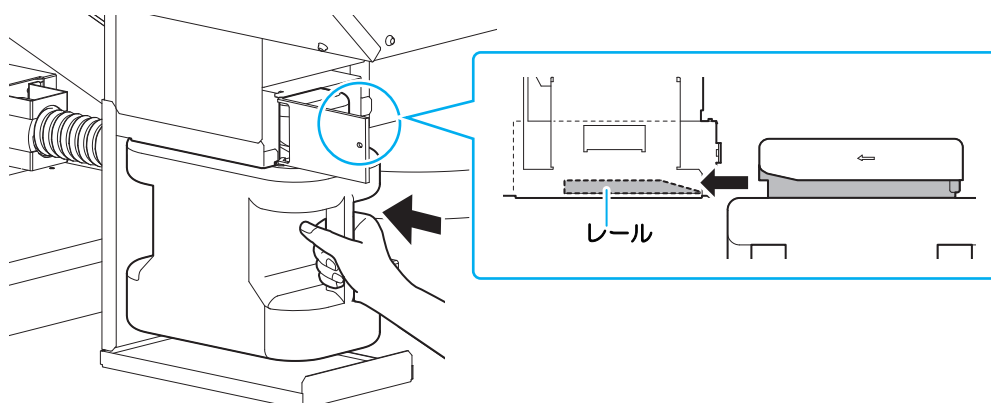
4

新品の廃インクタンクと交換する

- (1) 新品の廃インクタンク (SPC-0197) を用意する
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、レールに沿って差し込む
- (3) 廃インクタンクを持ち上げる



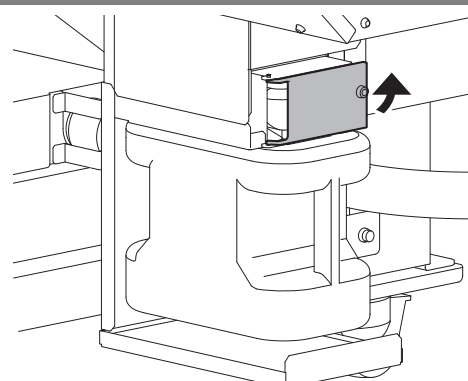
• 手順3で取り出した廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。



5

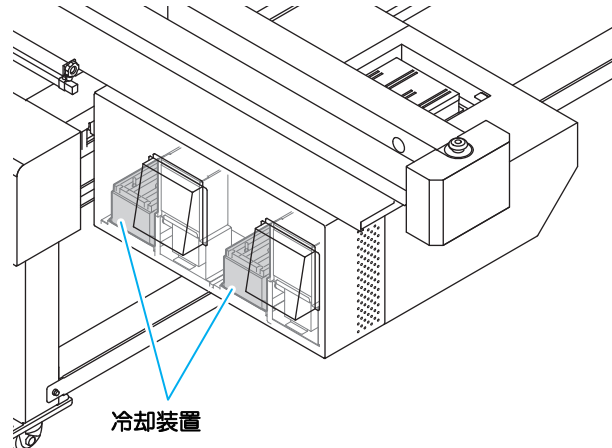
廃インクタンクカバーを閉じる

• 新しい廃インクタンクを認識したら、ワーニングメッセージが解除されます。



冷却水を補充する

LED UV ユニット冷却のため、冷却装置内の冷却水タンクに、不凍液混合水を入れます。



補充に関する注意



注意

- 水と不凍液の混合液は、水 2 に対して不凍液 1 の割合にしてください。
- 不凍液を入れず、水だけを冷却水タンクに入れた場合は、凍結などにより LED UV ユニットが故障する原因になります。
- 水を入れず、不凍液だけを冷却水タンクに入れた場合、正常に動作せず、エラーになることがあります。
- 冷却水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



不凍液の取り扱い上のご注意



- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネおよび手袋を着用してください。

- 不凍液は、弊社専用のものをご使用ください。他のものを使用すると、冷却装置が故障する恐れがあります。(交換用不凍液：1000cc X 1本)
- 不凍液には直接触れないようにしてください。誤って不凍液が付いてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。



- 予備の冷却水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃冷却水タンク水を移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。
- 冷却水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。この場合は、次ページの手順と同様に、水を交換してください。

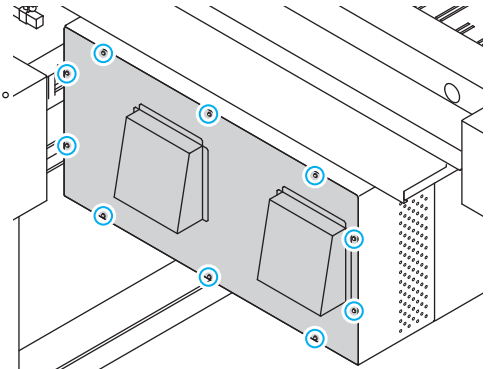
<ローカル>
ミスブソク 12

冷却水を補充する

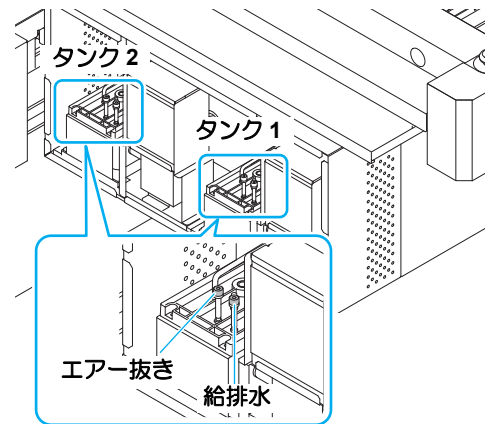
水不足のエラーが発生したら、冷却水を補充してください。満水にするには、約 450cc の補充が必要です。

1 Yバー左側背面のカバーを外す

- 図の丸部分のネジ(10箇所)を外して、カバーを取り外します。

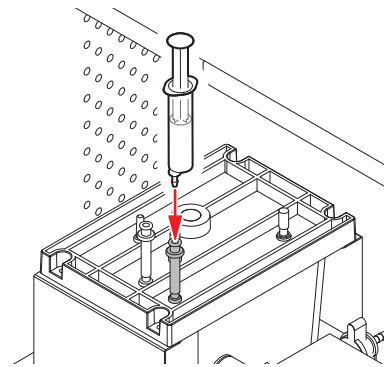


2 給排水とエア抜きのフタを外す



3 タンクの水をすべて抜く

- 付属のシリンジで、給水口からタンクの水をすべて抜きます。
- 抜いた水は、キャップ付きタンクに入れて処分してください。

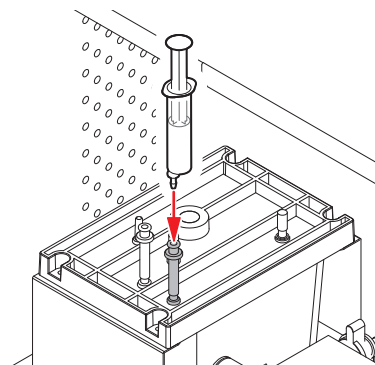


4 付属の容器で混合水(不凍液 1、水 2 の割合)を作り、付属のシリンジに移す



5**混合水を注入する**

- 混合水を給水口から注入します。
- 混合水をシリンジに 50ml ずつ入れ、9 回注入すると満水（450ml）になります。

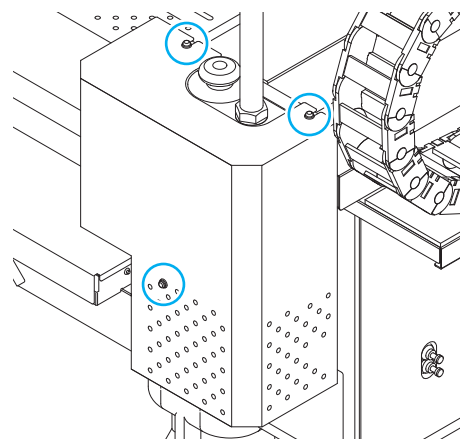
**6****給水口とエア抜きのフタを閉め、Yバー左側背面のカバーを取り付ける**

Y モーターの清掃

ワーニングメッセージ [Y モーターセイソウ] が表示されたら、次の手順で Y モーターの清掃をしてください。

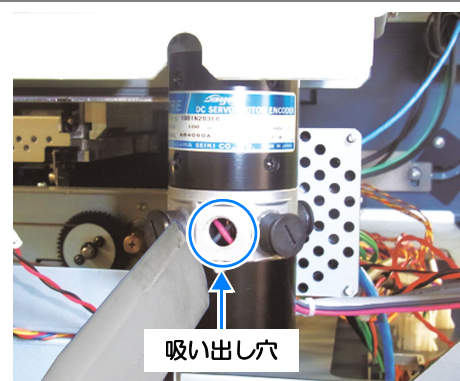
1 電源を切ってから、Y モーターメンテナンスカバーを開ける

- Y モーターメンテナンスカバーのネジ (4 箇所) を外して、カバーを開けてください。
- ネジは図中の○部の他に底面に 1 箇所あります。



2 摩耗粉吸い出し用のフタを開け、摩耗粉吸い出し穴に溜まった摩耗粉を掃除機で吸い出す

- マイナスドライバーを使って、フタを開けてください。



3 摩耗粉吸い出し用のフタを元の状態に戻し、電源を入れる

- ディスプレイにはワーニングメッセージ [Y モーターセイソウ] が表示されます。

4 **MAINT.** キーを押して、ワーニングメッセージをクリアする

- ローカルに戻ります。

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

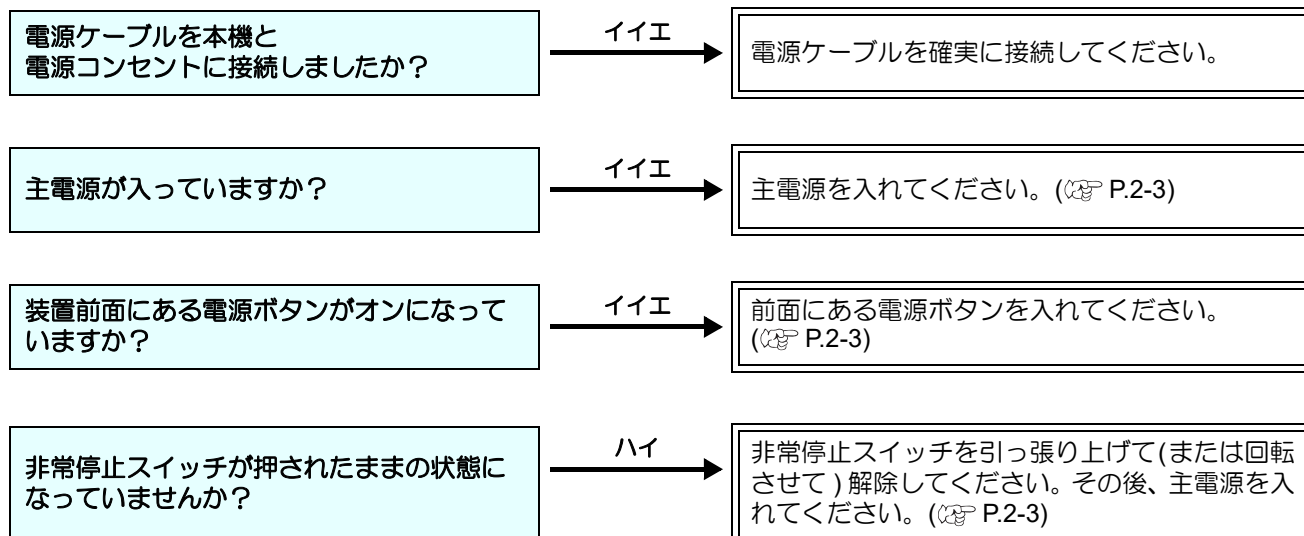
故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない.....	5-2
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インクボトルに異常が発生したら.....	5-4
インク漏れが発生したら	5-4
サブタンク関連のエラー (エラー 618 ~ 61b) が発生したら	5-5
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら.....	5-6
圧力異常が発生したら.....	5-9
メッセージを表示するトラブル	5-11
ワーニングメッセージ.....	5-11
エラーメッセージ.....	5-14

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

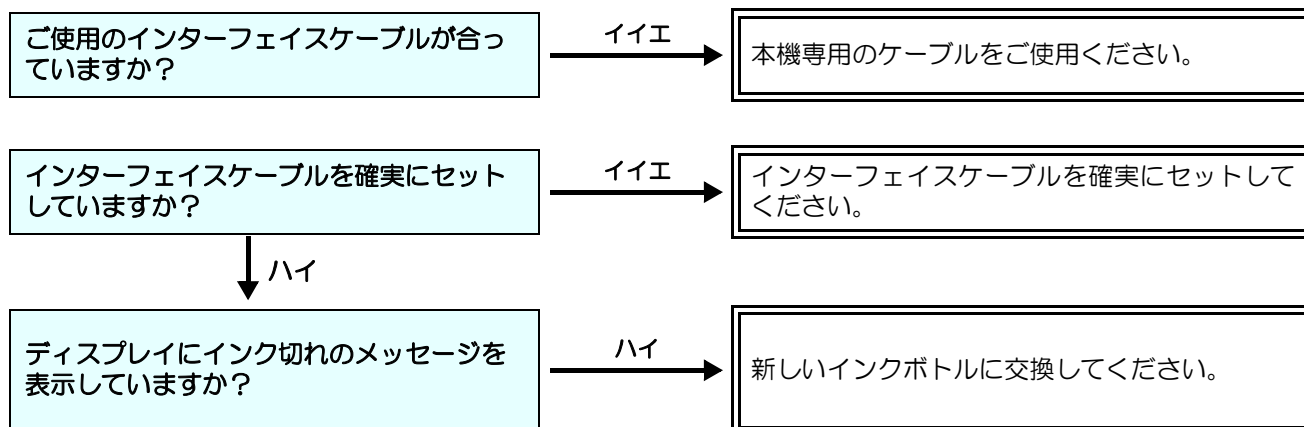
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する(ヘッド移動方向)	<ol style="list-style-type: none"> (1) ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-12 (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-4 (3) 「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.3-8
文字がYバー移動方向に2重、3重に印刷する	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.3-8
往復印字でズレが発生する	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.3-10
プリント中にインク滴が落ちる	<ol style="list-style-type: none"> (1) ワイパーを清掃してください。☞ P.4-4 (2) インクキャップのクリーニングをしてください。☞ P.4-4 (3) ヘッドの周辺を清掃してください。☞ P.4-12 (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。☞ P.2-12 (5) テイキワイピングの動作間隔を、短く設定してください。☞ P.3-25

ノズル詰まりを解消したいとき

- 重要!** ・ P.2-12 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、P.4-14 の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

インクボトルに異常が発生したら

インクボトルに異常が発生したら、インクボトルランプが「赤」点灯し、ワーニングメッセージを表示します。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。

異常が発生したときは、次のようにしてください。

- ・インクカバーにセットしている IC チップが正しくセットされているか確認してください。
- ・速やかに新しいインクボトルに交換してください。

重要!

- ・インクボトル異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インク漏れが発生したら

インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

インクボトル異常の詳細を表示する

次の操作をして、インクボトル異常の内容を確認できます。

1

ローカルモードで、**ENTER** キーを押す

LUS-150	MMCCYYKK
サンリョウ	34567899

2

ENTER キーを押す

インク IC ナシ
MMCCYYKK

- ・複数のインクボトル異常が発生している場合、**ENTER** キーまたは、**◀▶** を押すと、順番に表示します。

サブタンク関連のエラー (エラー 618 ~ 61b) が発生したら

エラー 618 ~ 61b は、サブタンクに関するエラーです。
サブタンク関連のエラーが発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1 メンテナンスメニューの [サブタンク] を選ぶ

- (1) ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す
- (2) **(▲)** **(▼)** を押して [メンテナンス] を選び、**(ENTER)** キーを押す
- (3) **(▲)** **(▼)** を押して [サブタンク] を選ぶ

2 **(ENTER)** キーを押す

```
サブタンク センタク
:MMCCYYKK
```

3 **(▲)** **(▼)** **(◀)** **(▶)** を押して、メンテナンスするサブタンクを選ぶ

```
サブタンク センタク
:MMCC_YKK
```

- **(◀)** **(▶)** : サブタンクを選択
- **(▲)** **(▼)** : メンテナンスする / しないを選択
- エラー 61b が発生した場合には、該当するサブタンクが選択されていますので、そのまま **(ENTER)** キーを押してください。

4 **(ENTER)** キーを押す

```
サブタンク
シッコウ [ENT]
```

5 **(ENTER)** キーを押す

- 自動で排出、充填動作を行います。
- その後、クリーニングを行います。

```
** シュウテン **
シハラク オマチクタサイ
```

```
** クリーニング **
シハラク オマチクタサイ
```

6 終了するとき、**(END)** キーを数回押す

インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら

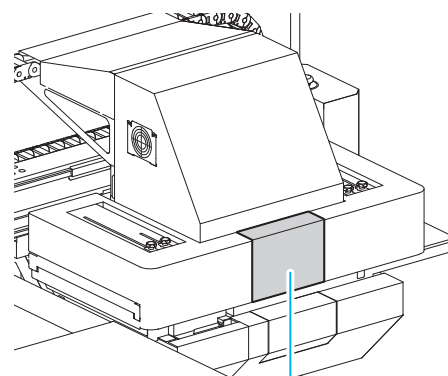
ヘッド内でインクが混色してしまった場合や空気の混入によるノズル抜けが発生した場合は、ヘッド内のインクや混入してしまった空気をポートから押し出してください。

1 メンテナンスメニューの[クウキヌキ]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [クウキヌキ] を選ぶ

2 メンテナンスカバーを開ける

- 重要!** ・ 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。



メンテナンスカバー

3 **ENTER** キーを押す

クウキヌキ センタク
1 < > 2

4 **◀ ▶** を押して、空気抜きするポートを選ぶ

- ・ **◀** : 左側のポートを選択
- ・ **▶** : 右側のポートを選択
- ・ キャリッジがワイパ上に移動します。

5 **ENTER** キーを押す

イトウ チュウ
シバラク オマチクタサイ



- 重要!** ・ ディスプレイに [ジグロセット] が表示されてから手順 6 の操作をしてください。表示が出る前に空気抜きポートのフタを外すと、空気混入の原因になります。

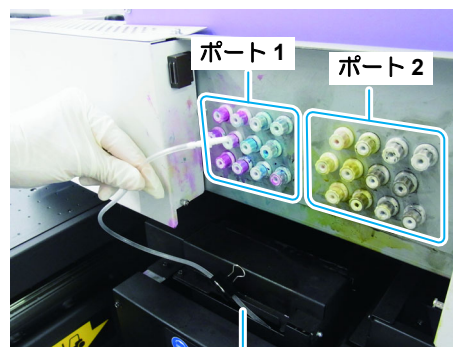
クウキヌキ
ジグロ セット [ENT]

6

治具をワイパ部に固定し、手順3で選択した側のインクポートのバルブを開ける

重要!

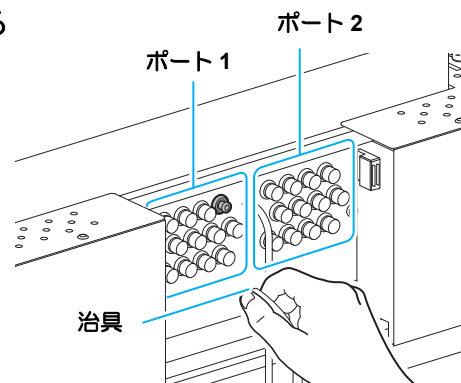
- 手順3で選択していない側のポートのバルブは開けないでください。バルブを開けると、そこから空気が混入してしまいます。
- バルブが開けづらい場合は、添付のラジオペンチを使って、開けてください。



治具をワイパ部に差し込み、固定する

7

インクポートのバルブへ、エア抜き治具をセットする



8

インクポートから混色したインクや混入した空気を排出させる

- **ENTER** キーを押すと、一定時間ポートからインクを排出します。
- 排出を完了すると、ディスプレイには“シグマハズス”が表示されます。メッセージが表示されるまでは、治具を取り外さないでください。

クウキヌキ
カイシ

[ENT]

9

インクポートから治具を外し、インクポートのバルブを閉める

シグマハズス
カンリョウ

[ENT]

10

ENTER キーを押す

- インクの減ったサブタンクにインク供給を行います。表示が切り替わるまで、しばらくお待ちください。

** シュウテン/サブタンク **
シバラク オマチクダサイ



クウキヌキ
シュウリョウ <

> リトライ

11

続けて別のインクポートで空気抜きを行う場合は、**▶**を押してから手順5～10の作業を行う

- **◀**を押すと、キャリッジがキャップ位置へ移動します。

5

困ったときは

12**次の処理を選択する**

クウキヌキ
END < > ケイゾク

- 別のポートを選択する場合は(▶)を押して、手順3～11を行ってください。
- 作業を終了する場合は、メンテナンスカバーを閉じ、ワイパから治具を取り除いてください。

重要!

- 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。
- インクポート周辺に付着したインクはきれいに拭きとってください。
- カバーを閉じた後、(◀)を押してください。

13**クリーニングを実行し、空気抜きを終了する**

** クリーニング **
シバラク オマチクダサイ

14**終了するとき、(END)キーを数回押す**

圧力異常が発生したら

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。圧力異常に関するエラーが発生した場合、以下を実施してください。

重要! ・ 圧力異常が発生したら、速やかに次の手順で圧力を調整し、正常な値に戻してください。

1 メンテナンスメニューの[アツリョク チョウセイ]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [アツリョク チョウセイ] を選ぶ

2 **▲** **▼** を押して、セイアツ/フアツを選ぶ

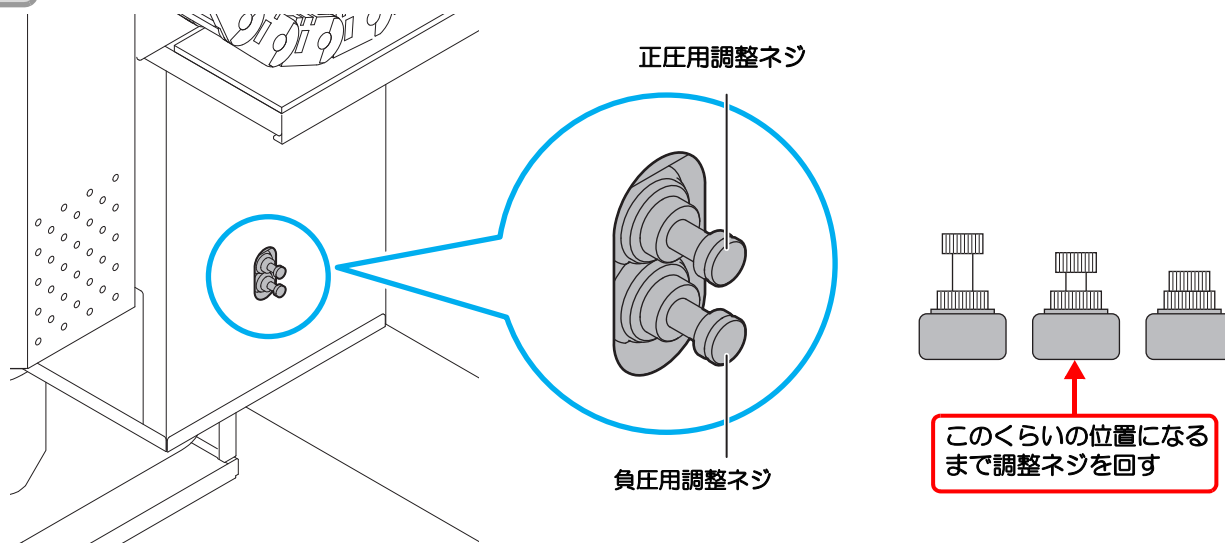
アツリョク チョウセイ
: フアツ

3 **ENTER** キーを押す

スロットル ハルブ ヲ カイホウ
シュウリョウ [ENT]

4 スロットルバルブの調整ネジを回し、空気が流れるように開放する

- ・ スロットルバルブの調整ネジが中間地点に来るまで回してください。



5

ENTER キーを押す

- センサの調整が始まります。

** チョウセイ **
シハ`ラクオマチクタ`サイ

6

スロットルバルブ調整ネジを回して、圧力が適正値になるように調整する

- 負圧の適正値 : -5.40kPa
- 正圧の適正値 : 15.00kPa
- スロットルバルブの調整は、「負圧」→「正圧」→「負圧」の順番で行ってください。
- 負圧では $\pm 0.1 \sim 0.2$ kPa の範囲で変動するため、中間値が目標の圧力になるように調整してください。

アツリヨク
= -5.40kPa

7

ENTER キーを押す

- エラーが解除され、負圧制御が始まります。

シハ`ラクオマチクタ`サイ

重要!

- 圧力調整を実施してもエラーが発生する場合、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
シッコウ テキマセン : インク エラーアリ	インクエラーが発生している。	• 表示しているカラーに対応する供給経路のインクボトルを確認してください。
シッコウ テキマセン : フプリントデータアリ	データを受信している。	• データクリアを実行してください。 (☞ P.2-14)

動作中に表示されるエラー

表示	原因	対処方法
! X リニアスケール カント` L	X 左側リニアスケールセンサの応答が低下している。	• 何度も表示する場合は、一度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 再度何度も表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
! X リニアスケール カント` R	X 右側リニアスケールセンサの応答が低下している。	
! X リニアスケール カウント L	X 左側リニアスケールセンサの応答が低下している。	
! X リニアスケール カウント R	X 右側リニアスケールセンサの応答が低下している。	

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
<ローカル> フプリントフカ/ インクホ`トル [ENT]	複数のインクエラー（使用不可インク）が発生している。 インクの供給（プリントやクリーニングなど）が行えない。	• ENTER キーを押して、該当インクボトルとエラー内容を確認し、使用可能インクボトルと交換してください。
<ローカル> ハイインクタンク フル	廃インクタンクがフル状態。	• 廃インクタンクを確認してください。
<ローカル> ハイインクタンク フル マチ`カ	廃インクタンクがフル間近。	
<ローカル> ハイインクタンク ナシ	廃インクタンクがセットされていない。	• 廃インクタンクをセットしてください。
<ローカル> ワイパ`ー コウカン [MNT]	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	• MAINT. キーを押して、ワイパーを交換してください。(☞ P.4-24)
<ローカル> フプリントデータアリ	データ受信済み。	• REMOTE キーを押してプリントを実施してください。 またはデータクリアを実行してください。
<ローカル> ミス`フソク 12	冷却水タンクの水が不足している。	• P.4-28「冷却水を補充する」を参照して、冷却水を補充してください。
<ローカル> UVランプ` オント` タカイ	LED ランプの温度が高い。	• 温度が下がり、メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。

表示	原因	対処方法
<ローカル> フアツ イシ`ヨウ	負圧センサーの値が異常になっている。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。正常な値に調整できない、または実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> セиаツ イシ`ヨウ	正圧センサーの値が異常になっている。	
<ローカル> インク ニアエント` [ENT]	インクボトルのインクが少なくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ENTER キーを押し、該当するインクボトルを確認してください。間もなくインクエンドとなるので、注意してください。
<ローカル> インク キョウキュウ :MMCCYYKK	サブタンクへのインク補充に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「サブタンク (P.5-5)」を実施してください。またインクボトル内のインク残量も確認してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> サブ`タンク センサー:MMCCYYKK	サブタンクの液面センサの異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 1度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> インクオーバ`ーフロー:MMCCYYKK	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「サブタンク (P.5-5)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> タンクサ`ンリョウH :MMCCYYKK	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	
<ローカル> タンクサ`ンリョウL :MMCCYYKK	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
<ローカル> タ`ツキモシ`ュール コウカン	インク経路内の脱気モジュールが交換間近になった。(使用開始より1年が経過)	<ul style="list-style-type: none"> 脱気モジュールを交換する必要があります。販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> ソウチオント`/タカイ***°C	装置の温度が高い。	<ul style="list-style-type: none"> 使用環境の温度を調整してください。
<ローカル> ソウチオント`/ヒクイ***°C	装置の温度が低い。	
<ローカル> Y`モーター セイソウ	Y モーターの清掃時期になった。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を OFF にし、Y モーターの吸い出し窓から摩耗粉を吸い取ってください。 清掃後、MAINT. キーを押ししてください。
<ローカル> Y`モーター フ`ラシ コウカン	Y モーターのブラシ交換時期になった。	<ul style="list-style-type: none"> Y モーターのブラシ交換時期になりました。販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
キャリッジ` フィルター ヲ コウカン シテクタ`サイ [ENT]	キャリッジフィルターの交換時期になった。	<ul style="list-style-type: none"> 別冊の「日常のお手入れのお願い」を参照して、キャリッジフィルターの交換をしてください。
UVファン フィルター ヲ コウカン シテクタ`サイ [ENT]	UV ファンフィルターの交換時期になった。	<ul style="list-style-type: none"> 別紙の「UV FAN Filter 交換手順書」を参照して、UV ファンフィルターの交換をしてください。
<ローカル> ミス` ヲ ホシ`ユウ シテクタ`サイ	冷却水タンクの水が少なくなってから7日以上経過した。	<ul style="list-style-type: none"> 表示している番号の冷却水タンクに、冷却水を補充してください。このワーニングを表示している間は、オンラインプリントができません。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイドンスでも表示されます。(P.3-36)

表示	原因	対処方法
インク IC ナシ :----- YYKK	インクボトルの IC チップが正常に読み込めない。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクボトルを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク IC イシ`ヨウ :----- YYKK		
インク シュルイ :----- YYKK	インクボトルのインク種類が充填してあるインクと異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクボトルのインク種類を確認してください。
インク カラー :----- YYKK	インクボトルのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクボトルのインクカラーを確認してください。
インクホ`トル イシ`ヨウ :----- YYKK	インクボトルの IC チップ情報に異常が生じた。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクホ`トル ナシ :----- YYKK	インクボトルが外部インク供給ユニットにセットされていない。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているボトルホルダーにインクボトルをセットしてください。
インクホ`トル エント` :----- YYKK	インクボトルのインクがなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクホ`トル ニア エント` :----- YYKK	インクボトルのインクが少なくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクホ`トル カクニン :----- YYKK	十分なインク量があるのに、インクエンドが検出された。	<ul style="list-style-type: none"> インクボトルのセット状態を確認してください。
インク ケケ`ンキ`レ :----- YYKK	インクボトルの使用有効期限が切れている。	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。
インク ケケ`ンキ`レ(1カケ`ツ) :----- YYKK	インクボトルの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限より1か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(インクボトルランプが赤点減します)
インク ケケ`ンキ`レ(2カケ`ツ) :----- YYKK	インクボトルの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限より2か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。


エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD CONNECT[12345678]	ヘッドの接続が確認できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 108 HD THERMIS[12345678]	ヘッドの温度が読み取れなかった。	
ERROR 12e HeadFailed /HDC[***]	ヘッド、波形ドライバの異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK:SDRAM	PRAM がない。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	<ul style="list-style-type: none"> データ転送が速すぎる 制御基板に異常が発生した 	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	<ul style="list-style-type: none"> データ転送が遅すぎる 制御基板に異常が発生した 	
ERROR 129 バッテリー コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッドデータ 転送エラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板 1.2V 電源に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5	メイン基板 2.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 153 Main PCB V3R3	メイン基板 3.3V 電源に異常が発生した。	
ERROR 154 Main PCB V05	メイン基板 5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 155 Main PCB V35-1	メイン基板 35-1V 電源に異常が発生した。	
ERROR 156 Main PCB V5B	メイン基板 5VB 電源に異常が発生した。	
ERROR 157 Main PCB VTT	メイン基板 VTT 電源に異常が発生した。	
ERROR 158 Main PCB V352	メイン基板 35-2V 電源に異常が発生した。	
ERROR 16e Main PCB V3R3B	メイン基板 3.3VB 電源に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	COMドライバが高温になっている。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	
ERROR 17a UV-DRV ヒューズ :*****	UV LED Driver 基板のヒューズが切れた。	
ERROR 172 Main PCB Q6 Check	メイン基板 Q6 が故障 (ショートモード) している。	
ERROR 186 HDC OVERFLOW	印字している波形の異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 186 HDC UNDERFLOW		
ERROR 187 HDC SLEW RATE		
ERROR 188 HDC MEMORY		
ERROR 18a Main PCB V_CORE	メイン基板 VCORE 電源に異常が発生した。	
ERROR 18b Main PCB V1R5B	メイン基板 1.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 18c Main PCB V12	メイン基板 12V 電源に異常が発生した。	
ERROR 18e FLS NOT COMP [12_ _]	フラッシング制御異常	
ERROR 18f OFFSET START [12_ _]	ヘッド電圧制御異常	
ERROR 18f OFFSET END [12_ _]		
ERROR 19d HDC V36 [xxxx]	HDC 基板電圧に異常が発生した。	
ERROR 19f LED セツク イショウ	LED UV が未接続。	
ERROR 201 COMMAND	コマンドデータ以外のデータを受信した。	<ul style="list-style-type: none"> インターフェイスクーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスクーブルを使用してください。
ERROR 202 PARAMETER	数値範囲外のパラメーターを受信した。	
ERROR 203 Ment Command	メンテナンスコマンドの動作に失敗した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 304 USB INIT ERR	USB デバイスの初期化に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 305 USB TIME OUT	USB デバイスにタイムアウトエラーが発生した。	
ERROR 401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーバーカレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 505 メディアアシヤム	メディア詰まりが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> メディアを取り除き、再セットしてください。
ERROR 509 HDC POSCNT	HDC ポジションカウンターエラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 50a Y ケンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	Y リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 519 ファツ センサー イシヨウ	負圧センサーの値が異常になっている	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「アツリヨクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへお問い合わせください。
ERROR 51a セイファツ センサー イシヨウ	正圧センサーの値が異常になっている	
ERROR 51e PL ENC SNS(L)	X 左側リニアスケールが、感度不良。	<ul style="list-style-type: none"> 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 51e PL ENC SNS(R)	X 右側リニアスケールが、感度不良。	
ERROR 607 キャップセイソウ	キャップの清掃時期になった。	<ul style="list-style-type: none"> (MAINT.) キーを押し、キャリッジアウトを実行して、キャップ清掃を行ってください。(P.4.4)
ERROR 617 サブタンク センサー: 12345678	サブタンクの液面センサ異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 618 タンクサンリョウH : 12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「サブタンク (P.5-5)」を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへお問い合わせください。
ERROR 619 タンクサンリョウL : 12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
ERROR 61a インクオーバーフロー: 12345678	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 61b インク キョウキユウ :12345678	サブタンクへのインク供給ができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「サブタンク (P.5-5)」を実施してください。またインクボトル内のインク残量も確認してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへお問い合わせください。
ERROR 61c ファツ セイキョ	負圧制御開始異常	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへお問い合わせください。
ERROR 61d ファツ イシフソク	負圧を維持できなかった	
ERROR 61e ファツ イシオーハー		
ERROR 61f セיאツ セイキョ	正圧制御開始異常	
ERROR 620 セיאツ イシフソク	正圧を維持できなかった	
ERROR 621 セיאツ イシオーハー		
ERROR 627 インクホトル セット	一定時間以上インクボトルが挿入されていないスロットがある。	<ul style="list-style-type: none"> インクボトルをセットしてください。
ERROR 702 サーミスタ イシヨウ	サーミスタ異常が発生している。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 707 !HD ヒータ タンセン	ヘッドのヒーターが断線している。	
ERROR 714 インク ヒータ ツウシン イシヨウ	インクヒーターリレー基板の通信異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。起動時に、下記メッセージが表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> インク ヒーター セイキョ CANCEL < > START </div> <ul style="list-style-type: none">  キーを押し、インクヒーター制御を開始してください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 715 インクヒータH サーミスタ:123456	インクヒーターサーミスターが故障した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 715 インクヒータL サーミスタ:123456		

表示	原因	対処方法
ERROR 716 インクヒータH オント` :123456	インクヒーターが温まりすぎている。 • 温度上昇が継続した時、プリントを中断し、操作不能となります。	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を OFF にして、1 時間以上放置してから電源を ON にしてください。エラー表示後、操作不能となった場合、下記メッセージが表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> インク ヒーター セキ`ヨ CANCEL < > START </div> <ul style="list-style-type: none"> ◀キーを押し、インクヒーター制御を開始してください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 716 インクヒータL オント` :123456		
ERROR 717 インクヒータH タ`ンセン:123456	インクヒーターが断線した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 717 インクヒータL タ`ンセン:123456		
ERROR 718 インクヒータPCB サーミスタ :12	インクヒーターリレー基板のサーミスタが故障した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 719 インクヒータPCB ヒューズ` :12	インクヒーターリレー基板のヒューズが切れた。	
ERROR 71a UV-DRVヒューズ` :*****	UV LED Driver 基板のヒューズが切れた。	
ERROR 902 ミサクス` デ`ータ アリ	プリントデータが残っている。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを実行してください。(P.2-14)
ERROR 90d ヘット` センタク ナシ	搭載ヘッド数が0となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 910 シツオン ヒクイ	環境温度が使用可能温度範囲外(低い)になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 設置環境の温度を調整してください。
ERROR 911 シツオン タカイ	環境温度が使用可能温度範囲外(高い)になっている。	

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*). 000: メッセージ`	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。("000" はエラー No.)

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクボトルのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5
警告ラベルについて	6-6
機能フローチャート	6-8

本体仕様

項目		仕様
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	6ヘッド：3スタガ2インライン配列
プリントモード (スキャンxフィード)	4色	600x600 : 双方向/単方向 4/8/16 pass 600x900 : 双方向/単方向 6/12/24 pass
	6色以上	600x600 : 双方向/単方向 8/16/32 pass 600x900 : 双方向/単方向 12/24/48 pass
使用可能インク		専用 UV 硬化インク (Y,M,C,K,W,CI,PR(プライマー))
インク供給		1L x 8 ボトル供給 (4色時は UISS 切替可能、6色時は M,C のみ UISS 切替可能)
インク容量	4色	1L ボトル各色 2本
	6色	M,C:2L ボトル各色 2本 その他:1L ボトル各色 1本
使用可能メディア	サイズ	2140x3210mm
	厚さ	50mm 以下
最大プリント範囲		2100x3100mm
距離精度	絶対精度	±0.3mm または指定距離の ±0.3% の大きい方
	再現性	±0.2mm または指定距離の ±0.1% の大きい方
直角度		±0.5 mm / 500 mm
ヘッド高さ調整		1.2mm ~ 3mm (メディア厚み自動認識)
メディア吸着		バキュームユニットによる吸着固定
UV 装置		UVLED 灯具 (キャリッジに搭載) UV 電源本体内蔵
廃インクタンク		ボトル式 (3200 cc) / センサーによる検出を行う
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- III
騒音	待機時	60dB 以下
	動作時 ^{*1}	79dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, ETL, CE マーキング (機械指令), CB レポート, RoHS 対応
電源仕様		AC200 - 240±10%, 50/60Hz±1Hz, 20A 以下
消費電力		2400W 以下
設置環境	使用可能温度	15 °C ~ 30 °C (59°F ~ 86°F)
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	18 °C ~ 25 °C (64.4°F ~ 77°F)
	温度勾配	±10 °C / h 以下
	粉塵	0.15mg/m ³ (オフィス相当)
重量	プリンタ本体	約 1353 kg
	外部インク供給 ユニット	約 40 kg
外形寸法	プリンタ本体	4100 mm(W) x 4462 mm(D) x 1490mm(H) (突起物を含む)
	外部インク供給 ユニット	775 mm(W) x 455mm(D) x 900mm(H)

*1. 77.6db(A)、動作条件：高速スキャン、プロワ強：機械指令 2006/42/EC の 1.7.4.2 項に準じる。

インク仕様

項目		仕様
形態		1L インクボトル
色		ブラックインク シアンインク マゼンタインク イエローインク ホワイトインク クリアインク プライマー
インク容量		1リットル
有効期限		有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は期限内であっても3ヶ月以内。
保存温度	保存時	1～40℃(40℃の場合、1ヶ月以内)
	輸送時	1～60℃(60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヶ月以内)

重要!

- 当社が指定しているインク以外は、インクボトルを分解したり、インクの詰め替えや継ぎ足しをしないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
 - ・ 万一インクが凍結したときは、室温(25℃)で3時間以上かけて解凍してから使用してください。ただし、解凍したインクを使用すると、インクの変質によりプリント品質が劣化します。インクが凍結しない環境で保管してください。

インク種によるセットの違いについて

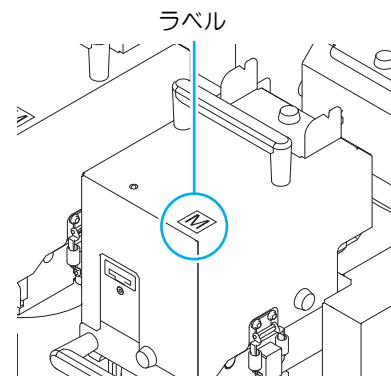
ご使用になるインク種によって、設定値やインクボトルのセット順が異なります。

インクボトルのセット順

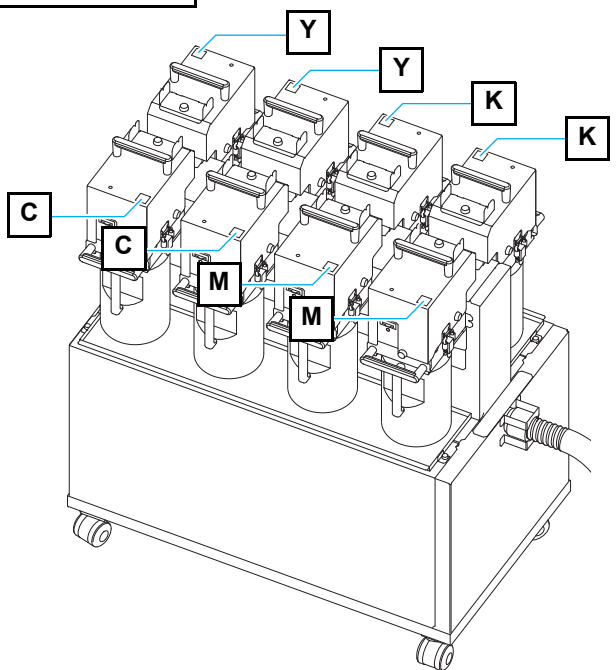
お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクボトルの順番が異なります。



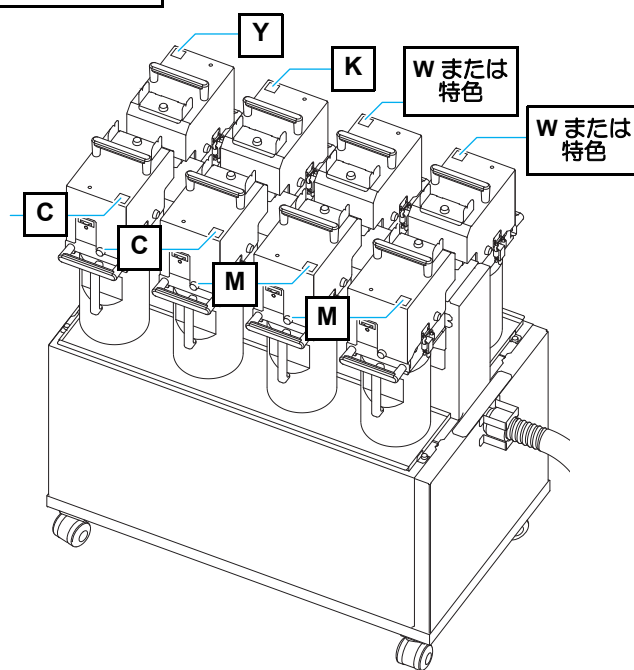
- ・インクカバーの天面に貼り付けてあるラベルに合わせ、インクボトルをセットしてください。



4色インクセット



6色インクセット



お問い合わせシート

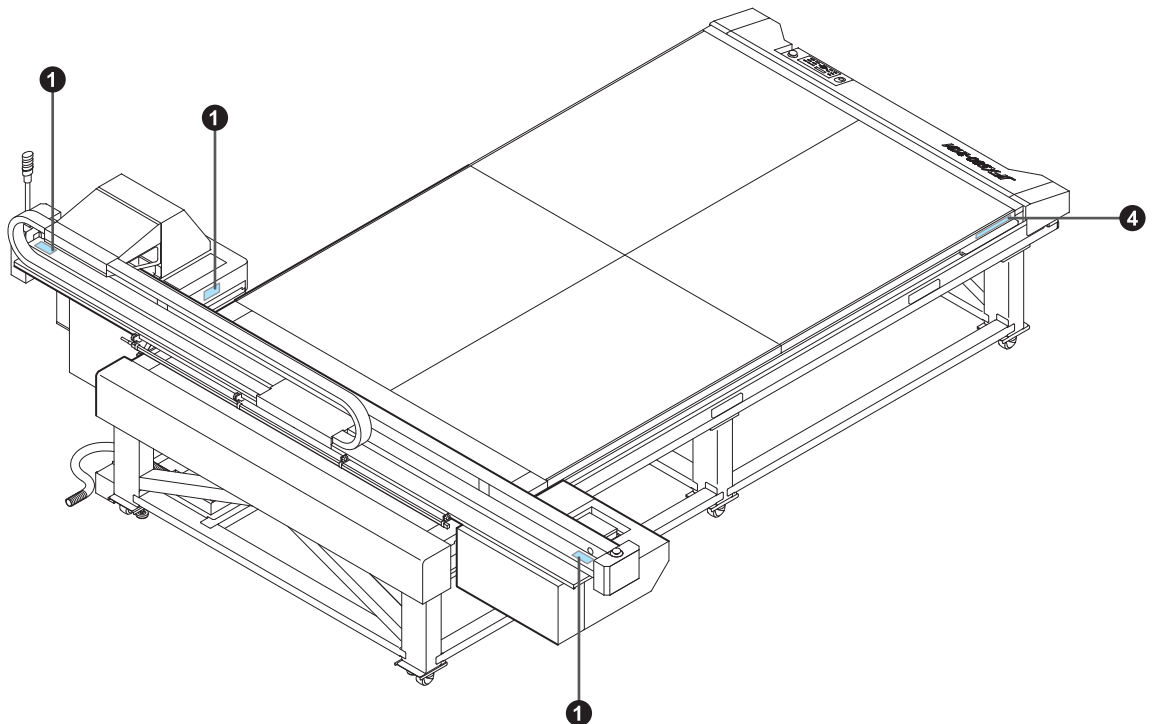
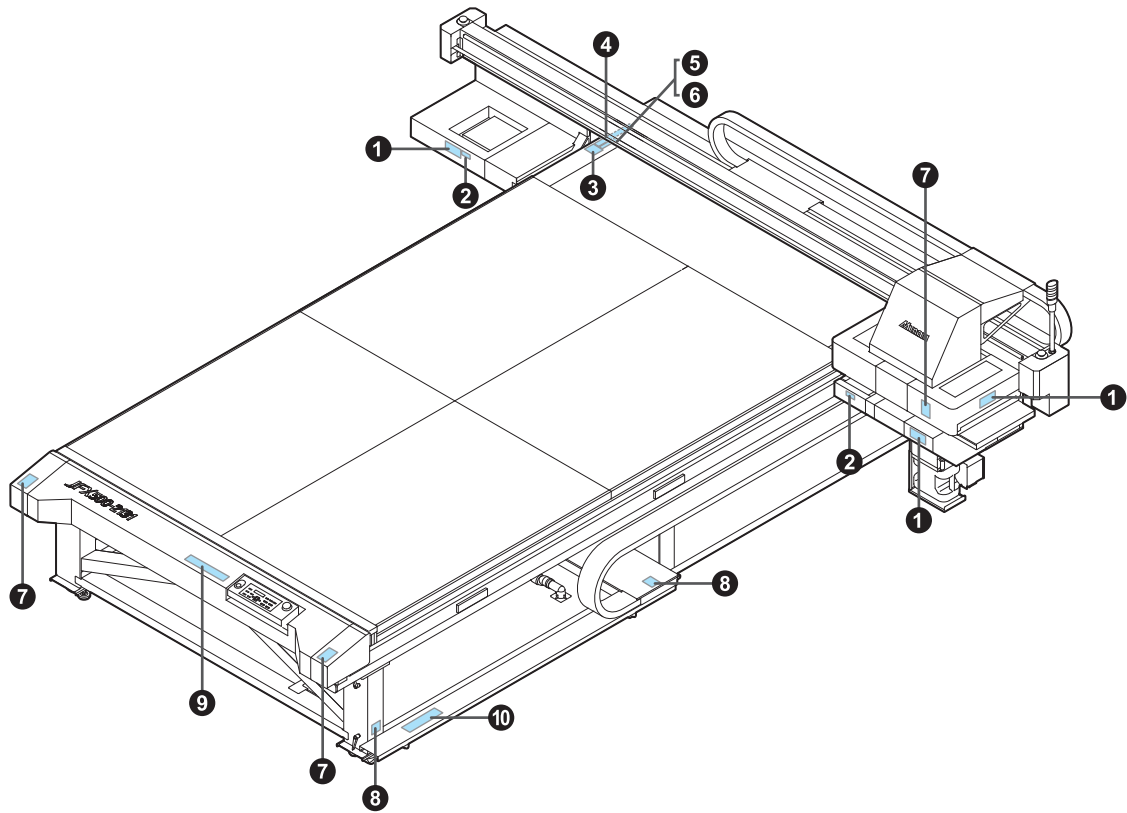
プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。





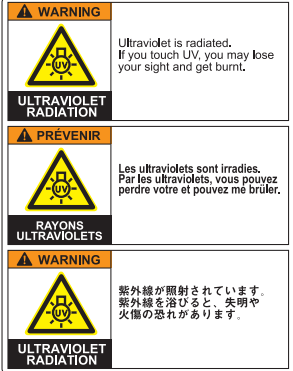



御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報*1	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧ください。 (P.3-34)

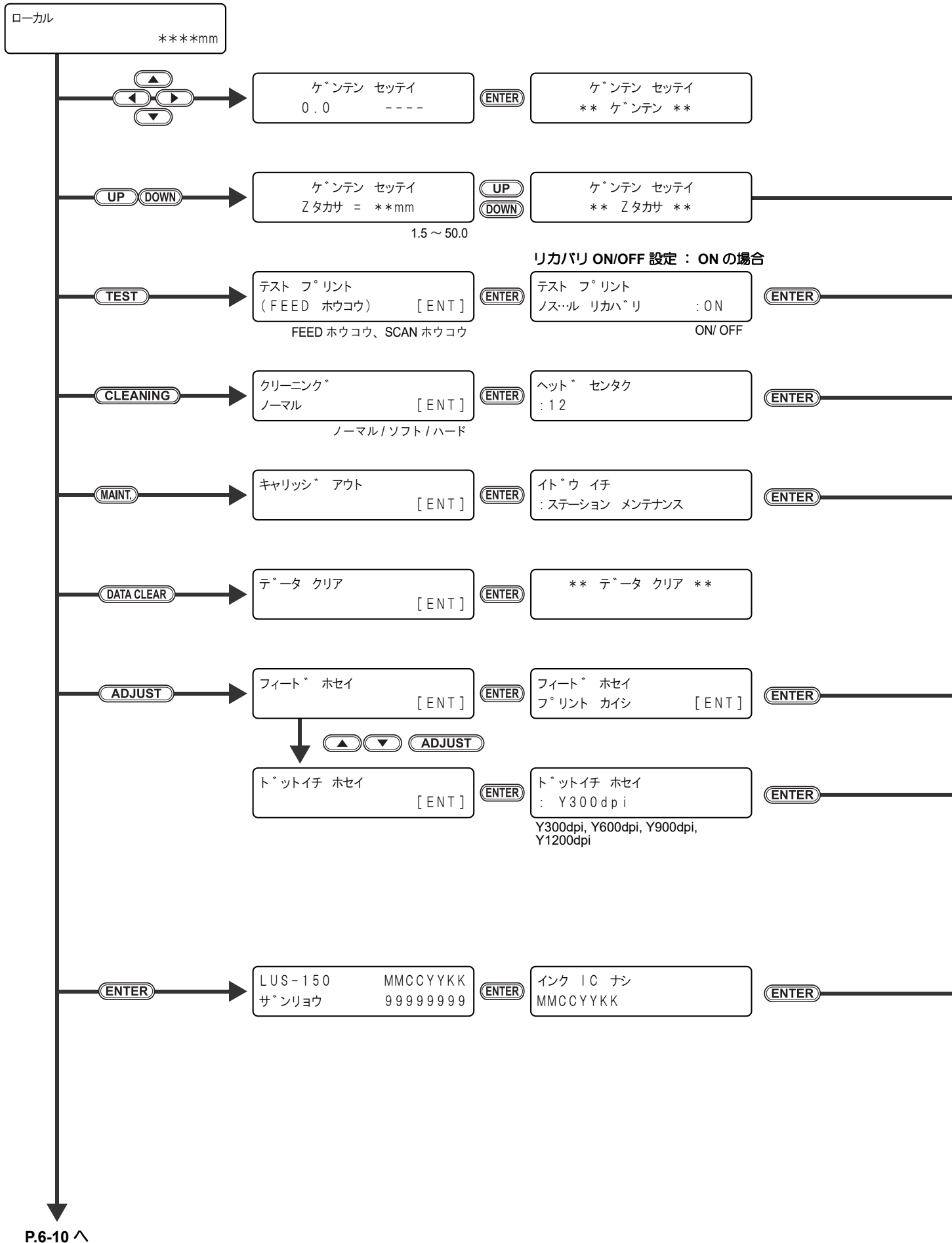
警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

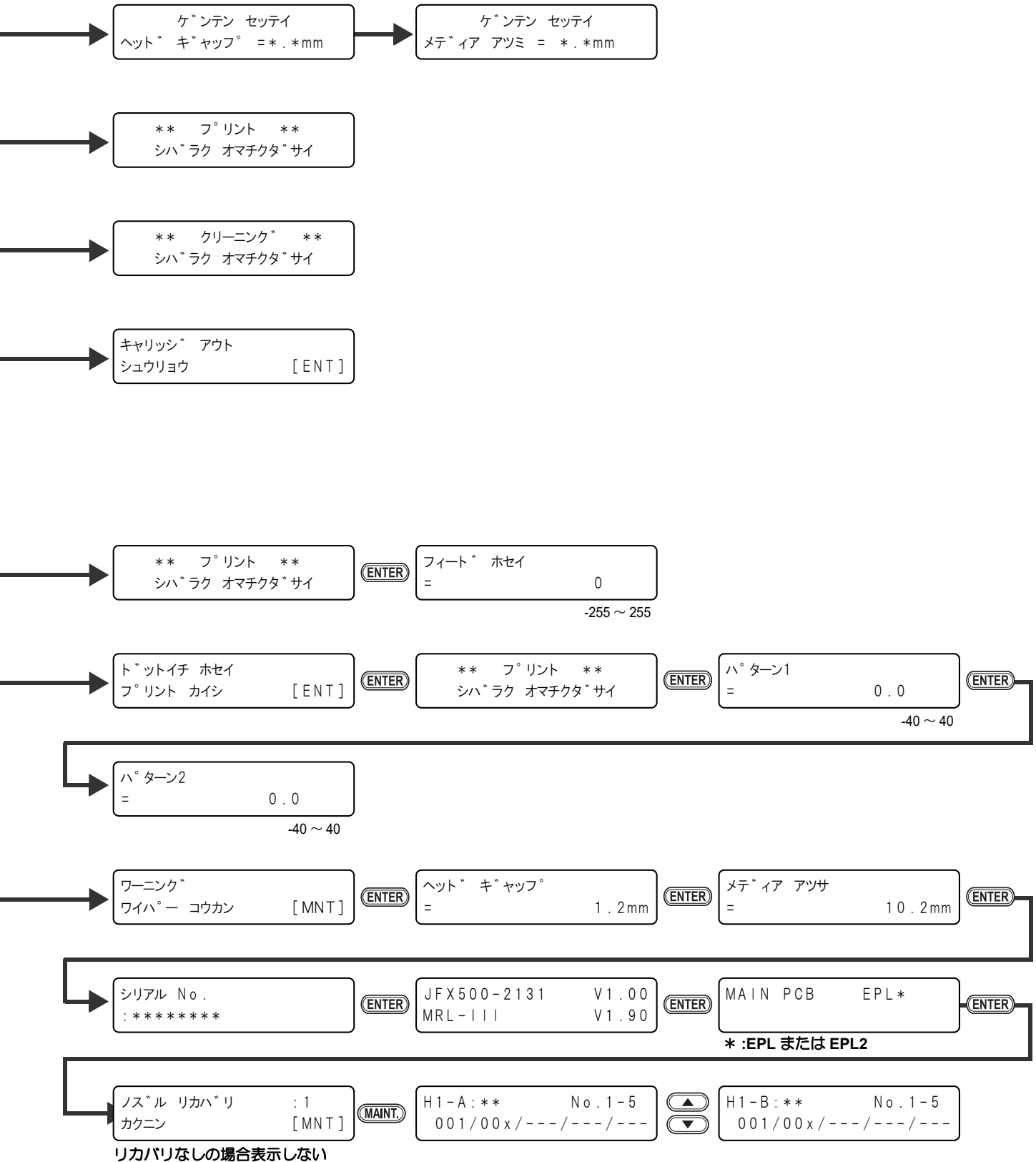


<p>1: 注文番号 .M909381</p> 	<p>2: 注文番号 .M903330</p> 
<p>3: 注文番号 .M906310</p> 	<p>4: 注文番号 .M906115</p> 
<p>5: 注文番号 .M904325</p> <p>Do not sit or lean on the table. Do not put any pressure on one side. These will deform the table and may cause damage and affects the printing.</p>	<p>6: 注文番号 .M903226</p> <p>このテーブルに腰掛けたり、寄り掛かる等の偏荷重をかけないで下さい。テーブルが変形し、故障の原因や、画質に影響が出る可能性があります。</p>
<p>7: 注文番号 .M905980</p> 	<p>8: 注文番号 .M906311</p> 
<p>9: 注文番号 .M902663</p> 	<p>10: 注文番号 .M909385</p> 

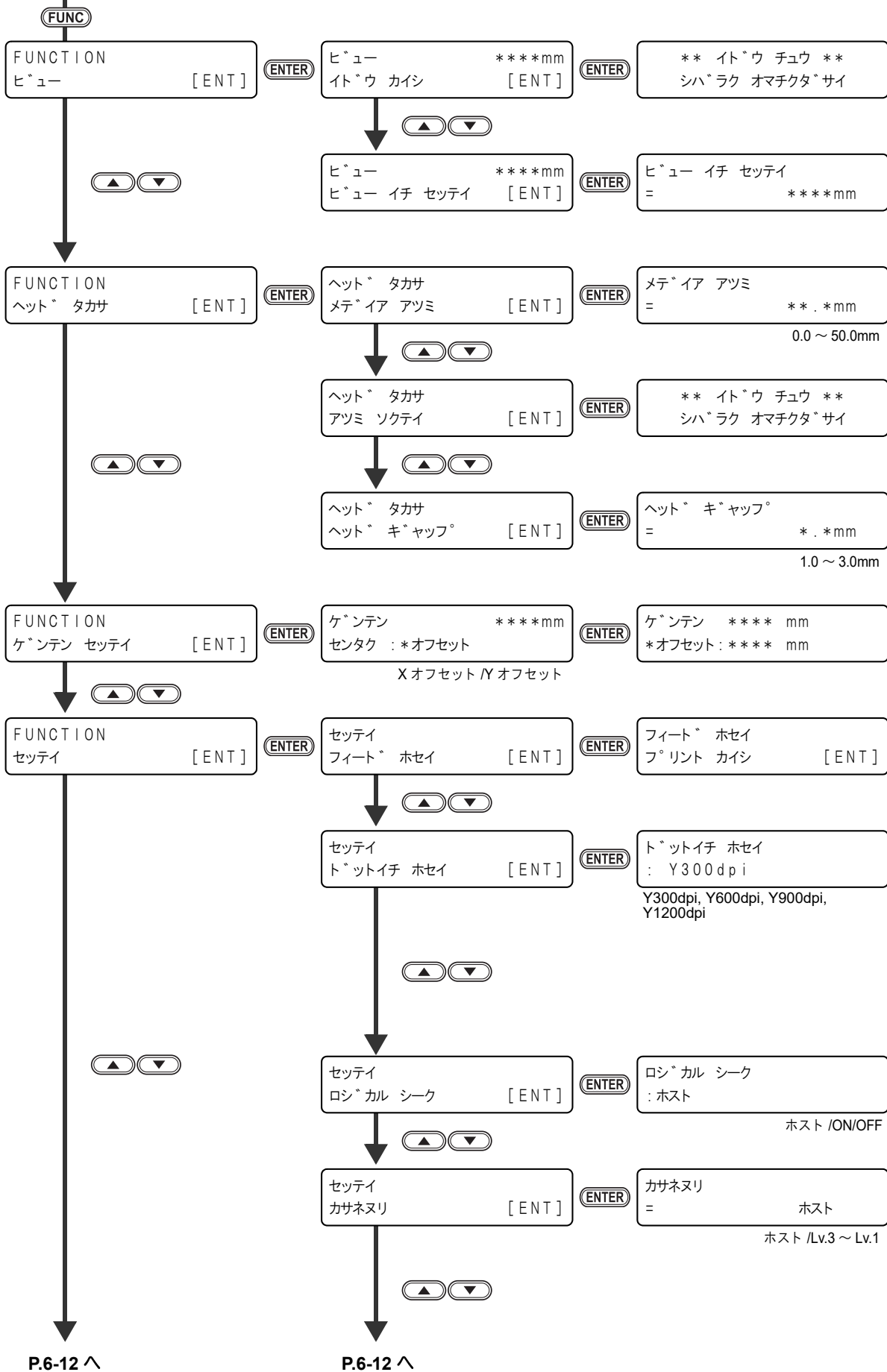
機能フローチャート

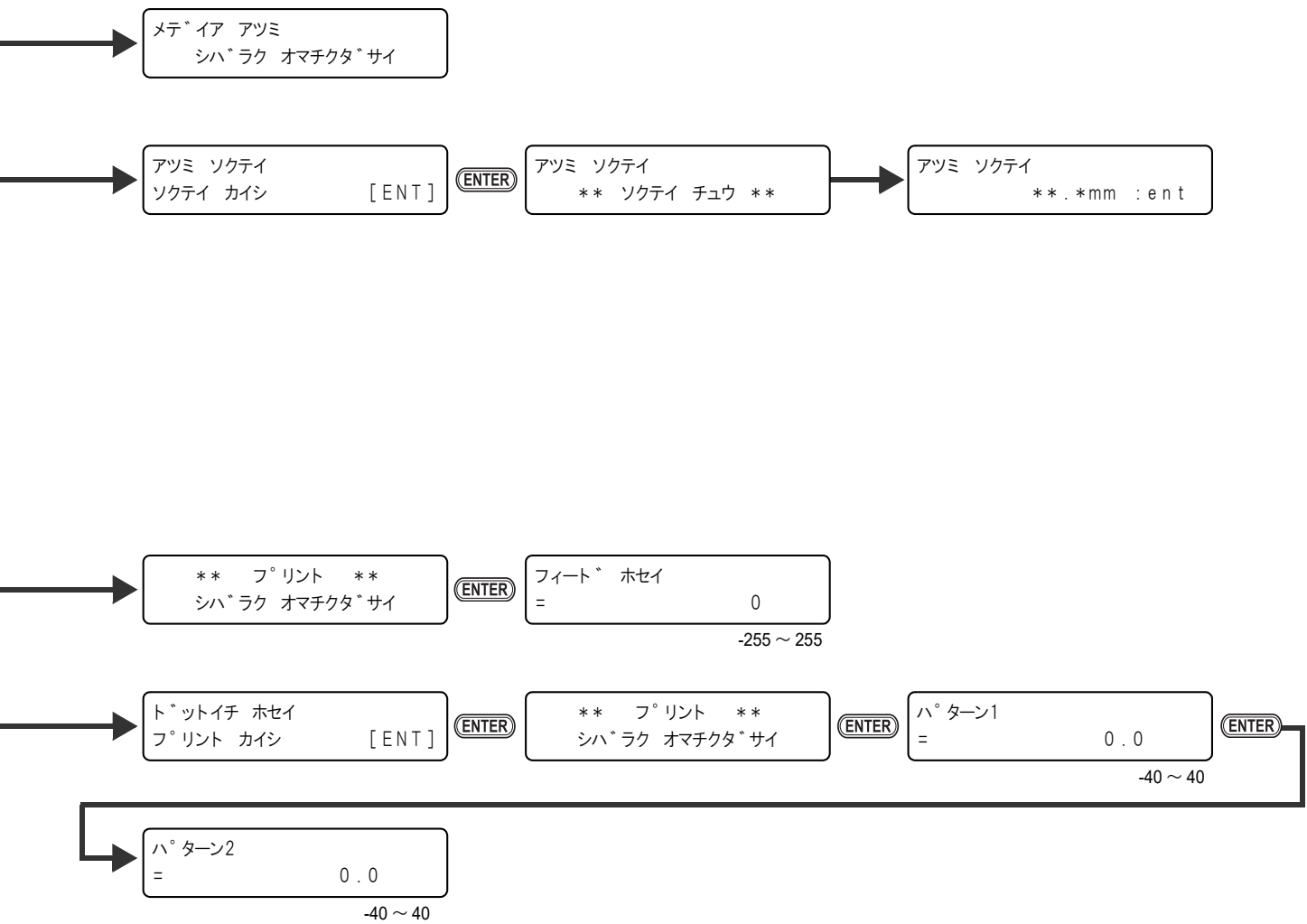


P.6-10 へ



P.6-8 から





P.6-10 から



P.6-14 へ

P.6-10 から

セッテイ
UVモード* [ENT]



ENTER

UVモード*
:ハ°ターン

ENTER

パターン/セイギョ

パターン

セイギョ

セッテイ
リフレッシュ [ENT]



ENTER

リフレッシュ
:ホスト
ホスト /Lv.3 ~ Lv.0

セッテイ
ワーク チェンシ* [ENT]



ENTER

ワーク チェンシ*
ワーク チェンシ* :ON
OFF/ON

ENTER

セッテイ
イオナイサ*ー [ENT]



ENTER

イオナイサ*ー
:ON
OFF/ON

セッテイ
キュウチャク [ENT]



ENTER

キュウチャク
:ヒョウシ*yun
ヨワイ、ヒョウジュン、ツヨイ

セッテイ
MAPS [ENT]



ENTER

MAPS
:MAPS2

ENTER



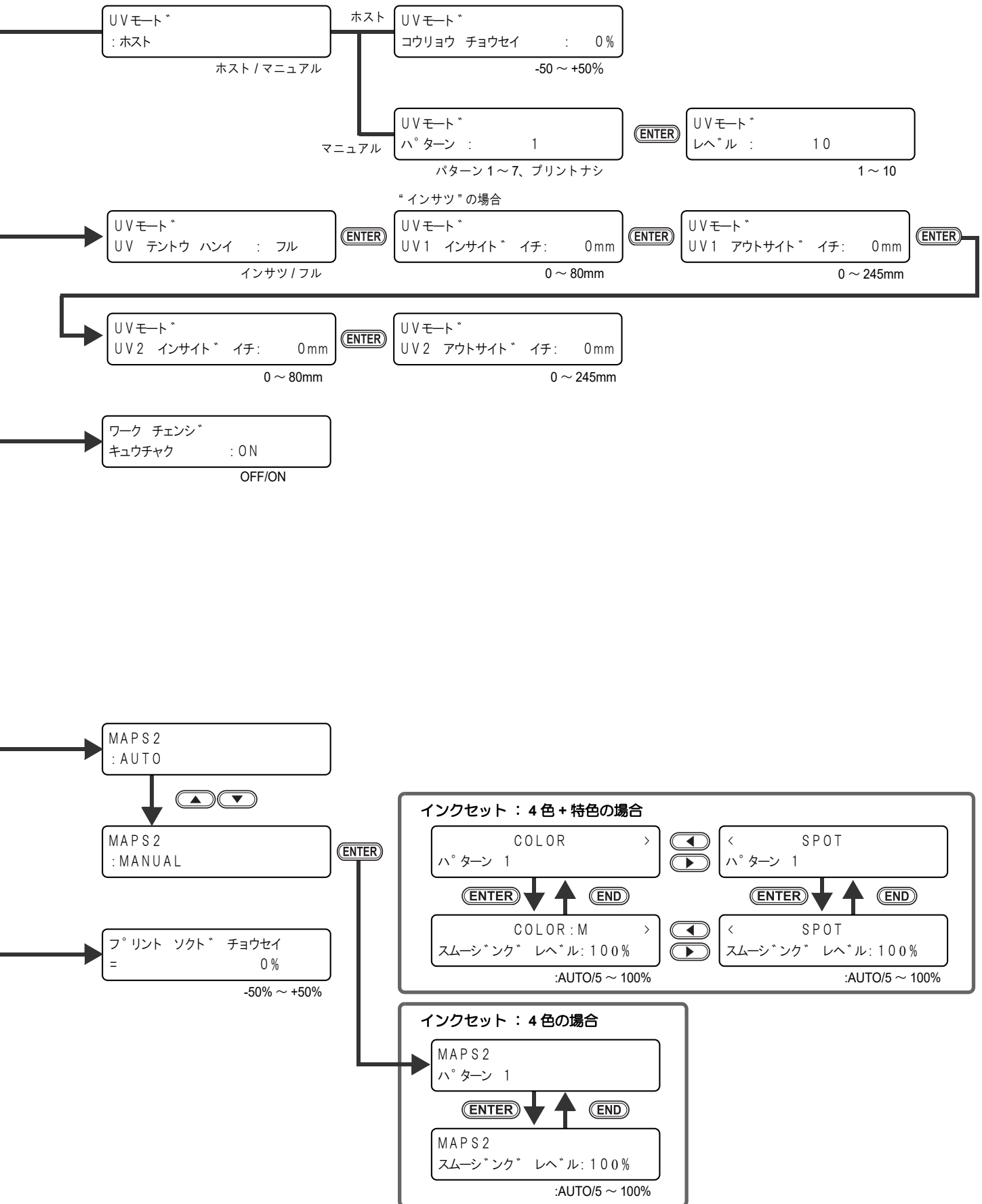
MAPS
:MAPS1

ENTER

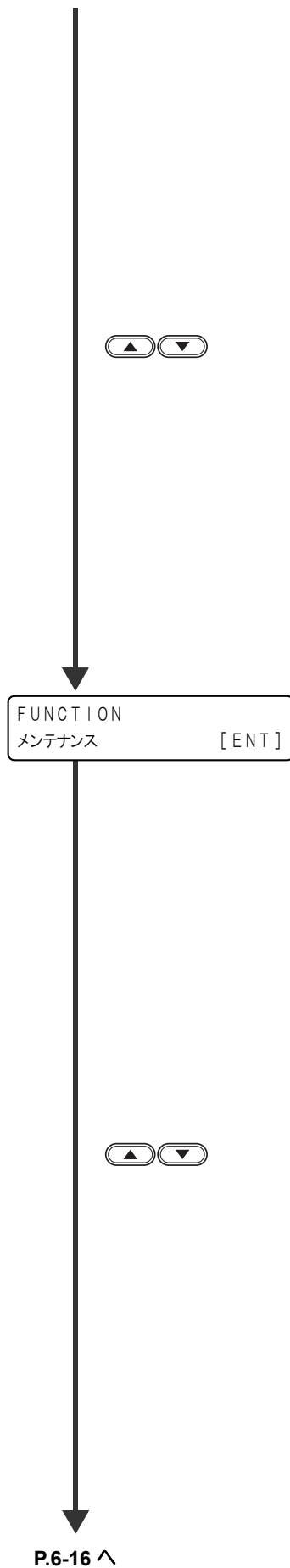


MAPS
:OFF

P.6-14 へ

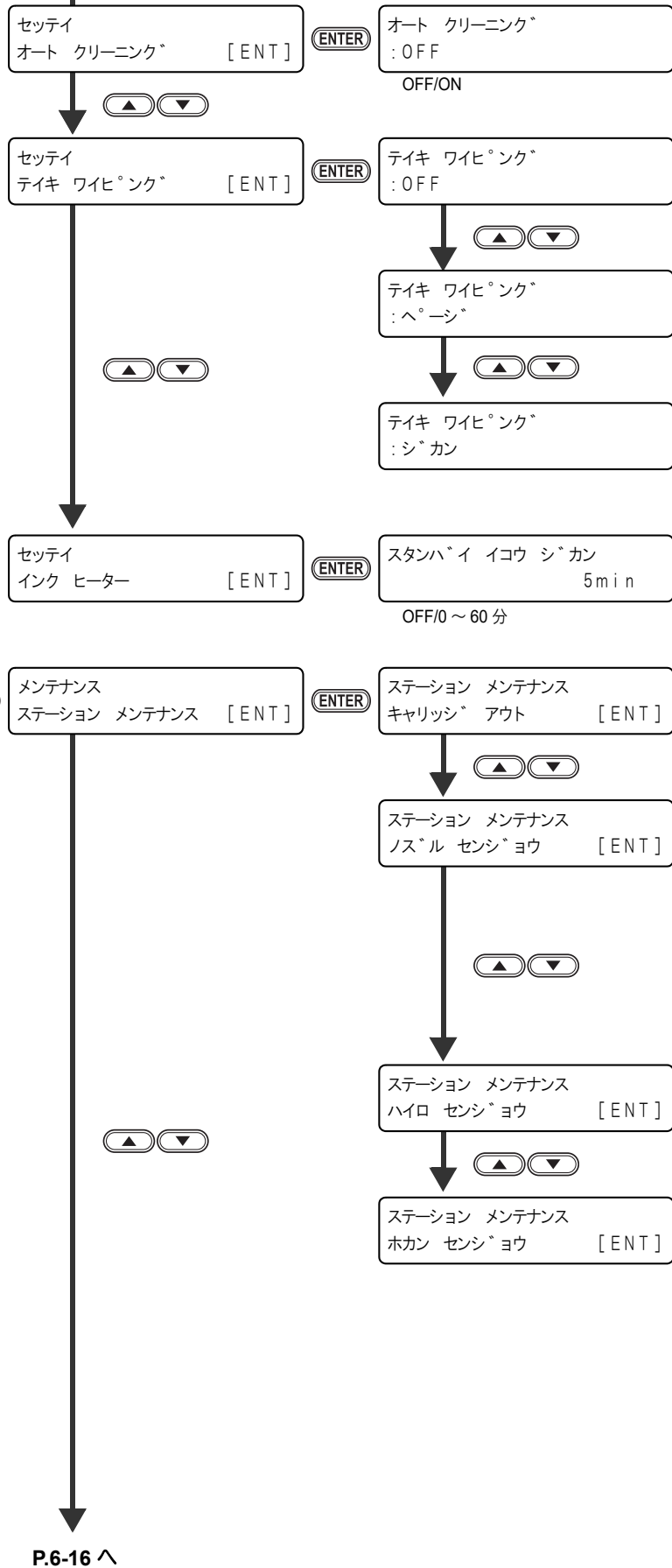


P.6-12 から



P.6-16 へ

P.6-12 から



P.6-16 へ

オート クリーニング
: OFF
OFF/ON

テイキ ワイピング
: OFF

テイキ ワイピング
: ヘーシ

テイキ ワイピング
: シカ

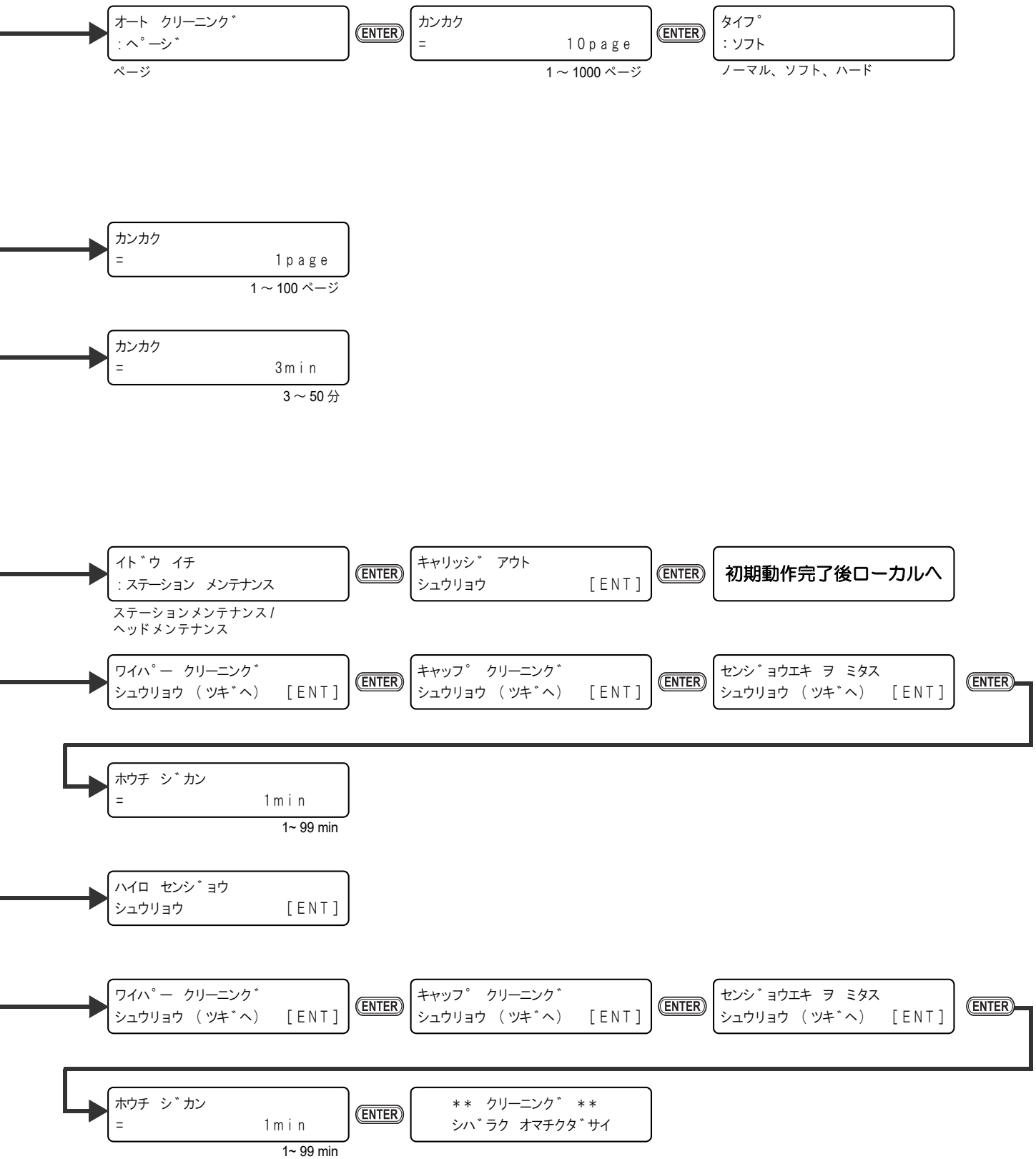
スタンバイ イコウ シカ
5min
OFF/0 ~ 60分

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト [ENT]

ステーション メンテナンス
ノズル センシヨウ [ENT]

ステーション メンテナンス
ハイロ センシヨウ [ENT]

ステーション メンテナンス
ホカン センシヨウ [ENT]



P.6-14 から



P.6-18 へ

P.6-14 から

メンテナンス
ノズル リカバリ [ENT]

ENTER



ノズル リカバリ
: フォリント [ENT]

ENTER



ノズル リカバリ
: トウロク

ENTER



ノズル リカバリ
: クリア

ENTER



ノズル リカバリ
: カクニン メニュー

ENTER

メンテナンス
イオナイザー ショテン [ENT]

ENTER



イオナイザー ショテン
カシイチ: 400mm
400 ~ 3100mm

ENTER



メンテナンス
オート メンテナンス [ENT]

ENTER



オート メンテナンス
リフレッシュ [ENT]

ENTER



オート メンテナンス
クリーニング

ENTER

メンテナンス
アツリョク チョウセイ [ENT]

ENTER



アツリョク チョウセイ
: ファツ
ファツ / セイアツ

ENTER

メンテナンス
サブタンク [ENT]

ENTER

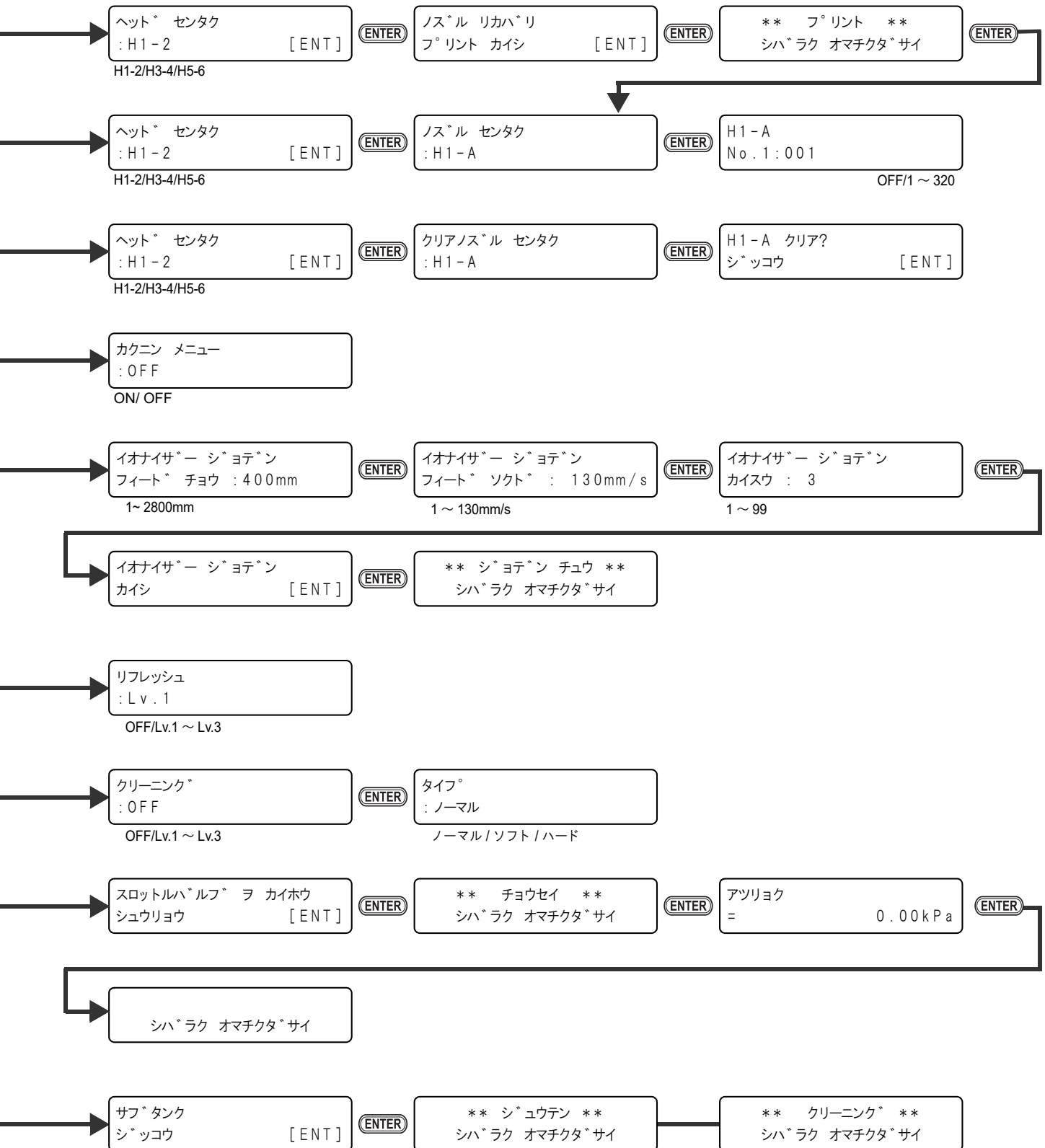


サブタンク センタク
: 1 2 3 4 5 6 7 8

ENTER

← → : サブタンク選択
↑ ↓ : 実行を選択

P.6-18 へ



P.6-16 から

P.6-16 から

メンテナンス
クウキ ヌキ [ENT]

ENTER

クウキヌキ センタク
1 < > 2

ENTER



メンテナンス
ヘット シュウテン [ENT]

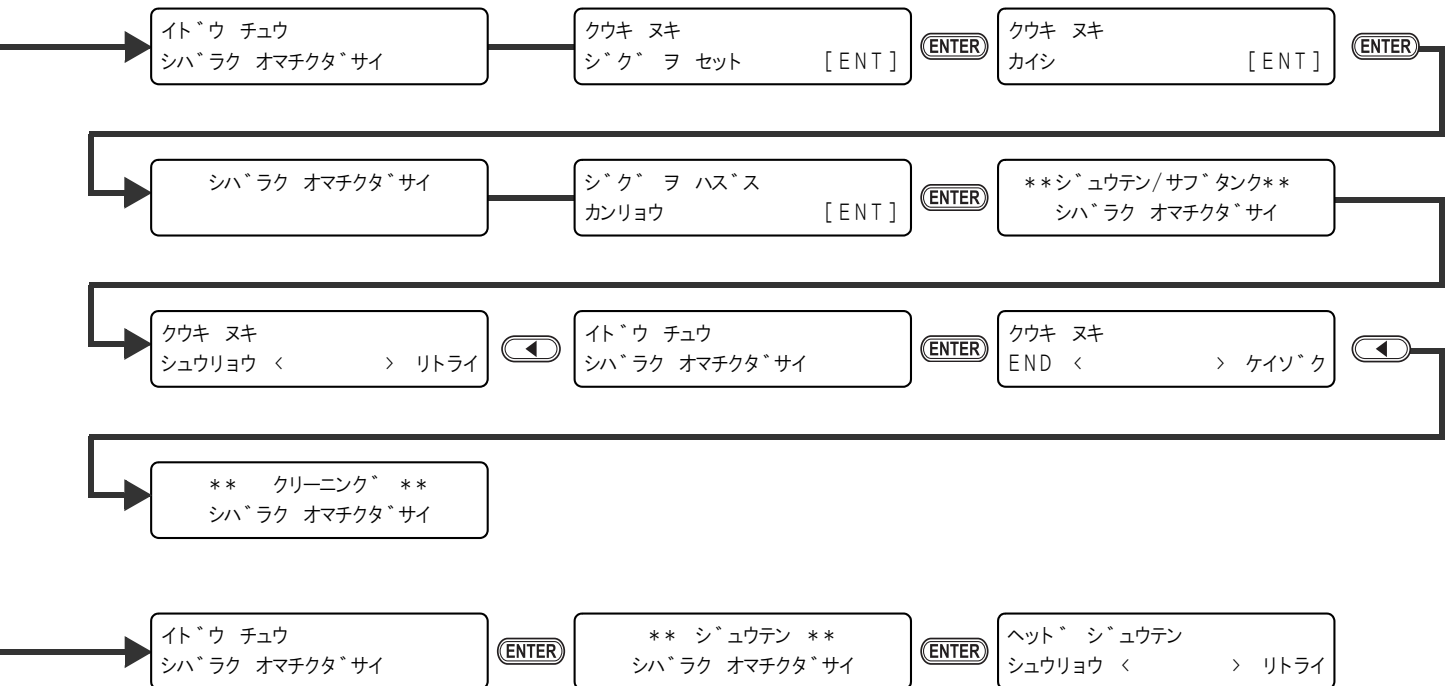
ENTER

サブタンク センタク
:12_____

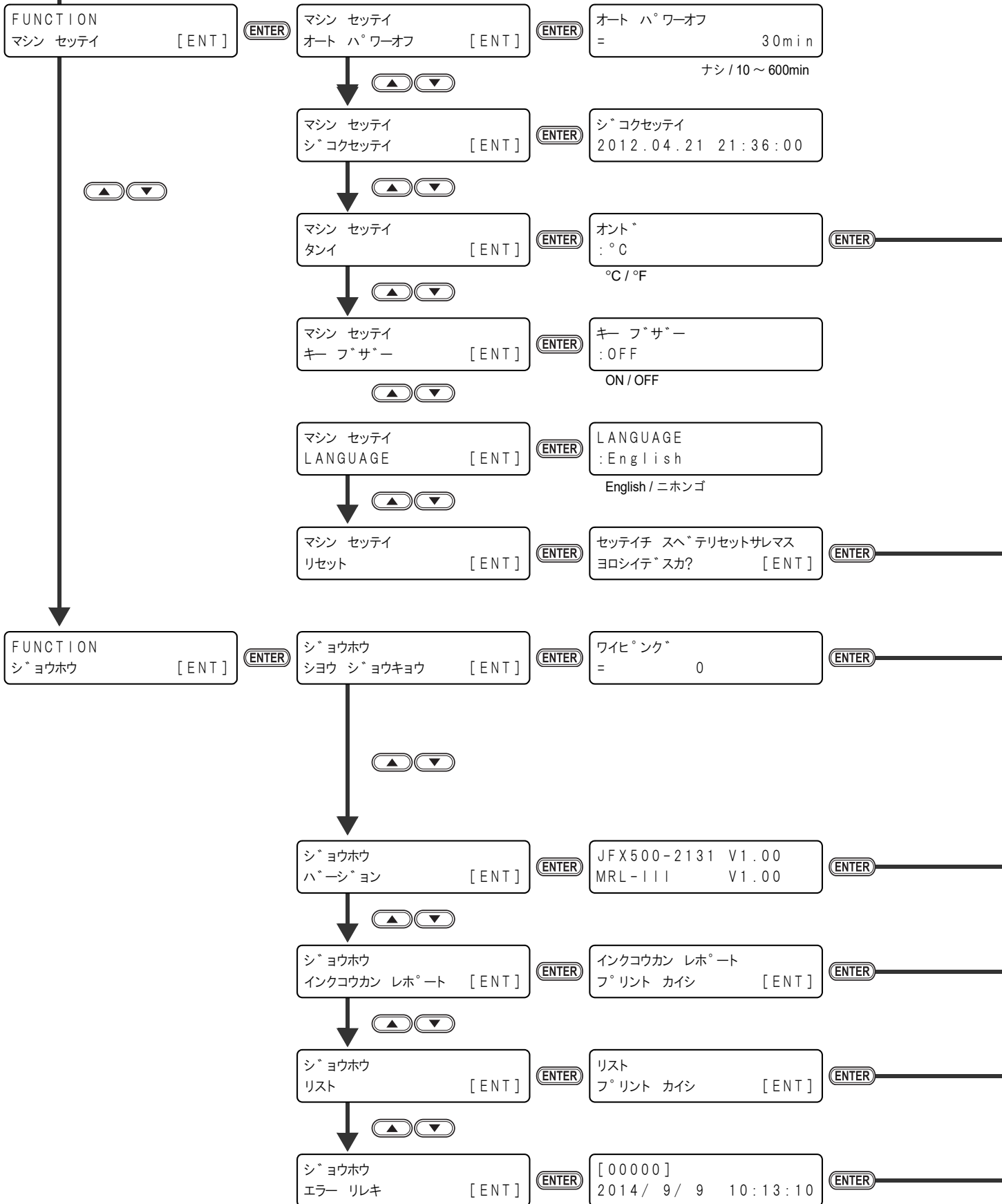
ENTER

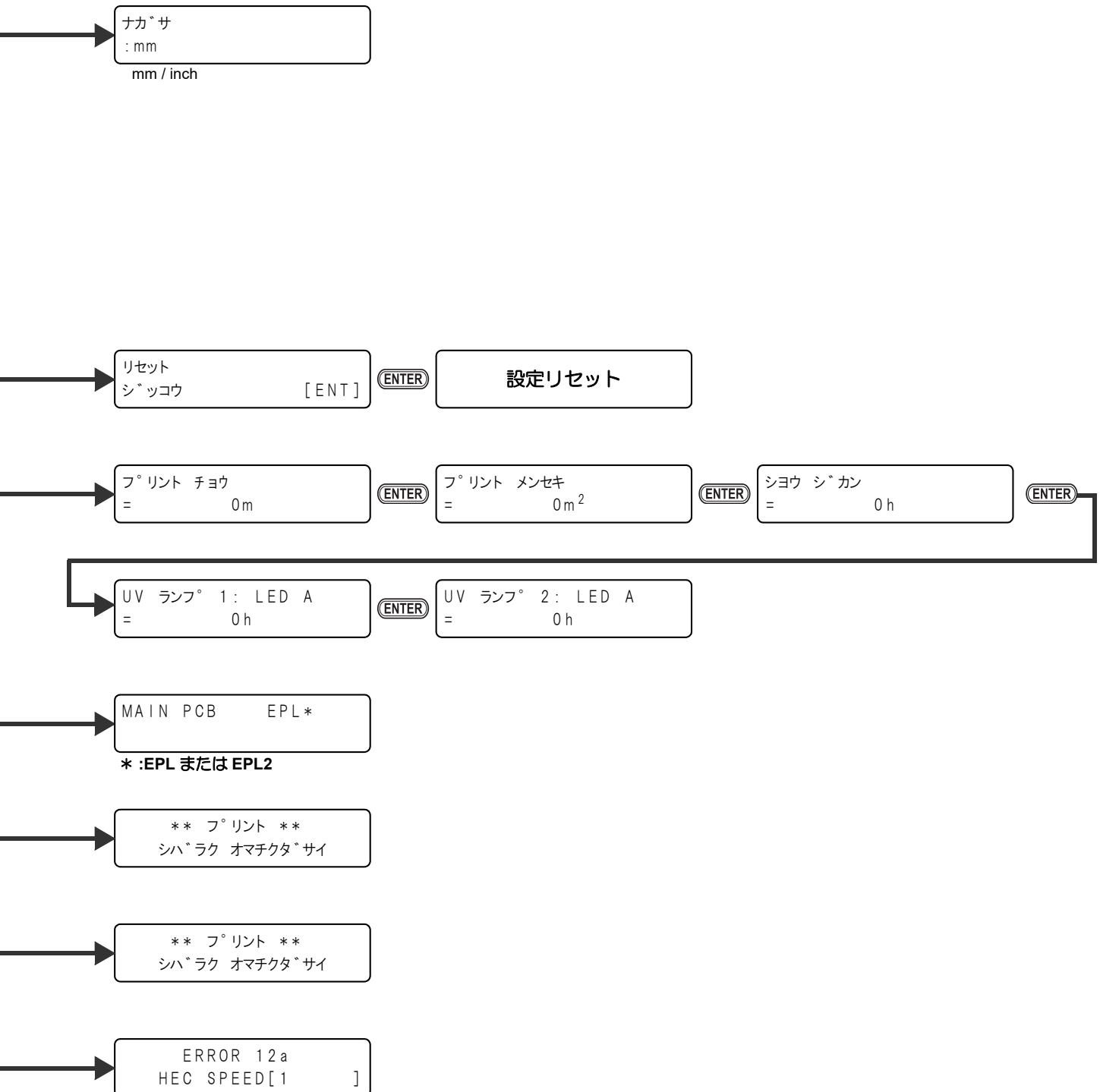


P.6-20 へ



P.6-18 から





索引

I	
IC チップ	1-10
カラー情報	1-10
L	
LANGUAGE	3-28
LM ガイドの清掃	4-3
M	
MAPS 機能	3-19
MAPS1 機能が有効になる条件	3-19
MAPS1 機能を設定する	3-20
MAPS2 機能が有効になる条件	3-19
MAPS2 機能を設定する (4 色時)	3-21
MAPS2 機能を設定する (4 色 + 特色インク時)	3-22
U	
USB2.0 インターフェイスクーブル	1-8
UV モードの設定	3-13
RIP で指定した光量を調整したい	3-13
本機で設定した光量でプリントしたい	3-14
本機で設定した UV ランプの点灯制御で プリントしたい場合	3-15
Y	
Y バーの送りを設定する	3-8
Y モーターの清掃	4-31
あ	
圧力異常が発生したら	5-9
安全にお使いいただくために	viii
使用上の警告	ix
使用上のご注意	xi
設置上のご注意	xiii
い	
イオナイザーの設定をする	3-18
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが 発生したら	5-6
インクヒーターの設定	3-26
インクボトル取り扱い上のご注意	1-14
インクボトルのセット順	6-4

え	
エラー 618 ~ 61b	5-5
エラーメッセージ	5-14
エラー履歴	3-34
エラー履歴を確認する	3-35

お	
オートパワーオフ	3-28
オートメンテナンス	4-21
オートメンテナンス機能 クリーニング間隔	4-22
リフレッシュ間隔	4-21
お問い合わせシート	6-5

か	
各部の名称とはたらきについて	
キャリッジ	1-6
操作パネル	1-5
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	1-4
画質不良が発生したときは	5-3

き	
キーボード	3-28, 3-31
機能フローチャート	6-8
キャッピングステーション	1-6
キャッピングステーションのメンテナンス	
インク排出路の洗浄	4-7
長期間使用しない場合	4-8
ヘッドノズルの洗浄	4-15
ワイパーとキャップの清掃	4-4
ワイパーを交換する	4-24

け	
警告ラベル	6-6
言語の設定	3-32
原点を変更する	3-2

こ	
故障?と思う前に	5-2
インクボトルに異常が発生したら	5-4
画質不良が発生したときは	5-3
サブタンク関連のエラー	5-5
電源が入らない	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
プリントできない	5-2
ご注意	V

さ	
作業の流れ	2-2
し	
ジコクセッテイ	3-28
ジコクの設定	3-29
受信障害	v
仕様	
インク仕様	6-3
本体仕様	6-2
使用可能メディアサイズ	1-15
使用環境温度	1-3
使用状況	3-34
情報を表示させる	3-36
情報を表示する	3-36
初期状態に戻す	3-33
す	
ステーション メンテナンス	4-4, 4-11
せ	
設置場所について	1-2
設定機能一覧	3-7
そ	
装置の固定	1-3
装置の使用状況を確認する	3-34
装置のバージョン情報を確認する	3-35
双方向プリントのドット位置を調整する	3-10
た	
タンイ	3-28, 3-30
て	
データクリア	2-14
データをプリントする	2-13
テーブル、外装のお手入れ	4-2
テストプリント	2-10
電源ケーブル	1-9
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-4
電源を切るときのご注意	2-4
電波障害自主規制	v
と	
ドット位置補正	3-10
取扱説明書について	vii

に	
日常のお手入れ	
お手入れ上のご注意	4-2
の	
ノズル面の清掃頻度を設定する	3-25
ノズルリカバリ	4-17
は	
バージョン	3-34
バージョン情報	3-35
廃インクタンク確認メッセージ	4-26
廃インクタンクを交換する	4-26
廃インクトレイの清掃	4-11
ハイロセンジョウ	4-7
パス間の縞を軽減する	3-19
パターンプリント	3-10
ひ	
フィード補正の設定	3-8
プリント結果	2-11
プリントを開始する	2-13
プリントを中断する	2-14
へ	
ヘッド メンテナンス	4-12, 4-25
ヘッドギャップ	3-6
ヘッドクリーニング	2-12
ほ	
ホカンセンジョウ	4-8
本装置の移動	1-3
ま	
マーク表示	viii
マシン設定	3-28
め	
メディア取り扱い上の注意	1-15
メンテナンス洗浄液	4-2
り	
リセット	3-33

れ

冷却水を補充する 4-29

ろ

ロジカルシークの設定をする 3-12

わ

ワークチェンジを設定をする 3-17

ワーニングメッセージ 5-11

ワイパーを交換する 4-24

JFX500-2131 取扱説明書

2022 年 7 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

